



J.LEAGUE™ FAN SURVEY 2017 SUMMARY REPORT



# J.LEAGUE™ FAN SURVEY 2017 SUMMARY REPORT

Jリーグ スタジアム観戦者調査2017 サマリーレポート

# Contents

## 主な調査結果

Executive Summary 02

## 調査の概要

Outline of Survey 03

## ● Jリーグとコミュニティ J.League and the Community

社会貢献への評価 05

## ● 観戦者のプロフィール Sample Profile

性別 11

年齢 14

居住地 21

自由裁量所得 23

観戦歴 24

サポーター歴 25

## ● スタジアム観戦の動機 Fan Motivation

観戦の動機やきっかけ 27

チームアイデンティフィケーション 32

スタジアム観戦についての勧誘行動 33

スタジアム観戦についての被勧誘行動 34

ファンコミュニティ 36

## ● 観戦行動の特徴 Fan Behavior

観戦頻度 38

アクセス時間 47

同伴者 50

情報入手経路 59

チケット入手方法 61

シーズンチケットの購入理由 62

## 付録

Appendix 64



**[調査時期]** 2017年4月29日～9月23日  
**[調査対象]** スタジアム観戦者、11歳以上の男女個人：17,638名  
**[調査方法]** スタジアム内における集合配布法を用いた質問紙調査法  
**[回収状況]** 有効回収数：17,136票

## 主な調査結果 Executive Summary

### ■ 調査概要

調査の対象は、40クラブのホームゲーム来場者、11歳以上の男女個人、17,638名とし、17,136票(有効回収率：97.2%)の有効回答を得た。調査の時期は、2017年4月29日から9月23日であった。

### ■ Jリーグと地域社会

Jリーグと地域社会との関係については、ホームタウンにおいて重要な役割(84.4%)を果たしている、ホームタウンへ大きな貢献(81.8%)、若い人たちの生活にいい影響(76.3%)をしているという意見が支持されており、肯定的な評価が目立った。

### ■ 観戦者のプロフィール

観戦者の平均年齢は41.7歳で、男性の割合は61.9%であった。クラブの活動区域内に居住する割合は86.4%、自由に使えるおこづかいの平均は、1ヶ月あたり34,900円であった。

### ■ 観戦の特徴

年間の観戦頻度の平均は、J1来場者は11.6回、J2は13.1回であった。スタジアムまでの平均所要時間は53.0分であり、二人で来場する人が43.8%、家族と来場する人が52.7%であった。また、10年以上、特定のクラブのサポーターである層は47.1%であった。

### ■ チケット

シーズンチケット購入している割合は46.5%であり、シーズンチケット購入理由としては、クラブに愛着があるから(72.1%)が主なものであった。

### ■ 観戦動機と勧誘行動

好きなクラブの応援のために、およびサッカー観戦が好きだから、などが主な観戦の動機となっていた。周囲を観戦に誘うとした割合は57.9%、周囲から観戦を誘われるとした割合は37.0%であった。

Jリーグと地域社会	
Jクラブは地域で重要な役割	84.4%
Jクラブは地域に大きく貢献	81.8%
サッカーは若い人たちにいい影響	76.3%
Jリーガーは社会の模範	67.0%

観戦者のプロフィール		
年齢	平均年齢	41.7歳(35.8歳※同伴来場の子どもを含めた場合)
	年齢層	40代(28.8%)を中心に50代(18.9%)と30代(17.5%)が続く
性別	男性構成比	61.9%
居住地	活動区域内居住率	86.4%
自由裁量所得	月額平均	34,900円

観戦の特徴		
観戦頻度	J1平均	11.6回/シーズン
	J2平均	13.1回/シーズン
アクセス	平均所要時間	53.0分
同伴者	同伴者数(平均)	(回答者含み)2.8名
	二人で来場する割合	43.8%
	家族と来場する割合	52.7%
サポーター歴	10年以上	47.1%

チケット	
シーズンチケット購入率	46.5%
シーズンチケット購入理由	クラブに愛着(72.1%)

観戦動機とファンコミュニティ		
観戦動機	好きなクラブの応援	平均得点4.57(5点満点)
	サッカー観戦が好き	平均得点4.56(5点満点)
勧誘行動	周囲を観戦に誘う	57.9%
被勧誘行動	周囲から観戦を誘われる	37.0%
リアルコミュニティ	スタジアムでの仲間がいる	56.8%
ヴァーチャルコミュニティ	ネット上での仲間がいる	22.9%

協力 筑波大学体育系准教授  
 早稲田大学スポーツ科学学術院教授  
 大阪体育大学大学院スポーツ科学研究科教授  
 筑波大学体育系准教授  
 実査協力 岩手大学人文社会科学部教授  
 仙台大学スポーツ科学研究科教授  
 東日本国際大学専任講師  
 筑波大学体育系非常勤研究員  
 作新学院大学経営学部教授  
 法政大学スポーツ健康学部准教授  
 法政大学スポーツ健康学部専任講師  
 山梨学院大学経営情報学部経営情報学科准教授  
 信州大学総合人間科学系教授  
 静岡大学学術院教育学領域保健体育系系列講師  
 富山大学人間発達科学部地域スポーツコース講師  
 金沢星稜大学人間科学部スポーツ学科講師  
 日本福祉大学社会福祉学部准教授(招聘教員)  
 大阪体育大学体育学部准教授  
 岡山大学大学院教育学研究科講師  
 徳島大学大学院社会産業理工学研究部教授  
 北九州市立大学地域戦略研究所教授  
 九州産業大学健康・スポーツ科学センター准教授  
 佐賀大学教育学部教授  
 日本文理大学経営経済学部経営経済学科准教授  
 鹿屋体育大学スポーツ人文・応用社会科学系講師  
 名城大学人間健康学部スポーツ健康学科上級准教授

仲澤真  
 原田宗彦  
 藤本淳也  
 高橋義雄  
 浅沼道成  
 永田秀隆  
 岩村聡  
 吉岡那於子  
 小山さなえ  
 吉田政幸  
 井上尊寛  
 長倉富貴  
 橋本純一  
 村田真一  
 神野賢治  
 佐々木達也  
 荒深裕規  
 徳山友  
 高岡敦史  
 佐藤充宏  
 南博  
 福田拓哉  
 坂元康成  
 竹田隆行  
 隅野美砂輝  
 遠矢英憲

## 調査の概要 Outline of Survey

2017シーズンのスタジアム観戦者を対象に質問紙調査を行い、本報告書を作成した。調査の対象は、40クラブのホームゲーム来場者、11歳以上の男女個人、17,638名とし、17,136票(有効回収率：97.2%)の有効回答を得た。調査の時期は、2017年4月29日から9月23日であった。調査の対象となったゲームおよび会場等については、下記に示すとおりである。

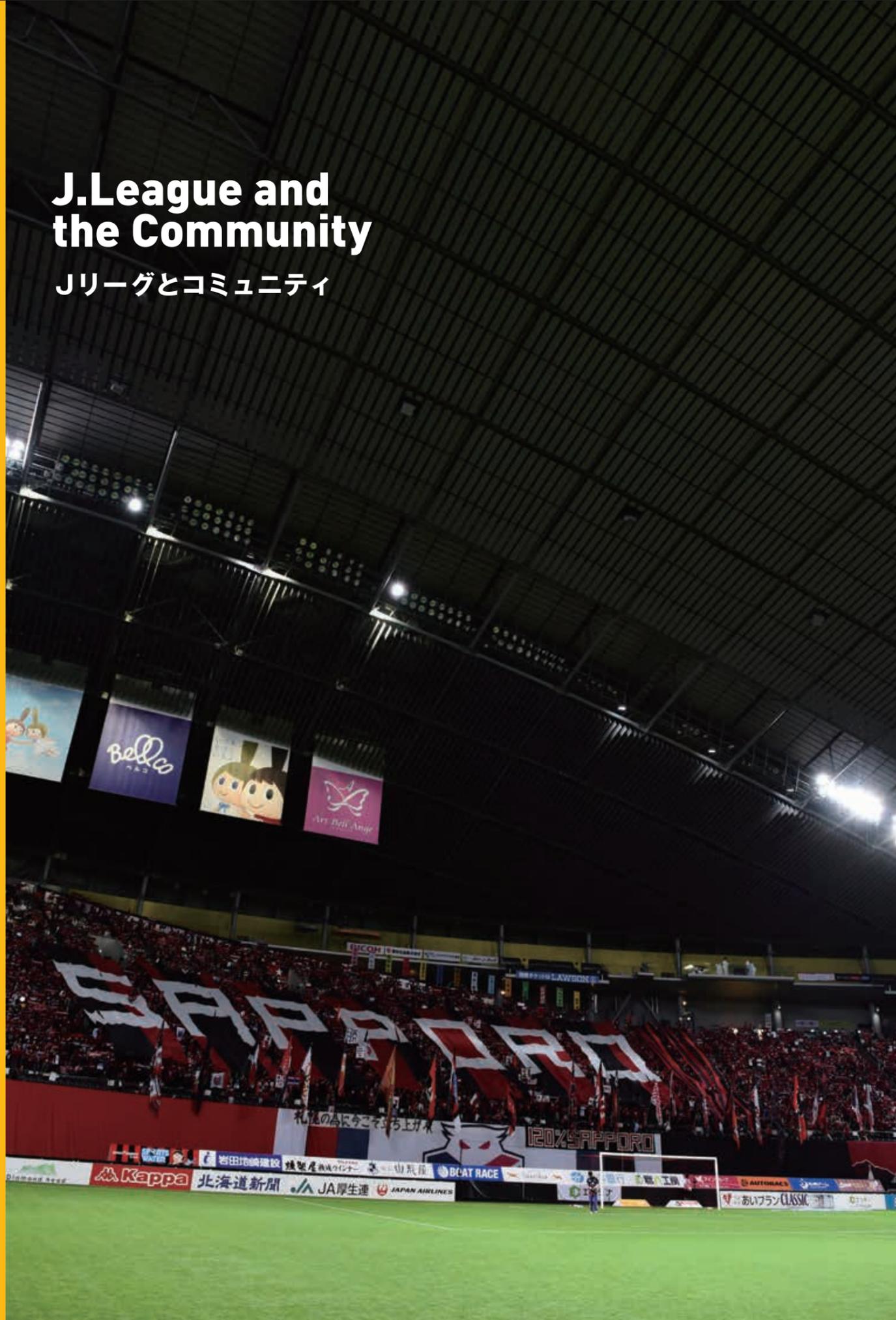
対象クラブ	節	開催日	対戦クラブ	スタジアム	キックオフ時刻	天候	入場者数	配布数	有効回収数		有効回収率
									有効回収数	ホームクラブ	
札幌	11	5月14日	G大阪	札幌ド	19:03	屋内	21,174	420	419	401	99.8
仙台	13	5月28日	新潟	ユアスタ	13:04	晴	14,259	414	409	351	98.8
鹿島	19	7月29日	甲府	カシマ	18:33	曇	18,413	413	410	367	99.3
浦和	27	9月23日	鳥栖	埼玉	16:04	晴	29,557	451	451	443	100.0
大宮	14	6月4日	鳥栖	NACK	16:03	晴	11,631	461	436	403	94.6
柏	24	8月26日	新潟	柏	19:03	曇	12,760	412	412	366	100.0
FC東京	25	9月9日	C大阪	味スタ	19:03	晴	36,635	450	445	363	98.9
川崎F	22	8月13日	鹿島	等々力	19:03	晴-時雨のち曇	24,008	446	443	378	99.3
横浜FM	14	6月4日	川崎F	日産ス	17:03	晴	42,483	412	407	326	98.8
甲府	12	5月20日	広島	中銀スタ	14:03	晴	8,653	416	412	388	99.0
新潟	15	6月17日	大宮	デンカS	19:03	曇	27,605	500	492	435	98.4
清水	16	6月25日	甲府	アイスタ	18:03	曇	11,007	416	412	395	99.0
磐田	18	7月8日	甲府	ヤマハ	19:03	晴	14,159	413	413	386	100.0
G大阪	19	7月29日	C大阪	吹田S	19:03	晴	36,177	500	487	412	97.4
C大阪	22	7月22日	浦和	ヤンマー	19:04	晴	32,711	500	481	382	96.2
神戸	27	9月23日	川崎F	ノエスタ	19:03	曇	18,111	500	464	382	92.8
広島	19	7月30日	鳥栖	Eスタ	18:34	晴のち曇	14,974	500	487	464	97.4
鳥栖	20	8月5日	清水	ベアスタ	19:03	晴	9,628	418	418	379	100.0
<b>J1計</b>								<b>8,042</b>	<b>7,898</b>	<b>7,021</b>	<b>98.2</b>

対象クラブ	節	開催日	対戦クラブ	スタジアム	キックオフ時刻	天候	入場者数	配布数	有効回収数		有効回収率
									有効回収数	ホームクラブ	
山形	18	6月11日	群馬	NDスタ	14:03	晴	6,639	420	420	396	100.0
水戸	17	6月3日	大分	Ksスタ	13:03	晴時々曇	3,778	417	412	329	98.8
群馬	26	8月5日	山形	正田スタ	18:03	曇	2,670	369	366	329	99.2
千葉	31	9月2日	東京V	フクアリ	18:03	晴	9,996	412	412	374	100.0
東京V	18	6月10日	名古屋	味スタ	15:03	晴時々曇	12,659	444	422	305	95.0
町田	28	8月16日	名古屋	町田	19:03	曇時々雨	6,007	427	423	353	99.1
横浜FC	20	6月25日	湘南	ニッパツ	18:03	曇	8,656	446	443	310	99.3
湘南	26	8月5日	松本	BMWス	19:04	晴	9,088	450	424	382	94.2
松本	15	5月21日	湘南	松本	13:03	晴	13,343	420	414	396	98.6
金沢	31	9月2日	長崎	石川西部	19:03	晴	3,000	500	480	427	96.0
名古屋	27	8月12日	松本	豊田ス	18:03	晴のち曇	31,481	457	391	329	85.6
岐阜	17	6月3日	山形	長良川	18:03	晴	11,364	500	423	342	84.6
京都	26	8月5日	岡山	西京極	19:03	曇	5,544	430	422	345	98.1
岡山	15	5月21日	横浜FC	Cスタ	13:03	晴	8,650	440	438	398	99.5
山口	10	4月29日	長崎	維新公園	13:03	晴	5,503	447	447	430	100.0
讃岐	23	7月15日	山口	ピカスタ	18:03	晴	3,707	413	409	360	99.0
徳島	29	8月20日	山口	鳴門大塚	18:33	晴	4,430	500	486	458	97.2
愛媛	25	7月29日	千葉	ニנסタ	19:03	晴	3,908	427	423	362	99.1
福岡	22	7月8日	金沢	レベスタ	18:03	曇時々晴	7,005	500	458	429	91.6
長崎	18	6月11日	熊本	トラスタ	19:03	晴	4,618	422	421	383	99.8
熊本	33	9月18日	福岡	えがおS	18:03	晴	5,202	305	305	258	100.0
大分	24	7月22日	水戸	大銀ド	19:03	曇	7,443	450	399	372	88.7
<b>J2計</b>								<b>9,596</b>	<b>9,238</b>	<b>8,067</b>	<b>96.3</b>

<b>合計</b>	<b>17,638</b>	<b>17,136</b>	<b>15,088</b>	<b>97.2</b>
-----------	---------------	---------------	---------------	-------------

# J.League and the Community

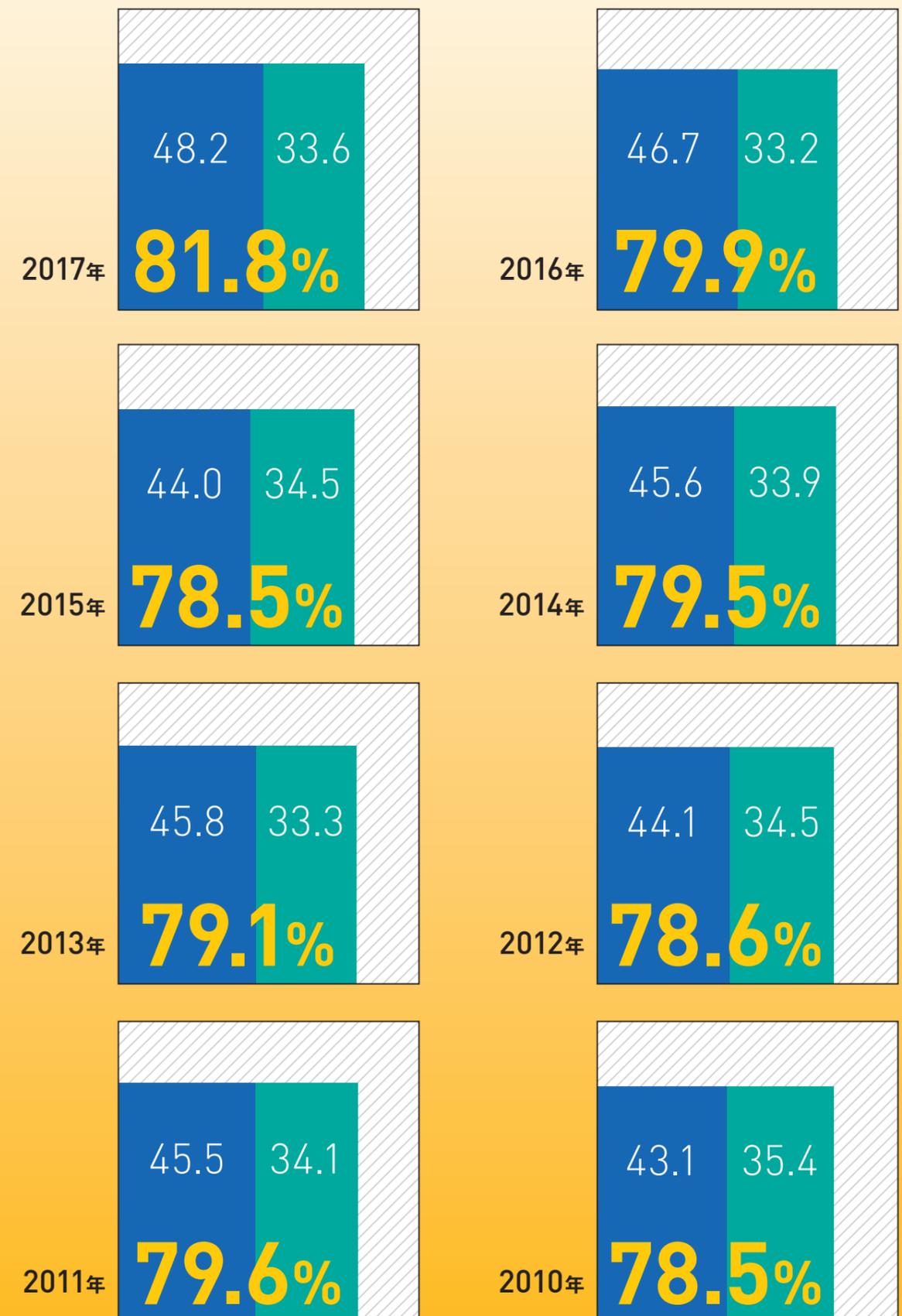
Jリーグとコミュニティ



## Jクラブは、ホームタウンで大きな貢献をしている

「大いにあてはまる」と「あてはまる」を加えたデータ

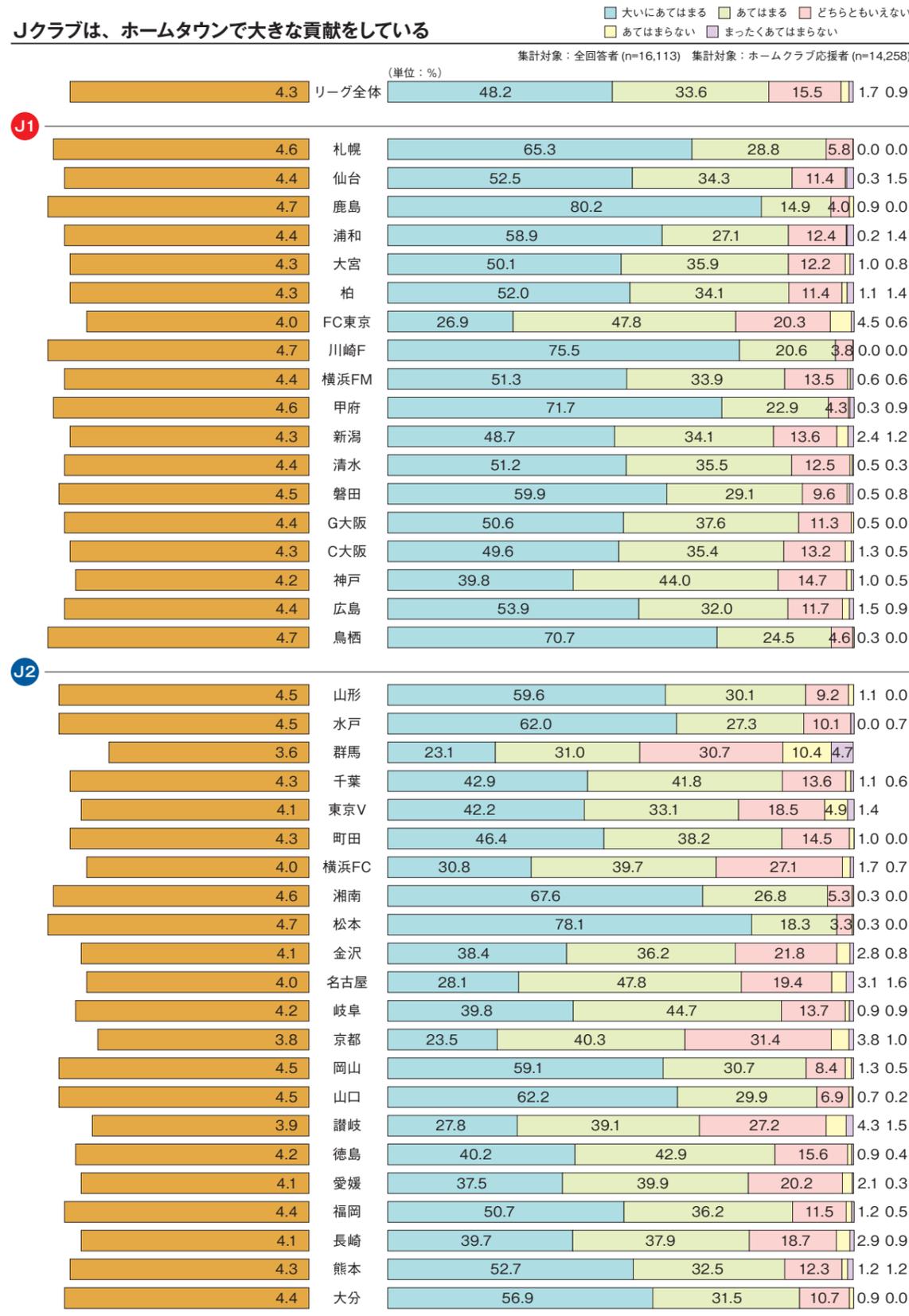
■ 大いにあてはまる ■ あてはまる



## 81.8% (大いにあてはまる+あてはまる)が、Jクラブはホームタウンへ貢献していると評価している。

「Jクラブは、ホームタウンで大きな貢献をしている」という見解に対して、観戦者全体の81.8% (48.2% + 33.6%) が肯定的であった。クラブ別に見ると、鹿島、川崎F、鳥栖、松本が4.7ポイントと最も高くなっている。

### Jクラブは、ホームタウンで大きな貢献をしている

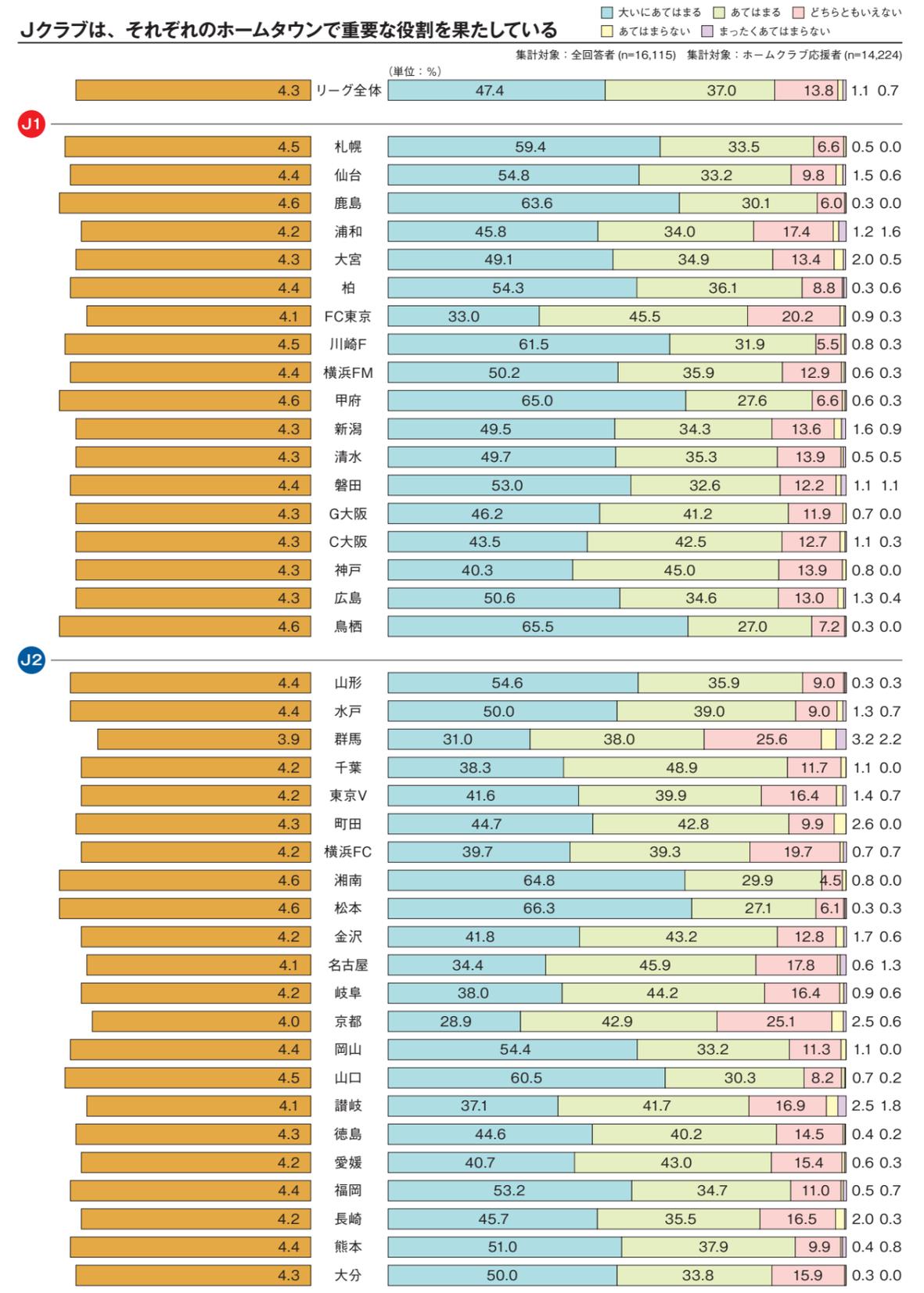


\*ポイント、五段階評定尺度 (とてもあてはまる：5～まったくあてはまらない：1) で求めた回答の平均値である。

## 84.4% (大いにあてはまる+あてはまる)が、Jクラブがそれぞれの地域で重要な役割を果たしていると感じている。

「Jクラブは、それぞれのホームタウンで重要な役割を果たしている」という見解に対して、観戦者全体の84.4% (47.4% + 37.0%) が肯定的であった。クラブ別に見ると、鹿島、甲府、鳥栖、湘南、松本 (いずれも4.6)の観戦者の評価が高くなっている。

### Jクラブは、それぞれのホームタウンで重要な役割を果たしている



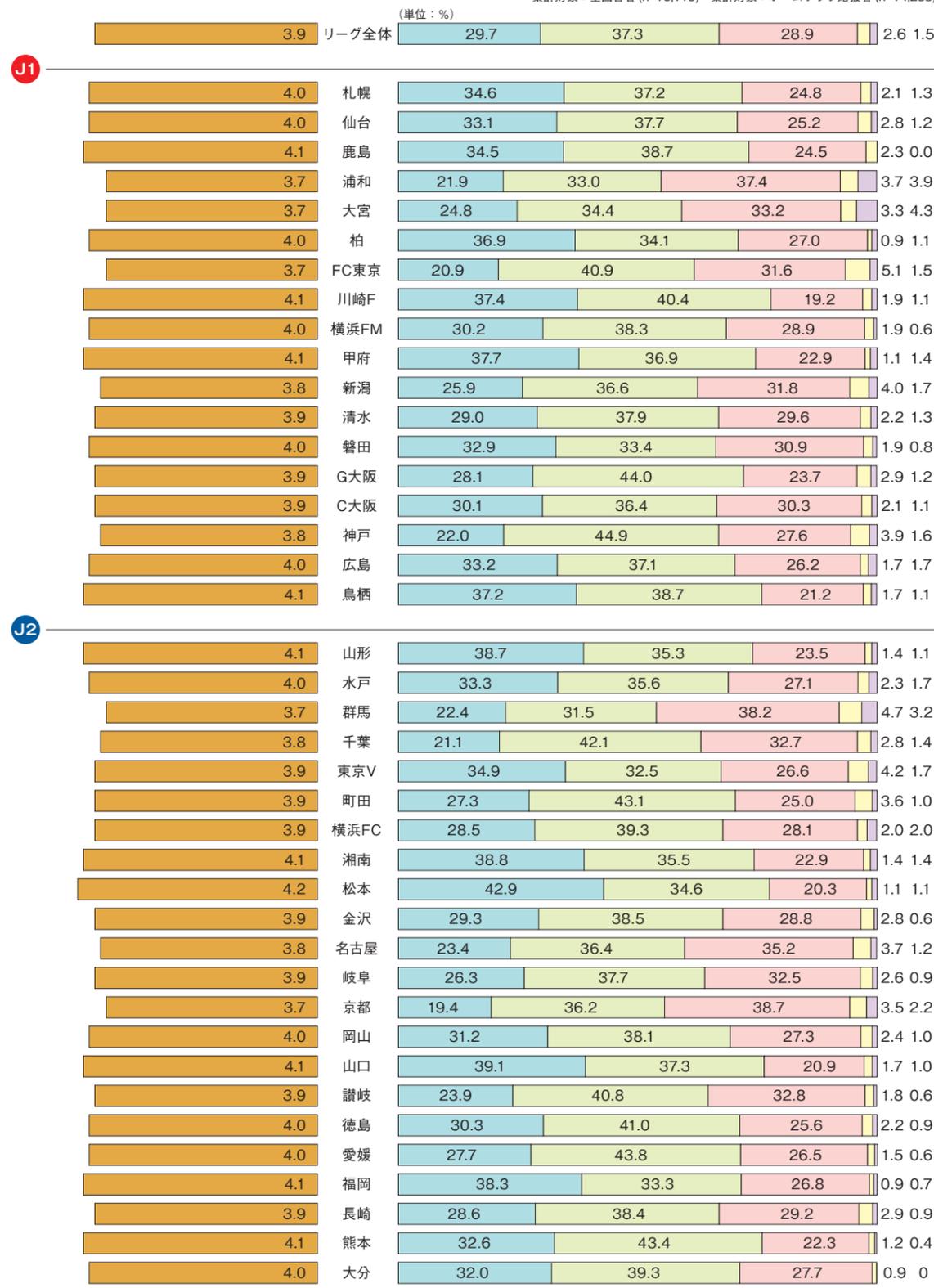
\*ポイント、五段階評定尺度 (とてもあてはまる：5～まったくあてはまらない：1) で求めた回答の平均値である。

## 67.0% (大いにあてはまる+あてはまる)が、サッカー選手は社会の模範として重要であると感じている。

「サッカー選手は社会の模範として重要な役割を果たしている」という見解に対して、観戦者全体の67.0% (29.7% + 37.3%)が肯定的であった。

### サッカー選手は社会の模範として重要な役割を果たしている

集計対象：全回答者 (n=16,119) 集計対象：ホームクラブ応援者 (n=14,253)



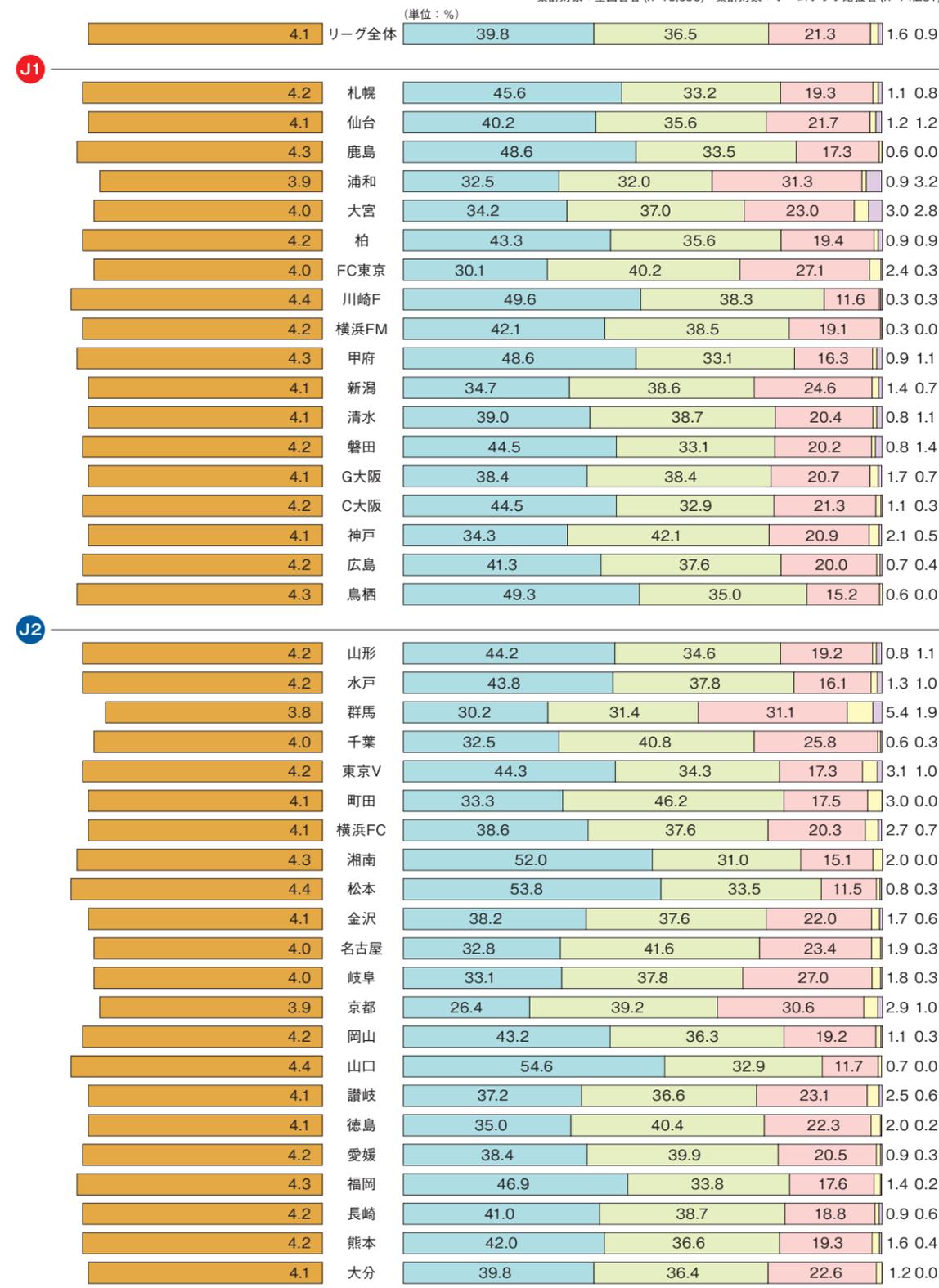
\*ポイントは、五段階評定尺度 (とてもあてはまる：5～まったくあてはまらない：1) で求めた回答の平均値である。

## 76.3% (大いにあてはまる+あてはまる)が、サッカーは若者にいい影響を与えていると考えている。

「サッカーは、若い人たちの生活に、いい影響を与えることができる」という見解に対して、観戦者全体の76.3% (39.8% + 36.5%)が肯定的であった。クラブ別にみると、川崎F、松本、山口(4.4)の観戦者の評価が高くなっている。

### サッカーは、若い人たちの生活に、いい影響を与えることができる

集計対象：全回答者 (n=16,096) 集計対象：ホームクラブ応援者 (n=14,231)



\*ポイントは、五段階評定尺度 (とてもあてはまる：5～まったくあてはまらない：1) で求めた回答の平均値である。

# Sample Profile

## 観戦者のプロフィール

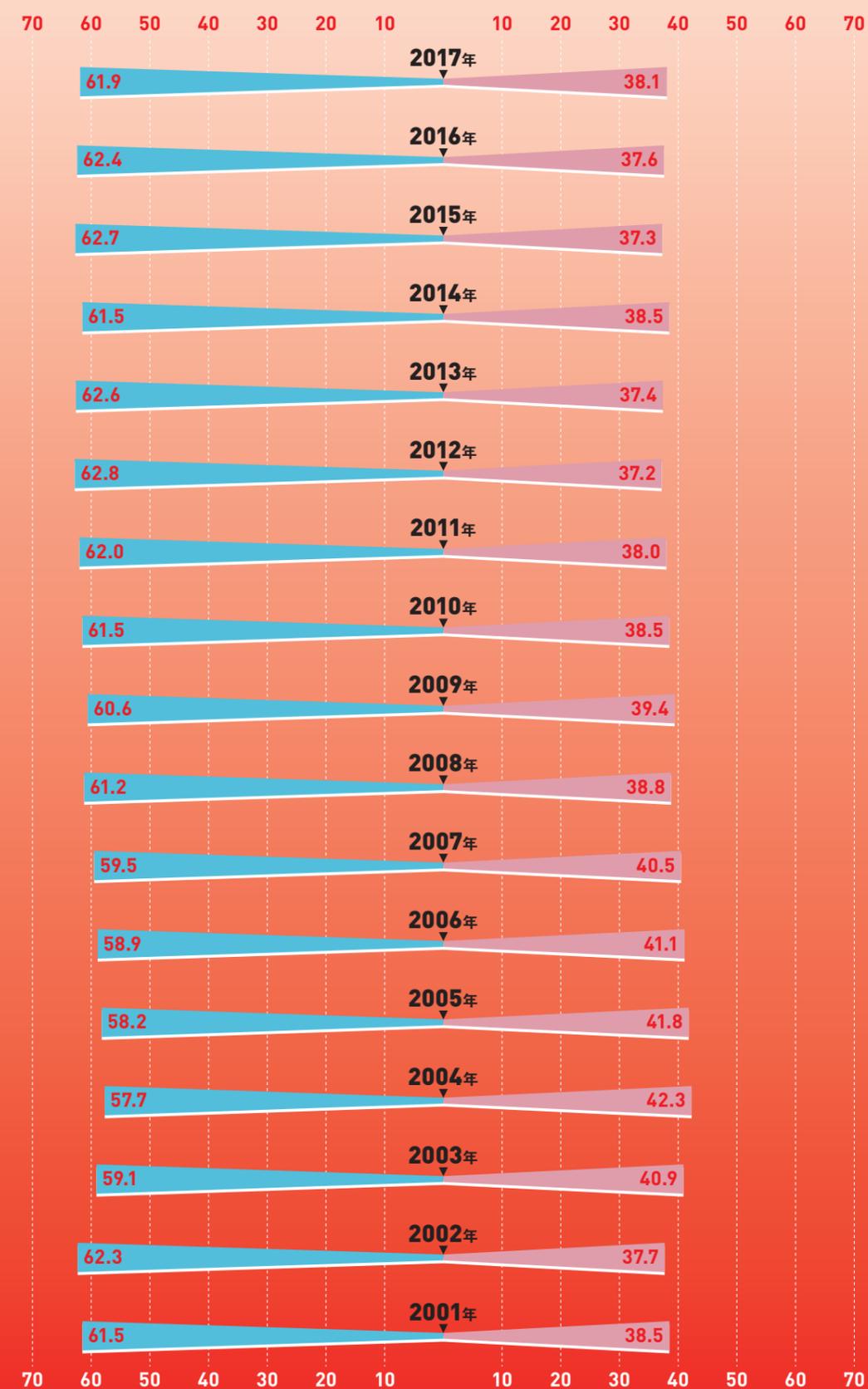


## 性別 (Jリーグ平均)

集計対象 [リーグ平均] : 全回答者

2017 n=17,125 / 2016 n=17,556 / 2015 n=17,155 / 2014 n=17,234 / 2013 n=17,253 / 2012 n=16,711  
2011 n=16,457 / 2010 n=16,359 / 2009 n=16,033 / 2008 n=14,452 / 2007 n=12,973 / 2006 n=12,937  
2005 n=13,003 / 2004 n=12,131 / 2003 n=11,633 / 2002 n=19,270 / 2001 n=7,390

■ 男性 ■ 女性



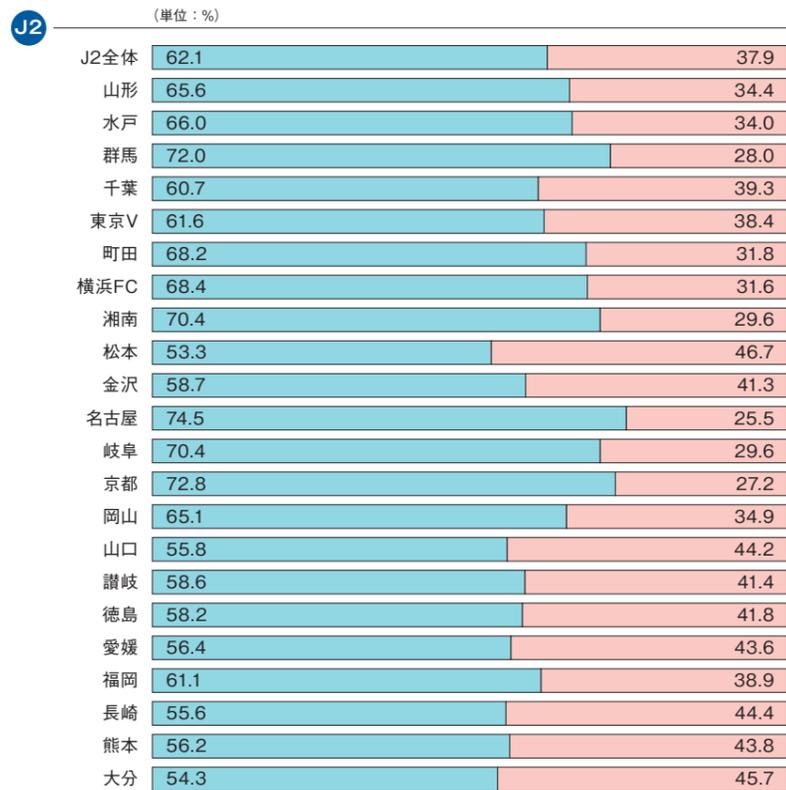
## 男女比6:4 女性比微増(昨年対比+0.5%)も大きな変化なし

観戦者の性別は、約6割(61.9%)が男性で約4割(38.1%)が女性であり、例年と同様の傾向である(P11参照)。J1とJ2では、性別構成に大きな違いはみられない。J1では、大宮(76.9%)、広島(68.3%)などの男性比率が高く、J2では名古屋(74.5%)、京都(72.8%)、群馬(72.0%)などの男性比率が高く、女性比率の高いクラブは松本(46.7%)、大分(45.7%)などである。

### 性別(クラブ別)

■ 男性 ■ 女性

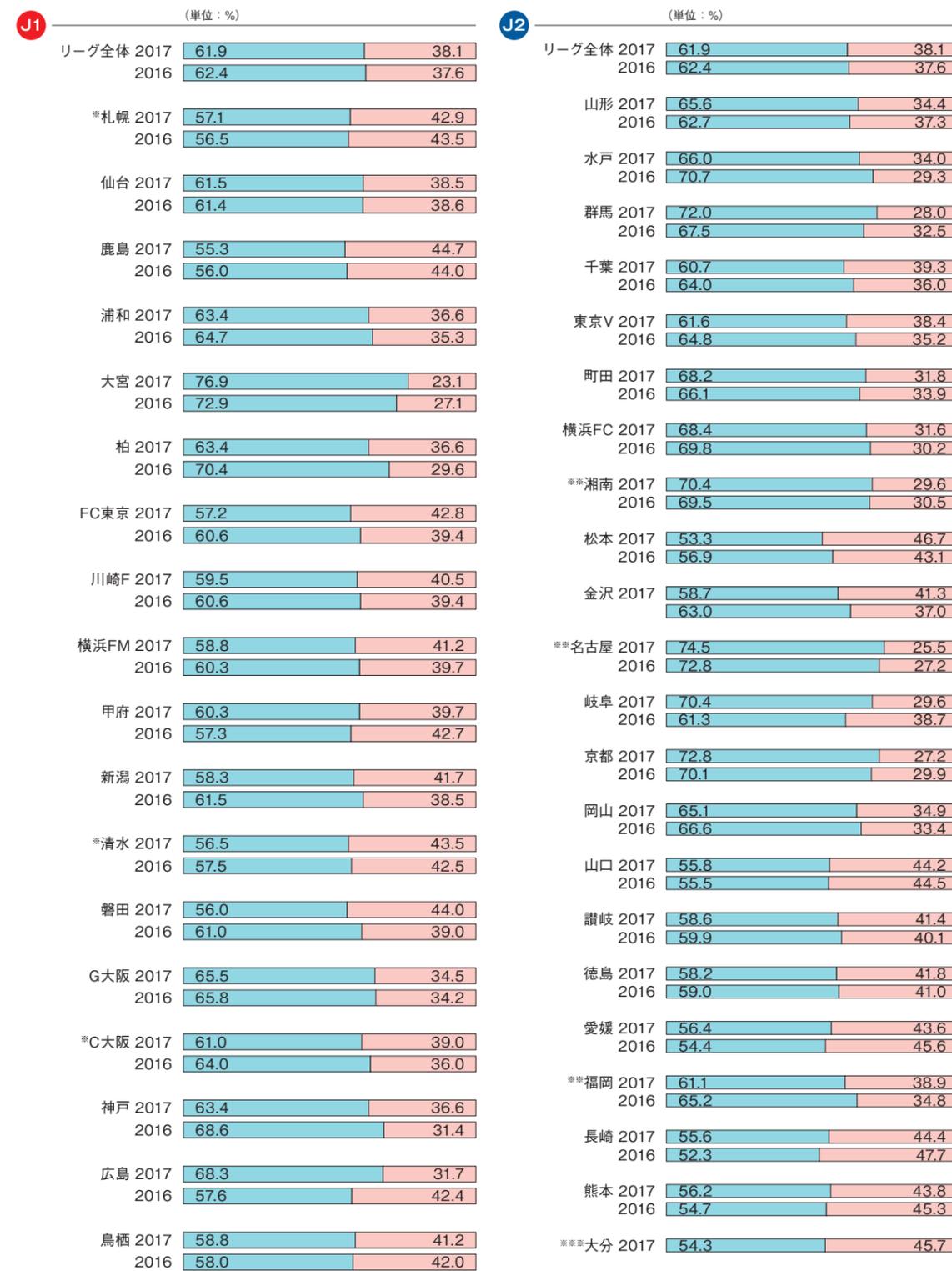
集計対象：全回答者 (J1 n=7,885/ J2 n=9,240) 集計対象：ホームクラブ応援者 (n=15,078)



### 性別(2017/2016比較)

■ 男性 ■ 女性

集計対象：全回答者 (2017 n=17,556/2016 n=17,155) 集計対象：ホームクラブ応援者 (2017 n=15,078/2016 n=15,627)



\*札幌、清水、C大阪は2016シーズンJ2に所属 \*\*湘南、名古屋、福岡は2016シーズンJ1に所属 \*\*\*大分は2016シーズンJ3に所属

# 年齢分布

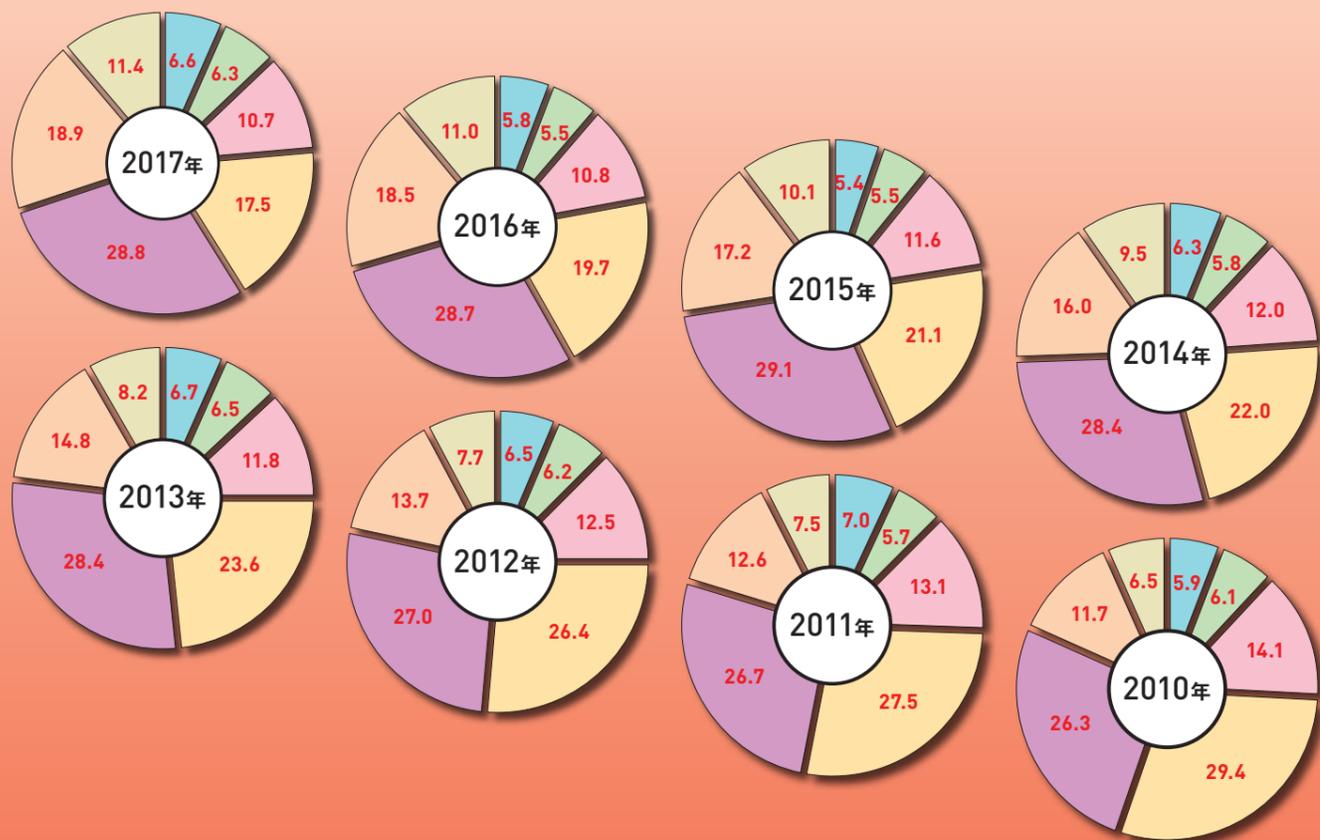
18歳以下 19~22歳 23~29歳 30~39歳 40~49歳 50~59歳 60歳以上

## 年齢分布の推移 (Jリーグ平均)

(単位: %)

集計対象: 全回答者

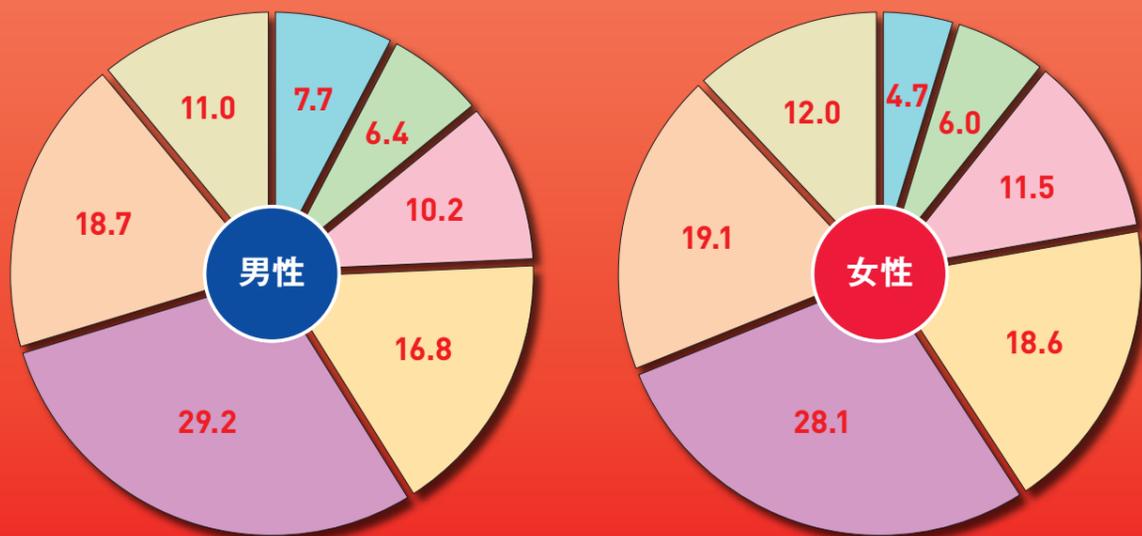
2017 n=16,975 / 2016 n=17,399  
2015 n=17,034 / 2014 n=17,082  
2013 n=17,114 / 2012 n=16,594  
2011 n=16,318



## 2017年年齢分布 (男女別)

(単位: %)

集計対象: 全回答者 (n=16,971)



## 平均年齢はリーグ全体で41.7歳

観戦者の平均年齢はリーグ全体で41.7歳であった。昨年より0.1歳上がっている。年齢層では、40代(28.8%)、50代(18.9%)、30代(17.5%)が中心となっている。性別による年齢構成比に大きな違いはない。平均年齢が高いクラブは札幌(46.1歳)、大分(45.8歳)、岡山(45.7歳)、岐阜(45.5歳)などであった。一方、平均年齢が低いクラブは、横浜FM(36.6歳)、川崎F(36.9歳)などである。

## 平均年齢・年齢分布 (クラブ別)

11歳-18歳 19-22歳 23-29歳 30-39歳 40-49歳 50-59歳 60歳以上

集計対象: 全回答者 (n=16,975) 集計対象: ホームクラブ応援者 (n=14,936)

クラブ	平均年齢 (歳)	11歳-18歳 (%)	19-22歳 (%)	23-29歳 (%)	30-39歳 (%)	40-49歳 (%)	50-59歳 (%)	60歳以上 (%)
リーグ全体	41.7	6.6	6.3	10.7	17.5	28.8	18.9	11.4
J1								
札幌	46.1	5.3	4.0	6.0	14.5	23.3	27.8	19.0
仙台	45.2	4.3	4.6	9.1	14.0	28.6	22.3	17.1
鹿島	38.2	8.9	5.3	19.0	18.7	24.3	16.8	7.0
浦和	45.2	3.2	3.7	7.1	12.2	36.8	27.1	9.9
大宮	42.3	4.3	8.0	7.0	19.3	29.3	23.8	8.3
柏	39.1	7.7	9.1	14.6	15.9	28.3	16.8	7.7
FC東京	42.1	9.8	7.3	8.1	12.0	28.3	22.4	12.0
川崎F	36.9	9.9	8.5	18.1	18.7	24.5	13.6	6.7
横浜FM	36.6	12.4	6.5	17.1	20.5	23.9	14.6	5.0
甲府	41.3	9.6	6.8	10.1	14.0	28.1	19.5	11.9
新潟	44.3	8.9	7.7	9.1	5.6	25.2	24.3	19.2
清水	40.8	8.8	6.5	11.7	18.4	23.3	19.4	11.9
磐田	38.3	11.3	4.7	17.5	21.5	19.4	18.3	7.3
G大阪	38.4	4.1	9.0	18.4	18.9	29.6	14.3	5.6
C大阪	38.9	4.7	7.6	15.7	18.3	34.8	13.4	5.5
神戸	40.9	4.7	7.1	14.4	16.5	28.8	20.9	7.6
広島	44.1	3.7	5.2	8.8	13.4	32.1	25.0	11.9
鳥栖	38.6	13.0	7.7	13.6	16.0	21.5	19.1	9.0
J2								
山形	44.1	5.6	6.6	10.9	11.5	27.2	20.9	17.3
水戸	44.3	4.0	3.7	11.3	19.0	27.5	16.5	18.0
群馬	44.5	2.8	4.3	6.2	15.8	40.1	17.4	13.4
千葉	42.1	3.8	4.9	10.3	21.4	33.8	17.8	8.1
東京V	43.7	2.3	3.0	10.3	22.9	27.9	23.3	10.3
町田	44.3	6.3	5.5	2.9	16.7	36.3	16.7	15.6
横浜FC	42.7	5.3	3.3	5.3	16.9	42.7	19.2	7.3
湘南	45.0	7.4	3.7	5.6	12.5	30.6	25.0	15.2
松本	40.8	12.3	7.5	10.3	15.4	22.1	17.0	15.4
金沢	42.5	3.1	4.7	6.6	19.3	42.2	15.6	8.5
名古屋	40.2	4.9	4.9	13.5	21.8	30.7	18.4	5.8
岐阜	45.5	3.5	2.1	5.6	19.9	32.0	22.6	14.4
京都	43.6	4.1	5.5	8.5	18.1	30.0	22.7	11.1
岡山	45.7	6.5	3.3	5.3	10.3	34.8	24.2	15.6
山口	45.4	6.8	1.7	4.7	19.8	27.4	21.9	17.7
讃岐	43.2	5.6	3.4	7.9	20.1	31.9	16.1	15.0
徳島	45.3	3.1	5.1	6.7	15.5	31.0	21.7	16.9
愛媛	43.8	4.2	2.8	9.5	17.9	33.8	18.7	13.1
福岡	42.2	5.6	5.1	5.4	21.7	34.0	21.0	7.2
長崎	42.4	6.9	5.3	10.6	19.3	24.5	16.9	16.6
熊本	44.4	7.8	3.1	8.5	17.8	24.0	19.8	19.0
大分	45.8	4.1	5.1	10.0	15.4	22.2	19.8	23.3



平均年齢 (2017/2016 比較)

■ 2017実績 ■ 2016実績

集計対象：全回答者 (2017 n=16,975/2016 n=17,399) 集計対象：ホームクラブ応援者 (2017 n=14,936/2016 n=15,483)

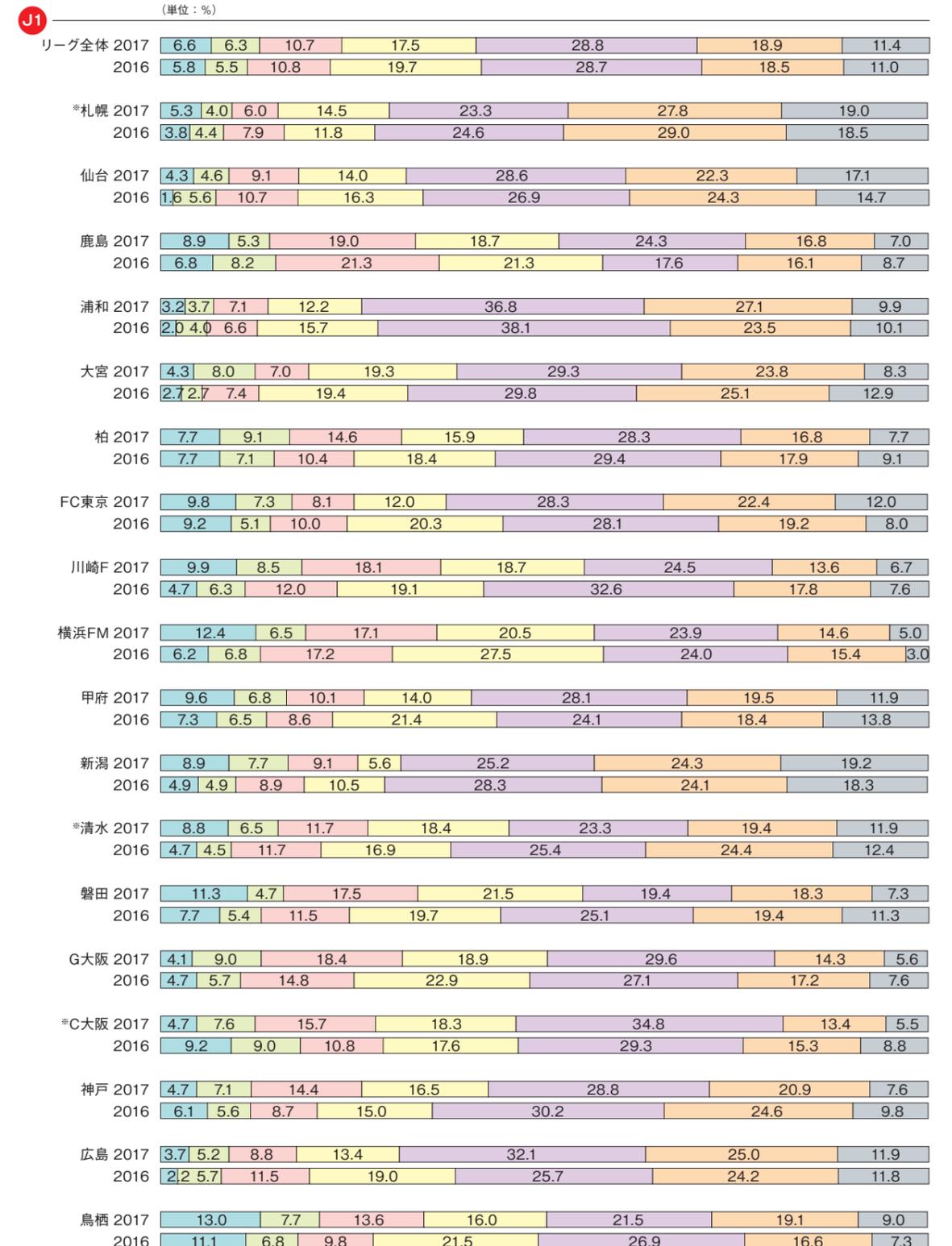


\*札幌、清水、C大阪は2016シーズンJ2に所属 \*\*湘南、名古屋、福岡は2016シーズンJ1に所属 \*\*\*大分は2016シーズンJ3に所属

J1 年齢分布 (2017/2016 比較)

■ 11歳-18歳 ■ 19-22歳 ■ 23-29歳 ■ 30-39歳 ■ 40-49歳 ■ 50-59歳 ■ 60歳以上

集計対象：全回答者 (2017 n=16,975/2016 n=17,399) 集計対象：ホームクラブ応援者 (2017 n=14,936/2016 n=15,483)



\*札幌、清水、C大阪は2016シーズンJ2に所属



J2 年齢分布 (2017/2016 比較)

■ 11歳-18歳 ■ 19-22歳 ■ 23-29歳 ■ 30-39歳 ■ 40-49歳 ■ 50-59歳 ■ 60歳以上

集計対象：全回答者 (2017 n=16,975/2016 n=17,399) 集計対象：ホームクラブ応援者 (2017 n=14,936/2016 n=15,483)

J2	リーグ	年齢 (単位: %)						
		11歳-18歳	19-22歳	23-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上
リーグ全体	2017	6.6	6.3	10.7	17.5	28.8	18.9	11.4
	2016	5.8	5.5	10.8	19.7	28.7	18.5	11.0
山形	2017	5.6	6.6	10.9	11.5	27.2	20.9	17.3
	2016	4.7	5.2	12.1	15.5	24.1	20.5	17.8
水戸	2017	4.0	3.7	11.3	19.0	27.5	16.5	18.0
	2016	5.0	4.0	7.0	22.5	27.2	17.4	16.8
群馬	2017	2.8	4.3	6.2	15.8	40.1	17.4	13.4
	2016	4.9	3.4	12.4	20.4	34.1	14.8	10.0
千葉	2017	3.8	4.9	10.3	21.4	33.8	17.8	8.1
	2016	4.8	4.0	9.8	19.1	34.8	18.6	8.8
東京V	2017	2.3	3.0	10.3	22.9	27.9	23.3	10.3
	2016	1.5	6.7	13.7	26.2	26.8	17.8	7.3
町田	2017	6.3	5.5	2.9	16.7	36.3	16.7	15.6
	2016	5.7	2.0	3.7	17.8	41.8	16.3	12.6
横浜FC	2017	5.3	3.3	5.3	16.9	42.7	19.2	7.3
	2016	3.6	4.5	7.2	22.2	40.8	13.8	7.8
**湘南	2017	7.4	3.7	5.6	12.5	30.6	25.0	15.2
	2016	5.9	3.8	7.0	19.6	29.3	18.2	16.1
松本	2017	12.3	7.5	10.3	15.4	22.1	17.0	15.4
	2016	5.0	5.0	11.2	13.9	22.9	21.4	20.6
金沢	2017	3.1	4.7	6.6	19.3	42.2	15.6	8.5
	2016	7.5	3.7	8.4	21.8	38.7	14.3	5.7
**名古屋	2017	4.9	4.9	13.5	21.8	30.7	18.4	5.8
	2016	4.5	3.6	12.5	23.2	33.6	14.6	8.0
岐阜	2017	3.5	2.1	5.6	19.9	32.0	22.6	14.4
	2016	6.6	4.0	5.8	20.7	30.0	19.0	13.8
京都	2017	4.1	5.5	8.5	18.1	30.0	22.7	11.1
	2016	4.1	4.3	8.7	17.8	28.8	23.4	13.0
岡山	2017	6.5	8.3	5.3	10.3	34.8	24.2	15.6
	2016	2.1	2	35.9	18.3	36.1	21.7	13.6
山口	2017	6.8	1.7	4.7	19.8	27.4	21.9	17.7
	2016	10.3	3.8	7.1	23.4	25.8	16.3	13.3
讃岐	2017	5.6	3.4	7.9	20.1	31.9	16.1	15.0
	2016	4.0	4.3	10.1	22.9	31.6	16.2	10.9
徳島	2017	3.1	5.1	6.7	15.5	31.0	21.7	16.9
	2016	3.8	5.5	4.9	18.0	27.5	24.6	15.7
愛媛	2017	4.2	2.8	9.5	17.9	33.8	18.7	13.1
	2016	6.3	2.7	7.1	18.7	33.8	16.8	14.6
**福岡	2017	5.6	5.1	5.4	21.7	34.0	21.0	7.2
	2016	9.2	8.0	10.0	21.2	32.7	12.9	6.0
長崎	2017	6.9	5.3	10.6	19.3	24.5	16.9	16.6
	2016	10.4	3.1	7.8	20.8	26.3	19.0	12.5
熊本	2017	7.8	3.1	8.5	17.8	24.0	19.8	19.0
	2016	3.4	3.6	8.9	16.7	26.8	24.2	16.4
***大分	2017	4.1	5.1	10.0	15.4	22.2	19.8	23.3

\*\*湘南、名古屋、福岡は2016シーズンJ1に所属 \*\*\*大分は2016シーズンJ3に所属

一緒に来場した子どもの年齢をふまえた平均年齢は、リーグ全体で35.8歳

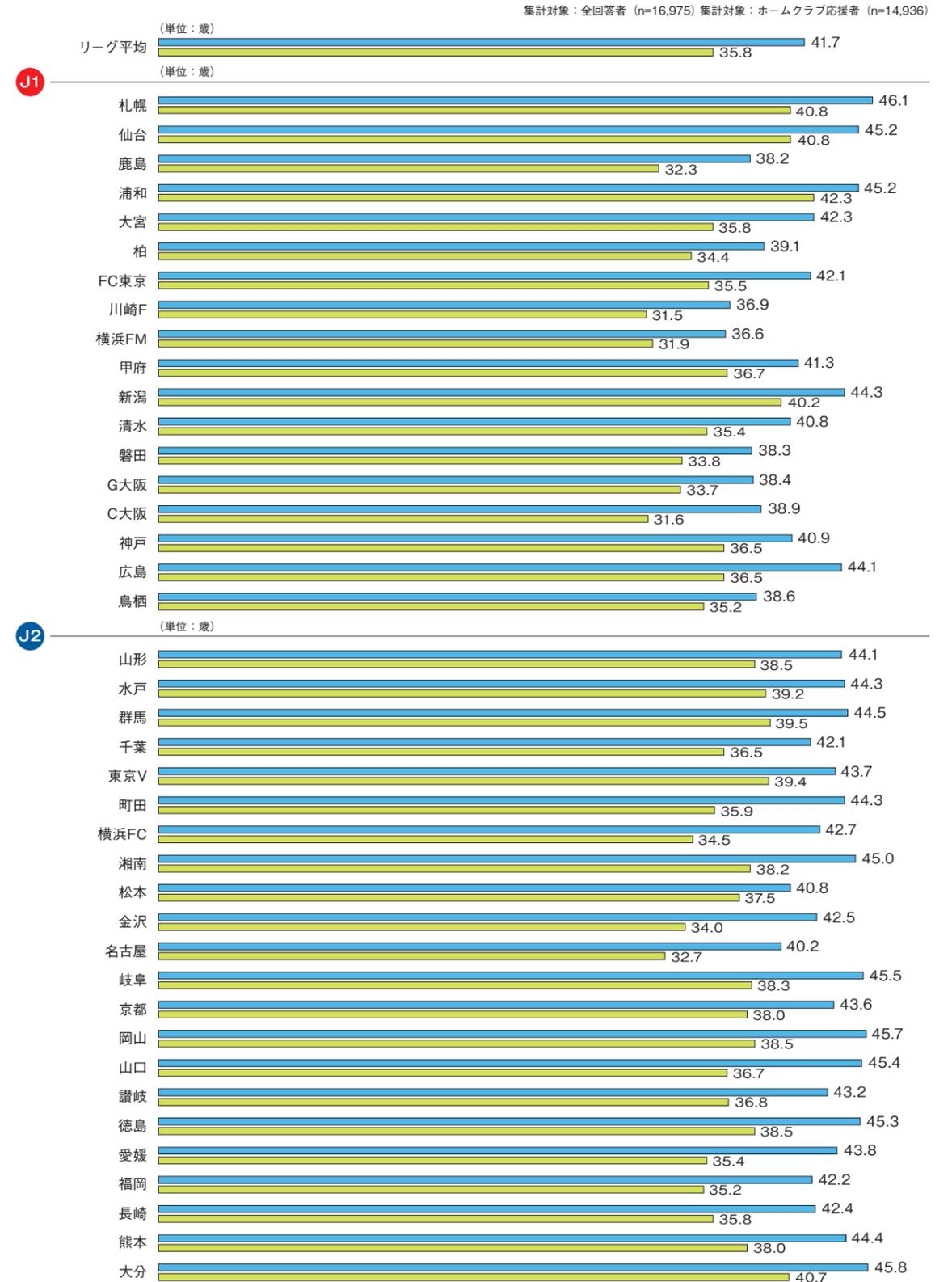
(脚注) 本調査は、これまで継続的に、11歳以上の来場者を対象にデータ収集をしていたが、2014シーズンより、同伴来場の子どもの年齢を調査項目に加え、新たに算出した。

観戦者全体の平均年齢は41.7歳(P15参照)であったが、回答者と一緒に来場した子どもの年齢をふまえた平均年齢は、35.8歳となっている(脚注)。一緒に来場した子どもの年齢をふまえた平均年齢が高いクラブは浦和(42.3歳)、札幌(40.8歳)、仙台(40.8歳)、大分(40.7歳)などで、一方、一緒に来場した子どもの年齢をふまえた平均年齢が低いクラブは、川崎F(31.5歳)、C大阪(31.6歳)、横浜FM(31.9歳)などである。

平均年齢

(調査対象の平均年齢と同伴来場した子どもの年齢を含んだ平均年齢)

■ 調査対象の平均年齢 ■ 同伴来場した子どもの年齢を含んだ平均年齢





同伴来場した子どもの年齢を含んだ平均年齢 (2017/2016 比較)

■ 2017実績 ■ 2016実績

集計対象：全回答者 (2017 n=16,975/2016 n=17,399) 集計対象：ホームクラブ応援者 (2017 n=14,936/2016 n=15,483)



\*札幌、清水、C大阪は2016シーズンJ2に所属 ※湘南、名古屋、福岡は2016シーズンJ1に所属 ※\*\*\*大分は2016シーズンJ3に所属

全体の86.4%がホームタウンのある都道府県に居住

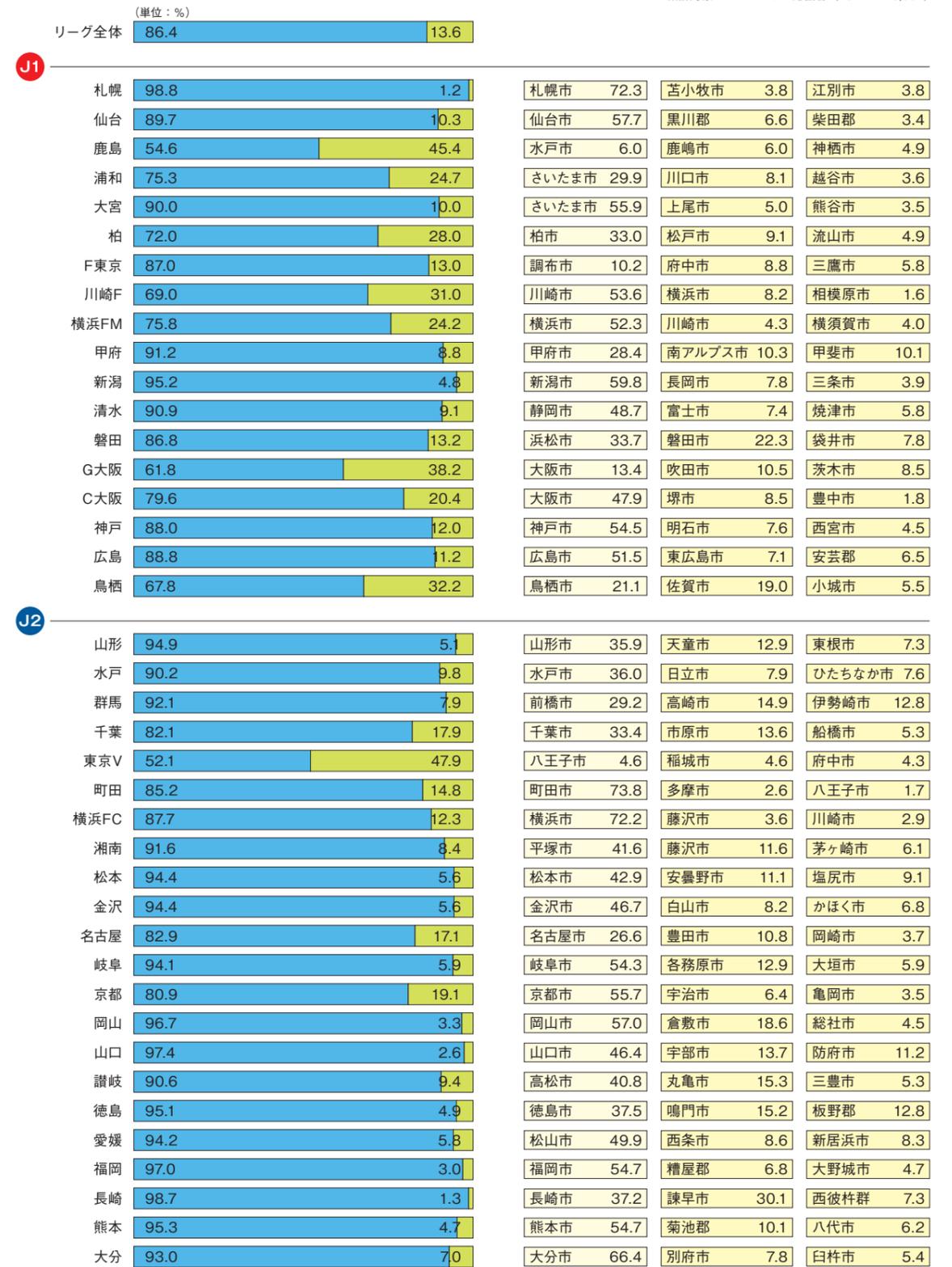
全体の86.4%がホームタウンのある都道府県に居住しており、東京V(52.1%)、鹿島(54.6%)、G大阪(61.8%)などに、活動区域に居住する割合が低い傾向が、札幌(98.8%)、長崎(98.7%)、山口(97.4%)、福岡(97.0%)などに、活動区域に居住する割合が高い傾向がみられる。

居住地 (活動区域・市区郡町村内訳)

※居住地 (都道府県下詳細) 上位3市区郡町村

■ 活動区域内 ■ 活動区域外

集計対象：ホームクラブ応援者 (2017 n=15,054)



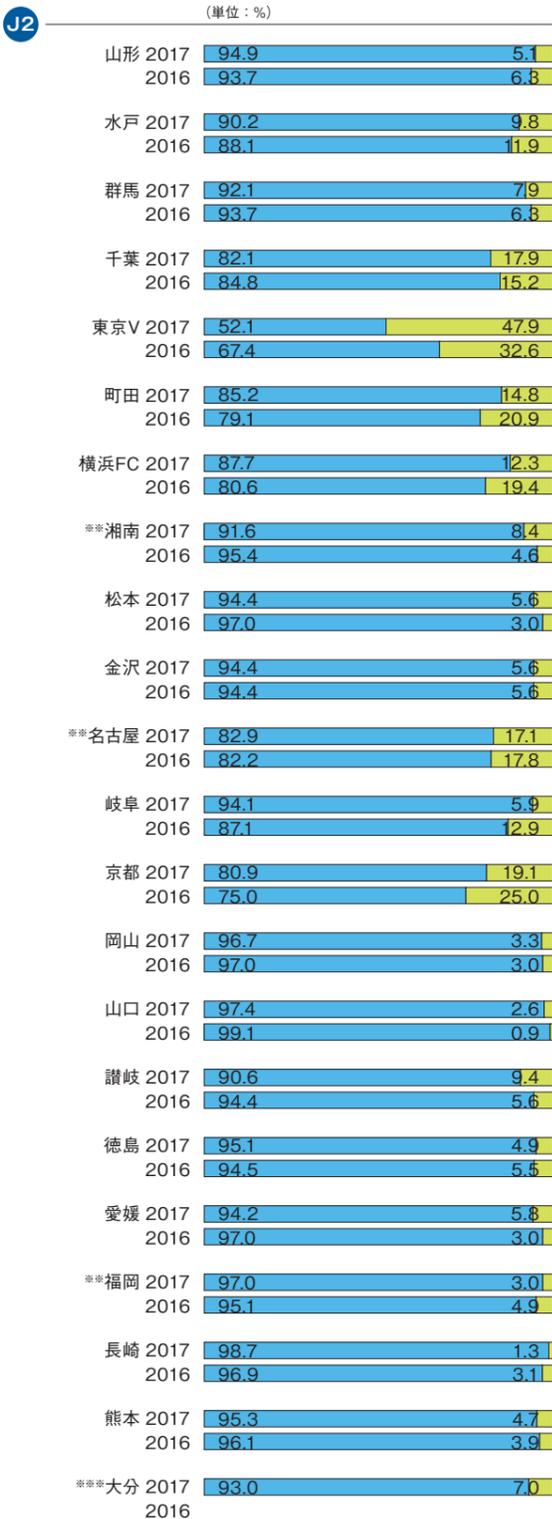
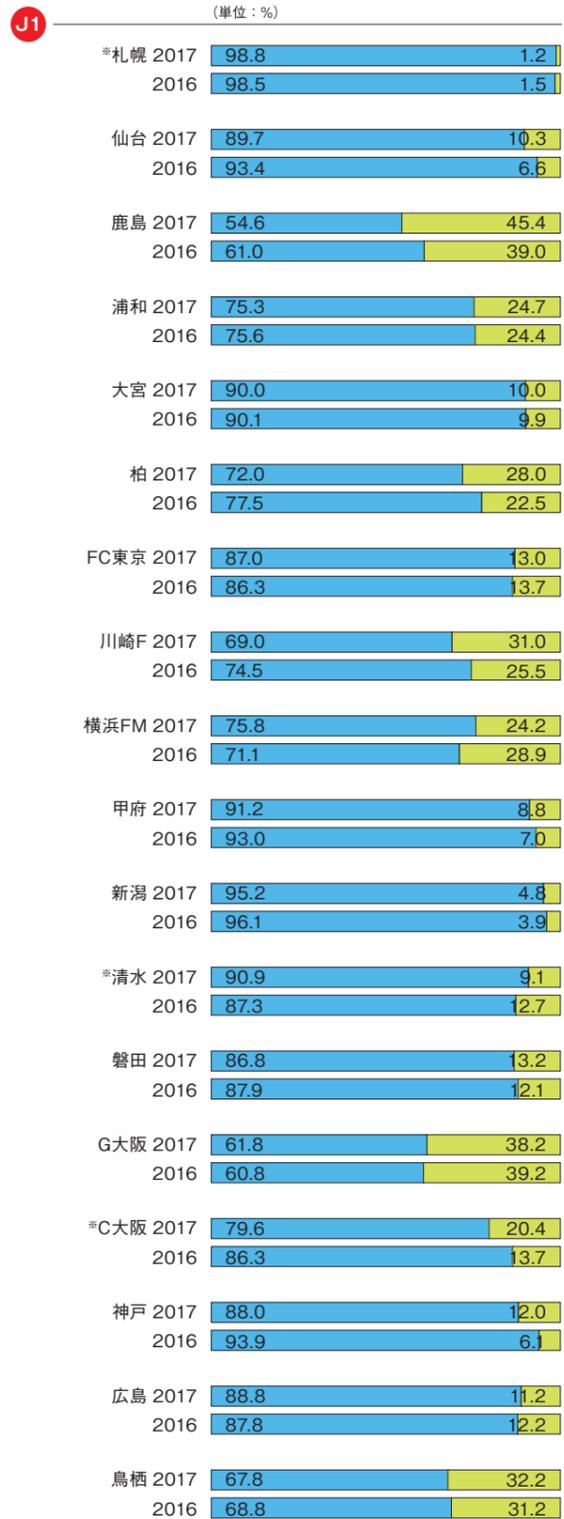


居住地 (活動区域 2017/2016)

■ 活動区域内 ■ 活動区域外

集計対象：ホームクラブ応援者 (2017 n=7,008/2016 n=7,028)

集計対象：ホームクラブ応援者 (2017 n=8,046/2016 n=8,520)



\*札幌、清水、C大阪は2016シーズンJ2に所属 \*\*湘南、名古屋、福岡は2016シーズンJ1に所属 \*\*\*大分は2016シーズンJ3に所属

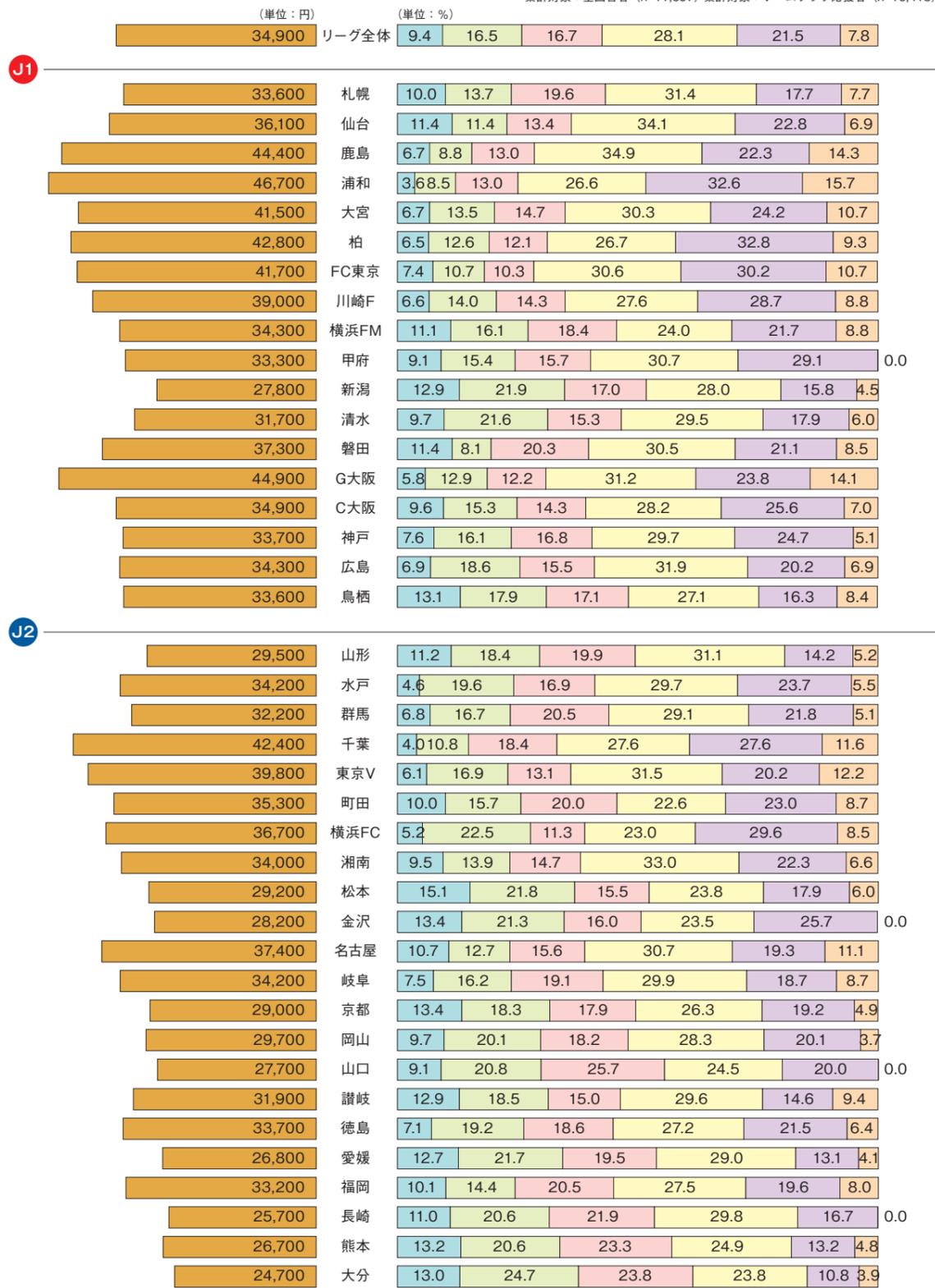
おこづかいは、微減の34,900円

観戦者の自由裁量所得(レジャーや趣味等に自由に使える1カ月の金額)は、平均(リーグ全体)で34,900円であり、これまでとほぼ同水準(2016: 35,400円, 2015: 35,100円)となっている。

自由裁量所得

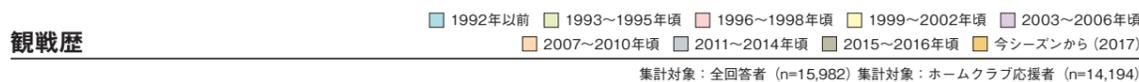
■ 0-9,999円 ■ 10,000-19,999円 ■ 20,000-29,999円 ■ 30,000-49,999円 ■ 50,000~99,999円 ■ 100,000円以上

集計対象：全回答者 (n=11,697) 集計対象：ホームクラブ応援者 (n=10,413)



## 2017シーズン新規参入層は6.6%

2017シーズンから観戦を始めた新規参入層の構成比は6.6%であり、2016シーズンと同様の水準(6.5%)であった。この新規参入層のファンが多いクラブは、東京V(26.8%)であり、突出している。Jリーグ開幕以前より観戦をしていた観戦者は、全体の7.8%であり、横浜FC(17.0%)、清水(16.4%)、などには、その層が多くなっている。また、Jリーグ開幕直後(1993~1995シーズン)に観戦を開始した観戦者は全体の14.5%であり、湘南(30.1%)、清水・鹿島(27.1%)などの観戦者に、その時期に観戦を始めた人が多いことがみとれる。



リーグ全体	7.8	14.5	4.8	9.5	13.3	12.6	19.5	11.3	6.6
J1									
札幌	7.7	20.1	15.3	19.8	10.3	6.9	9.5	6.9	3.4
仙台	8.3	11.0	11.0	22.3	14.1	10.7	13.5	4.9	4.3
鹿島	8.5	27.1	3.1	7.6	10.5	12.4	11.9	13.6	5.4
浦和	13.1	24.4	9.2	10.8	19.8	9.2	9.4	2.5	1.6
大宮	7.3	11.8	5.3	11.3	16.6	14.8	21.6	9.8	1.5
柏	10.3	15.2	6.3	9.5	15.8	12.9	18.1	8.0	3.7
FC東京	8.3	12.2	2.7	19.9	14.2	11.9	20.2	6.5	4.2
川崎F	3.3	8.2	4.4	7.9	18.1	17.5	19.2	18.4	3.0
横浜FM	6.2	19.8	6.5	11.7	10.1	11.7	19.8	9.1	5.2
甲府	6.0	8.9	4.3	11.2	18.9	20.9	18.6	10.0	1.1
新潟	4.5	6.0	4.0	26.9	24.8	11.7	13.6	6.2	2.4
清水	16.4	27.1	5.3	6.6	11.1	9.0	11.7	8.5	4.2
磐田	13.0	18.2	6.0	9.2	11.7	10.8	14.6	12.2	4.3
G大阪	10.2	15.6	5.6	7.8	14.4	11.7	21.7	10.0	2.9
C大阪	5.6	12.7	5.3	8.8	13.3	12.7	23.6	10.3	7.7
神戸	4.7	12.6	4.2	12.1	20.8	13.4	15.5	11.8	4.7
広島	12.0	23.6	4.4	6.6	9.6	14.7	19.0	7.2	2.8
鳥栖	4.7	8.2	5.0	7.3	14.9	9.6	31.9	13.5	5.0

J2	山形	8.5	13.1	4.8	10.3	15.7	19.9	19.1	6.8	1.7
水戸	7.3	20.9	3.6	8.9	14.2	10.3	21.2	10.6	3.0	
群馬	6.1	12.3	2.9	7.1	29.4	18.1	10.6	8.7	4.8	
千葉	9.3	23.4	4.7	8.5	15.1	18.1	11.8	6.9	2.2	
東京V	10.1	20.1	2.3	9.4	11.4	7.0	9.7	3.0	26.8	
町田	10.9	8.6	2.6	7.0	5.6	10.9	31.8	16.2	6.3	
横浜FC	17.0	23.8	4.1	8.8	9.9	8.5	12.9	8.8	6.1	
湘南	10.9	30.1	5.5	12.0	6.8	7.1	16.4	9.0	2.2	
松本	4.9	7.4	2.3	2.6	6.9	16.3	41.7	15.4	2.6	
金沢	4.9	7.1	3.5	3.0	7.1	6.8	31.0	28.3	8.4	
名古屋	9.1	23.1	5.9	9.4	11.9	12.8	16.9	6.3	4.7	
岐阜	6.3	16.3	3.3	4.8	7.6	16.9	27.5	11.5	5.7	
京都	8.4	15.8	8.4	14.1	13.8	16.1	10.9	7.7	4.8	
岡山	7.0	9.5	1.9	3.0	7.8	28.6	28.1	12.4	1.6	
山口	4.7	9.9	2.6	3.1	3.9	6.5	23.4	40.3	5.7	
讃岐	4.9	8.2	2.4	3.7	7.6	6.7	37.2	22.6	6.7	
徳島	6.6	8.0	2.5	6.8	19.3	18.4	24.8	10.0	3.6	
愛媛	7.3	9.1	2.7	3.3	14.8	16.6	22.4	14.5	9.4	
福岡	6.6	17.5	10.4	15.2	15.2	11.6	10.2	11.1	2.1	
長崎	6.6	9.3	1.5	3.6	6.3	4.8	45.6	14.7	7.5	
熊本	4.5	8.2	2.5	6.6	14.8	21.8	28.4	7.8	5.3	
大分	3.5	13.4	5.5	18.3	26.5	12.5	10.8	7.0	2.6	

## 2017シーズンから新たにサポーターになった人は、6.3%

観戦者に、どのくらいの期間、特定のクラブを応援しているかについて尋ねたところ、10年以上とする割合が最も高く47.1%となっている。10年以上の長いサポーター歴をもつ観戦者の割合が高いクラブには、浦和(83.7%)、仙台(73.2%)、札幌(72.1%)などがあげられる。2017シーズンからサポートクラブを持つようになったとする観戦者は、全体の6.3%であり、そのような観戦者の割合が高いクラブは、東京V(27.5%)が突出しており、続いてJ2クラブの横浜FC(12.9%)、金沢(12.6%)、愛媛(12.2%)などがあげられる。



リーグ全体	6.3	23.9	22.7	47.1
J1				
札幌	2.7	14.0	11.2	72.1
仙台	3.7	8.3	14.8	73.2
鹿島	4.9	21.5	13.9	59.7
浦和	1.1	14.7	10.4	83.7
大宮	3.0	20.1	33.0	43.9
柏	6.3	16.7	21.6	55.5
FC東京	6.3	20.4	22.3	51.0
川崎F	5.8	30.2	21.4	42.6
横浜FM	6.5	16.4	22.5	54.6
甲府	4.1	17.5	24.5	53.9
新潟	3.0	13.8	14.3	69.0
清水	5.1	13.2	11.9	69.9
磐田	6.5	19.7	12.5	61.3
G大阪	3.6	18.4	23.3	54.6
C大阪	11.5	23.3	25.4	39.8
神戸	7.1	19.4	24.6	49.0
広島	1.9	10.8	20.0	67.2
鳥栖	9.2	24.3	31.9	34.6

J2	山形	3.3	16.7	24.0	56.1
水戸	6.7	23.8	28.4	41.2	
群馬	5.2	21.0	14.0	59.9	
千葉	4.0	12.3	17.1	66.6	
東京V	27.5	11.1	11.1	50.2	
町田	8.2	43.1	38.0	10.8	
横浜FC	12.9	21.3	16.8	49.0	
湘南	4.2	18.1	20.2	57.6	
松本	4.6	33.7	50.4	11.4	
金沢	12.6	62.1	18.3	7.0	
名古屋	5.8	16.4	16.7	61.1	
岐阜	6.7	35.7	28.4	29.2	
京都	6.4	16.8	18.0	58.8	
岡山	2.5	29.9	45.2	22.4	
山口	5.8	81.4	8.6	4.2	
讃岐	10.8	52.8	30.6	5.8	
徳島	5.5	23.6	30.6	40.4	
愛媛	12.2	27.3	22.9	37.6	
福岡	4.9	18.9	13.8	62.5	
長崎	7.6	34.5	44.1	13.8	
熊本	7.4	24.8	33.7	34.1	
大分	3.8	11.8	21.2	63.2	



# Fan Motivation

## スタジアム観戦の動機



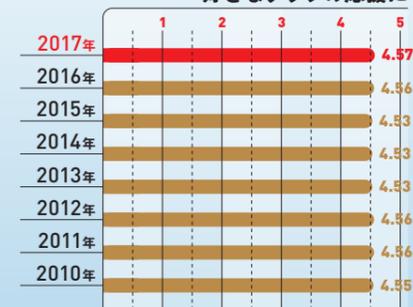
# 観戦の動機やきっかけ

集計対象: 全回答者

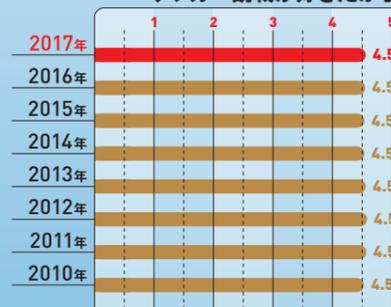
2017年 n=15,733 / 2016年 n=16,191 / 2015年 n=15,931 / 2014年 n=15,697  
2013年 n=15,697 / 2012年 n=15,114 / 2011年 n=15,002 / 2010年 n=14,963

※数値は、五段階評定尺度(あてはまる:5～あてはまらない:1)で求めたスコアの平均値

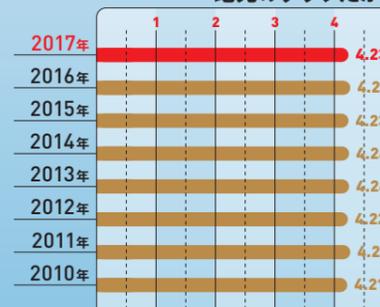
好きなクラブの応援に



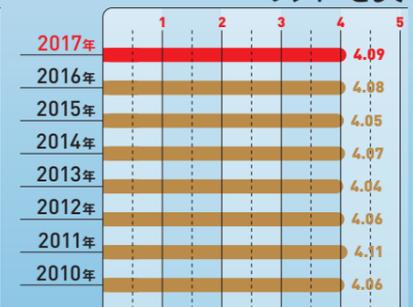
サッカー観戦が好きだから



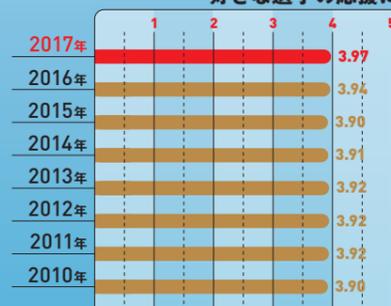
地元のクラブだから



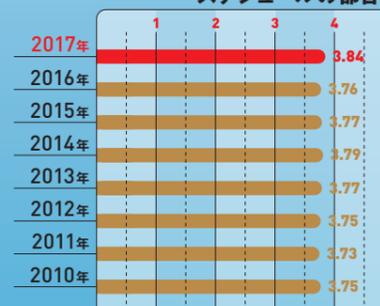
レジャーとして



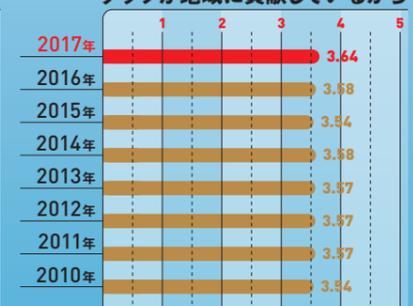
好きな選手の応援に



スケジュールの都合で



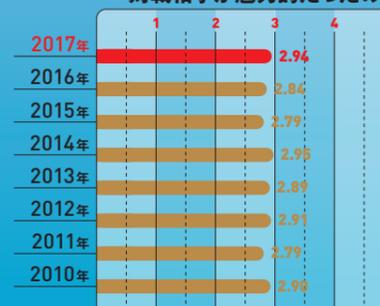
クラブが地域に貢献しているから



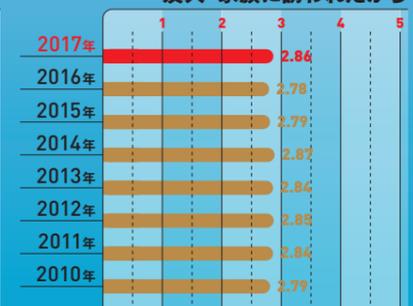
スタジアムでのイベント・  
グルメ企画が楽しそうだから



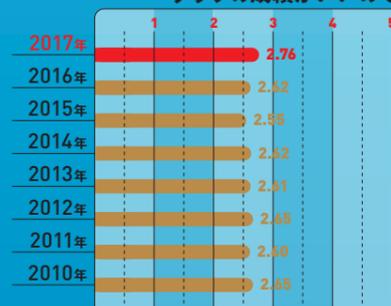
対戦相手が魅力的だったので



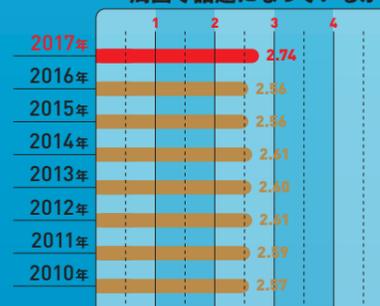
友人・家族に誘われたから



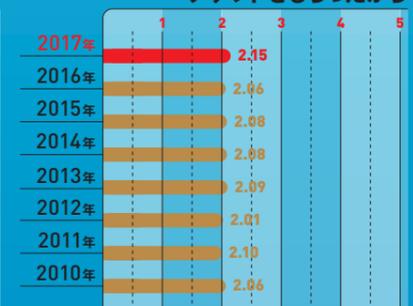
クラブの成績がいいので



周囲で話題になっているから



チケットをもらったから



観戦の動機やきっかけ

集計対象：全回答者 (n=15,733)



※数値は、五段階評定尺度 (あてはまる:5 ~ あてはまらない:1) で求めたスコアの平均値

	好きなクラブの応援	サッカー観戦が好きだから	地元のクラブだから	レジャーとして	好きな選手の応援	スケジュールの都合
1	浦和 52.4	磐田 52.3	札幌 54.3	福岡 52.3	川崎F 53.2	山口 52.4
2	札幌 52.1	福岡 52.1	熊本 53.5	鳥栖 51.7	磐田 53.0	鹿島 52.1
3	川崎F 51.9	千葉 52.0	山口 53.3	横浜FM 51.5	G大阪 52.5	C大阪 51.8
4	大宮 51.8	G大阪 52.0	長崎 53.0	松本 51.5	福岡 52.2	山形 51.5
5	福岡 51.7	札幌 52.0	福岡 53.0	水戸 51.5	柏 52.0	熊本 51.5
6	柏 51.5	柏 51.7	金沢 52.8	仙台 51.4	鳥栖 51.9	岐阜 51.4
7	磐田 51.5	名古屋 51.5	岡山 52.8	山口 51.4	横浜FM 51.8	水戸 51.3
8	湘南 51.5	川崎F 51.5	山形 52.3	柏 51.3	鹿島 51.7	愛媛 51.1
9	G大阪 51.4	C大阪 51.3	松本 52.1	熊本 51.2	C大阪 51.6	松本 51.1
10	千葉 51.3	清水 51.2	讃岐 52.0	長崎 51.1	札幌 51.4	名古屋 51.0
11	広島 51.1	神戸 50.9	岐阜 51.9	甲府 51.1	徳島 51.2	大分 50.9
12	鹿島 51.0	広島 50.8	徳島 51.8	川崎F 51.0	広島 51.0	甲府 50.9
13	C大阪 51.0	山形 50.8	愛媛 51.7	C大阪 51.0	清水 50.9	清水 50.6
14	鳥栖 50.8	鳥栖 50.7	大分 51.7	岡山 50.7	松本 50.7	清水 50.6
15	仙台 50.7	湘南 50.7	甲府 51.6	岡山 50.7	神戸 50.7	新潟 50.6
16	松本 50.7	鹿島 50.6	広島 51.5	G大阪 50.7	大分 50.6	金沢 50.5
17	山口 50.3	仙台 50.5	仙台 51.4	山形 50.6	千葉 50.1	長崎 50.5
18	鳥栖 50.2	熊本 50.4	群馬 51.4	金沢 50.6	讃岐 50.1	札幌 50.4
19	名古屋 50.2	大宮 50.4	新潟 51.3	湘南 50.2	長崎 49.9	徳島 50.3
20	長崎 50.2	FC東京 50.3	清水 51.3	清水 50.1	FC東京 49.9	横浜FM 50.2
21	徳島 50.1	浦和 50.2	名古屋 51.2	町田 50.0	横浜FC 49.8	磐田 50.0
22	山形 49.8	長崎 50.1	湘南 50.8	千葉 50.0	甲府 49.7	柏 50.0
23	横浜FM 49.5	横浜FM 50.0	町田 50.8	鹿島 49.9	仙台 49.7	鳥栖 49.9
24	甲府 49.4	水戸 49.8	水戸 50.4	愛媛 49.9	名古屋 49.7	讃岐 49.8
25	大分 49.3	甲府 49.6	鳥栖 50.3	札幌 49.8	山口 49.6	岡山 49.7
26	岡山 49.2	横浜FC 49.5	神戸 50.2	大宮 49.8	水戸 49.5	神戸 49.7
27	熊本 49.1	徳島 49.5	京都 49.8	磐田 49.7	町田 49.1	福岡 49.6
28	水戸 49.0	群馬 49.5	大宮 49.7	大分 49.6	大宮 49.1	町田 49.6
29	新潟 49.0	松本 49.3	磐田 48.7	徳島 49.5	湘南 49.1	川崎F 49.5
30	群馬 49.0	大分 49.2	C大阪 48.7	広島 49.3	金沢 49.0	湘南 49.5
31	神戸 48.8	新潟 48.7	千葉 48.1	名古屋 49.3	愛媛 48.6	京都 49.3
32	町田 48.6	山口 48.7	横浜FC 47.4	讃岐 48.9	熊本 48.5	仙台 49.3
33	FC東京 48.5	町田 48.7	FC東京 47.1	横浜FC 48.8	浦和 48.5	FC東京 49.0
34	金沢 48.5	岡山 48.6	柏 46.2	岐阜 48.7	山形 48.2	横浜FC 48.9
35	横浜FC 48.3	讃岐 48.4	浦和 45.8	東京V 48.4	京都 48.0	群馬 48.7
36	讃岐 48.3	金沢 48.3	横浜FM 45.4	新潟 48.2	岡山 48.0	東京V 48.3
37	京都 47.8	京都 47.5	G大阪 44.8	FC東京 47.9	群馬 47.4	G大阪 48.3
38	東京V 47.3	愛媛 47.5	川崎F 44.4	群馬 47.4	新潟 47.1	千葉 48.1
39	愛媛 47.2	岐阜 45.6	京都 43.1	京都 47.1	東京V 46.9	大宮 48.1
40	岐阜 46.0	東京V 44.8	東京V 39.5	浦和 46.4	岐阜 45.9	浦和 45.3

※数値は、五段階評定尺度 (あてはまる:5 ~ あてはまらない:1) で求めたスコアの平均値

2017シーズンも2016シーズンと順位に変動なし

観戦の動機やきっかけとしては、観戦者全体では、「好きなクラブの応援」(4.57)および「サッカー観戦が好きだから」(4.56)が主なものとなっており、次いで「地元のクラブだから」(4.23)、「レジャーとして」(4.09)が続いている。この上位4項目を含みすべての項目が昨シーズンと同じ傾向である。各動機におけるクラブごとの偏差値換算スコアは下記の通りである。



	応援しているクラブの地域貢献	スタジアムでのイベント・グルメ企画が楽しそうだから	対戦相手が魅力的	友人・家族に誘われたから	クラブの成績	周囲で話題になっているから	チケットをもらったから
1	松本 54.8	水戸 54.2	G大阪 58.7	大分 52.7	鹿島 57.1	松本 54.6	岐阜 54.5
2	甲府 54.8	岡山 53.5	川崎F 57.1	鹿島 52.7	徳島 57.0	大分 53.2	新潟 53.9
3	札幌 53.5	鳥栖 53.4	C大阪 56.0	磐田 52.5	C大阪 56.7	甲府 53.2	東京V 52.7
4	熊本 53.1	長崎 52.8	町田 55.7	松本 52.1	柏 56.4	磐田 53.0	大分 52.4
5	大分 52.9	松本 52.6	横浜FM 54.6	清水 51.8	長崎 56.1	鳥栖 53.0	C大阪 52.1
6	川崎F 52.9	金沢 52.6	札幌 53.6	長崎 51.7	福岡 55.4	山口 52.6	清水 51.9
7	山口 52.7	熊本 52.2	松本 53.1	C大阪 51.6	磐田 55.3	徳島 52.5	水戸 51.8
8	鳥栖 52.6	山口 52.2	熊本 53.1	鳥栖 51.6	湘南 55.3	G大阪 52.1	甲府 51.7
9	岡山 52.5	湘南 52.2	名古屋 52.8	愛媛 51.5	川崎F 54.7	長崎 51.9	鹿島 51.6
10	水戸 52.3	川崎F 52.1	横浜FC 52.8	横浜FM 51.5	G大阪 54.0	川崎F 51.7	愛媛 51.5
11	湘南 52.2	山形 51.9	長崎 52.7	柏 51.3	横浜FC 53.6	岐阜 51.7	京都 51.4
12	福岡 51.8	町田 51.8	甲府 52.7	岐阜 51.2	山形 53.4	山形 51.4	横浜FC 51.3
13	山形 51.3	大分 51.7	東京V 52.4	甲府 51.1	大分 53.4	柏 50.8	神戸 51.2
14	町田 51.3	愛媛 51.7	神戸 52.0	G大阪 51.0	鳥栖 53.1	鹿島 50.7	横浜FM 51.1
15	仙台 51.2	岐阜 51.6	湘南 52.0	徳島 51.0	東京V 53.0	C大阪 50.4	町田 50.8
16	長崎 51.0	甲府 51.5	岡山 50.9	山形 50.8	岐阜 52.9	清水 50.3	福岡 50.6
17	広島 50.7	鳥栖 51.1	愛媛 50.5	東京V 50.4	札幌 52.3	札幌 50.2	讃岐 50.6
18	岐阜 49.8	福岡 50.4	鳥栖 49.8	水戸 50.3	甲府 51.4	横浜FM 50.0	名古屋 50.6
19	横浜FM 49.8	清水 50.3	大分 49.6	川崎F 50.2	水戸 51.1	東京V 49.7	金沢 50.5
20	清水 49.8	群馬 50.3	FC東京 49.6	神戸 50.1	町田 50.7	岡山 49.7	広島 50.4
21	G大阪 49.7	讃岐 50.1	山口 49.3	横浜FC 50.1	松本 50.2	新潟 49.7	山形 50.0
22	金沢 49.7	横浜FM 50.1	新潟 49.1	山口 49.9	名古屋 49.6	湘南 49.4	熊本 49.8
23	愛媛 49.7	G大阪 50.1	讃岐 49.0	湘南 49.7	横浜FM 49.2	水戸 49.4	磐田 49.8
24	新潟 49.4	名古屋 50.0	清水 48.8	熊本 49.7	愛媛 48.6	金沢 49.4	長崎 49.7
25	徳島 49.1	徳島 49.3	水戸 48.7	讃岐 49.6	神戸 48.5	福岡 49.3	松本 49.5
26	神戸 49.0	千葉 49.1	徳島 48.0	新潟 49.5	京都 48.4	町田 49.2	柏 49.3
27	鹿島 49.0	広島 48.9	金沢 47.9	名古屋 49.4	山口 48.3	神戸 49.0	鳥栖 49.2
28	磐田 48.9	横浜FC 48.0	山形 47.7	町田 49.4	仙台 47.0	愛媛 49.0	川崎F 49.2
29	大宮 48.9	神戸 48.0	岐阜 47.7	金沢 49.3	浦和 46.7	讃岐 48.9	湘南 49.1
30	C大阪 48.4	札幌 47.9	京都 47.6	仙台 49.1	千葉 46.5	名古屋 48.9	FC東京 49.0
31	讃岐 48.4	仙台 47.8	広島 47.4	札幌 49.0	清水 45.7	横浜FC 48.8	仙台 48.6
32	柏 47.8	FC東京 47.6	仙台 47.3	福岡 48.9	岡山 45.1	仙台 48.8	G大阪 48.4
33	横浜FC 47.6	柏 47.5	磐田 47.0	FC東京 48.4	金沢 45.0	熊本 48.4	山口 48.1
34	千葉 47.5	京都 47.5	千葉 47.0	岡山 48.2	FC東京 44.7	広島 48.1	徳島 48.1
35	名古屋 47.1	東京V 47.5	鹿島 46.7	広島 48.2	熊本 43.5	京都 47.5	群馬 47.7
36	京都 46.4	C大阪 47.5	柏 46.6	京都 48.1	讃岐 43.4	FC東京 47.2	千葉 47.7
37	FC東京 45.8	新潟 47.4	福岡 45.5	千葉 47.1	広島 42.3	浦和 47.0	大宮 47.6
38	東京V 45.8	大宮 47.4	群馬 45.4	浦和 47.0	新潟 42.1	大宮 46.9	札幌 46.9
39	群馬 45.5	磐田 47.2	大宮 44.8	大宮 46.9	大宮 41.3	千葉 46.2	浦和 46.2
40	浦和 44.8	浦和 44.2	浦和 42.7	群馬 46.6	群馬 40.5	群馬 44.9	岡山 46.2

※数値は、五段階評定尺度 (あてはまる:5 ~ あてはまらない:1) で求めたスコアの平均値



観戦の動機やきっかけ(2017/2016比較・クラブ別)

	好きなクラブの応援に		好きな選手の応援に		サッカー観戦が好きだから		クラブが地域貢献しているから	
	2017	2016	2017	2016	2017	2016	2017	2016
1	浦和	52.4	浦和	52.4	川崎F	53.2	広島	53.6
2	札幌	52.1	札幌	52.4	磐田	53.0	横浜FM	53.5
3	川崎F	51.9	鹿島	52.2	G大阪	52.5	川崎F	53.2
4	大宮	51.8	磐田	52.0	福岡	52.2	G大阪	52.7
5	福岡	51.7	川崎F	51.9	柏	52.0	鹿島	52.7
6	柏	51.5	清水	51.8	鳥栖	51.9	磐田	52.3
7	磐田	51.5	C大阪	51.6	横浜FM	51.8	FC東京	51.9
8	湘南	51.5	大宮	51.6	鹿島	51.7	C大阪	51.9
9	G大阪	51.4	広島	51.6	C大阪	51.6	福岡	51.5
10	千葉	51.3	G大阪	51.3	札幌	51.4	横浜FC	51.3
11	広島	51.1	FC東京	51.3	徳島	51.2	鳥栖	51.1
12	鹿島	51.0	長崎	50.7	広島	51.0	松本	50.8
13	C大阪	51.0	仙台	50.5	清水	50.9	札幌	50.6
14	清水	50.8	横浜FC	50.4	松本	50.7	大宮	50.6
15	仙台	50.7	熊本	50.4	神戸	50.7	山口	50.5
16	松本	50.7	柏	50.4	大分	50.6	清水	50.3
17	山口	50.3	松本	50.4	千葉	50.1	神戸	50.3
18	鳥栖	50.2	群馬	50.1	讃岐	50.1	群馬	50.0
19	名古屋	50.2	岡山	50.1	長崎	49.9	長崎	49.8
20	長崎	50.2	岡田	50.0	FC東京	49.9	FC東京	49.7
21	徳島	50.1	湘南	50.0	横浜FC	49.8	讃岐	49.6
22	山形	49.8	横浜FM	49.9	甲府	49.7	山形	49.5
23	横浜FM	49.5	甲府	49.8	仙台	49.7	愛媛	49.5
24	甲府	49.4	山形	49.8	名古屋	49.7	岡山	49.5
25	大分	49.3	千葉	49.7	山口	49.6	仙台	49.5
26	岡山	49.2	福岡	49.4	水戸	49.5	新潟	49.4
27	熊本	49.1	山口	49.4	町田	49.1	浦和	49.1
28	水戸	49.0	水戸	49.3	大宮	49.1	水戸	49.0
29	新潟	49.0	鳥栖	49.1	湘南	49.1	千葉	48.7
30	群馬	49.0	神戸	49.1	金沢	49.0	金沢	48.7
31	神戸	48.8	新潟	48.9	愛媛	48.6	甲府	48.7
32	町田	48.6	東京V	48.9	熊本	48.5	湘南	48.6
33	FC東京	48.5	金沢	48.9	浦和	48.5	東京V	48.5
34	金沢	48.5	名古屋	48.5	山形	48.2	町田	48.5
35	横浜FC	48.3	讃岐	48.5	京都	48.0	熊本	48.4
36	讃岐	48.3	愛媛	48.2	岡山	48.0	北九州	48.0
37	京都	47.8	京都	47.8	群馬	47.4	徳島	47.1
38	東京V	47.3	北九州	46.9	新潟	47.1	岐阜	46.7
39	愛媛	47.2	徳島	46.4	東京V	46.9	京都	46.6
40	岐阜	46.0	岐阜	46.2	岐阜	45.9	名古屋	46.5

	周囲で話題になっているから		レジャーとして		友人・家族に誘われたから		チケットをもらったから	
	2017	2016	2017	2016	2017	2016	2017	2016
1	松本	54.6	山口	57.9	福岡	52.3	山口	52.6
2	大分	53.2	松本	57.5	鳥栖	51.7	松本	52.0
3	甲府	53.2	鳥栖	54.6	横浜FM	51.5	広島	52.0
4	磐田	53.0	山形	52.7	松本	51.5	川崎F	52.0
5	鳥栖	53.0	鹿島	52.6	水戸	51.5	鹿島	51.7
6	山口	52.6	甲府	52.2	仙台	51.4	岡山	51.7
7	徳島	52.5	磐田	52.1	山口	51.4	水戸	51.4
8	G大阪	52.1	岡山	51.5	柏	51.3	鳥栖	51.1
9	長崎	51.9	横浜FM	51.1	熊本	51.2	仙台	50.9
10	川崎F	51.7	町田	51.1	長崎	51.1	湘南	50.9
11	岐阜	51.7	新潟	51.1	甲府	51.1	福岡	50.8
12	山形	51.4	清水	50.8	川崎F	51.0	熊本	50.7
13	柏	50.8	柏	50.5	C大阪	51.0	甲府	50.7
14	鹿島	50.7	仙台	50.4	岡山	50.7	G大阪	50.6
15	C大阪	50.4	愛媛	50.4	神戸	50.7	新潟	50.6
16	清水	50.3	讃岐	50.4	G大阪	50.7	FC東京	50.5
17	札幌	50.2	川崎F	50.4	山形	50.6	讃岐	50.5
18	横浜FM	50.0	広島	50.3	金沢	50.6	愛媛	50.5
19	東京V	49.7	長崎	50.2	湘南	50.2	磐田	50.4
20	岡山	49.7	札幌	50.2	清水	50.1	横浜FM	50.4
21	新潟	49.7	岐阜	49.8	町田	50.0	大宮	50.4
22	湘南	49.4	水戸	49.6	千葉	50.0	札幌	50.3
23	水戸	49.4	湘南	49.6	鹿島	49.9	長崎	50.3
24	金沢	49.4	大宮	49.3	愛媛	49.9	町田	50.2
25	福岡	49.3	熊本	49.0	札幌	49.8	山形	50.0
26	町田	49.2	福岡	49.0	大宮	49.8	金沢	50.0
27	神戸	49.0	金沢	48.8	磐田	49.7	神戸	49.8
28	愛媛	49.0	G大阪	48.8	大分	49.6	柏	49.8
29	讃岐	48.9	FC東京	48.7	徳島	49.5	千葉	49.6
30	名古屋	48.9	徳島	48.3	広島	49.3	横浜FC	49.6
31	横浜FC	48.8	京都	48.3	名古屋	49.3	群馬	49.0
32	仙台	48.8	名古屋	47.8	讃岐	48.9	清水	48.9
33	熊本	48.4	浦和	47.7	横浜FC	48.8	C大阪	48.9
34	広島	48.1	C大阪	47.5	岐阜	48.7	岐阜	48.8
35	京都	47.5	神戸	47.4	東京V	48.4	北九州	47.9
36	FC東京	47.2	千葉	47.3	新潟	48.2	京都	47.7
37	浦和	47.0	横浜FC	47.0	FC東京	47.9	東京V	47.4
38	大宮	46.9	北九州	46.9	群馬	47.4	徳島	46.7
39	千葉	46.2	群馬	46.8	京都	47.1	名古屋	46.2
40	群馬	44.9	東京V	44.3	浦和	46.4	浦和	46.1

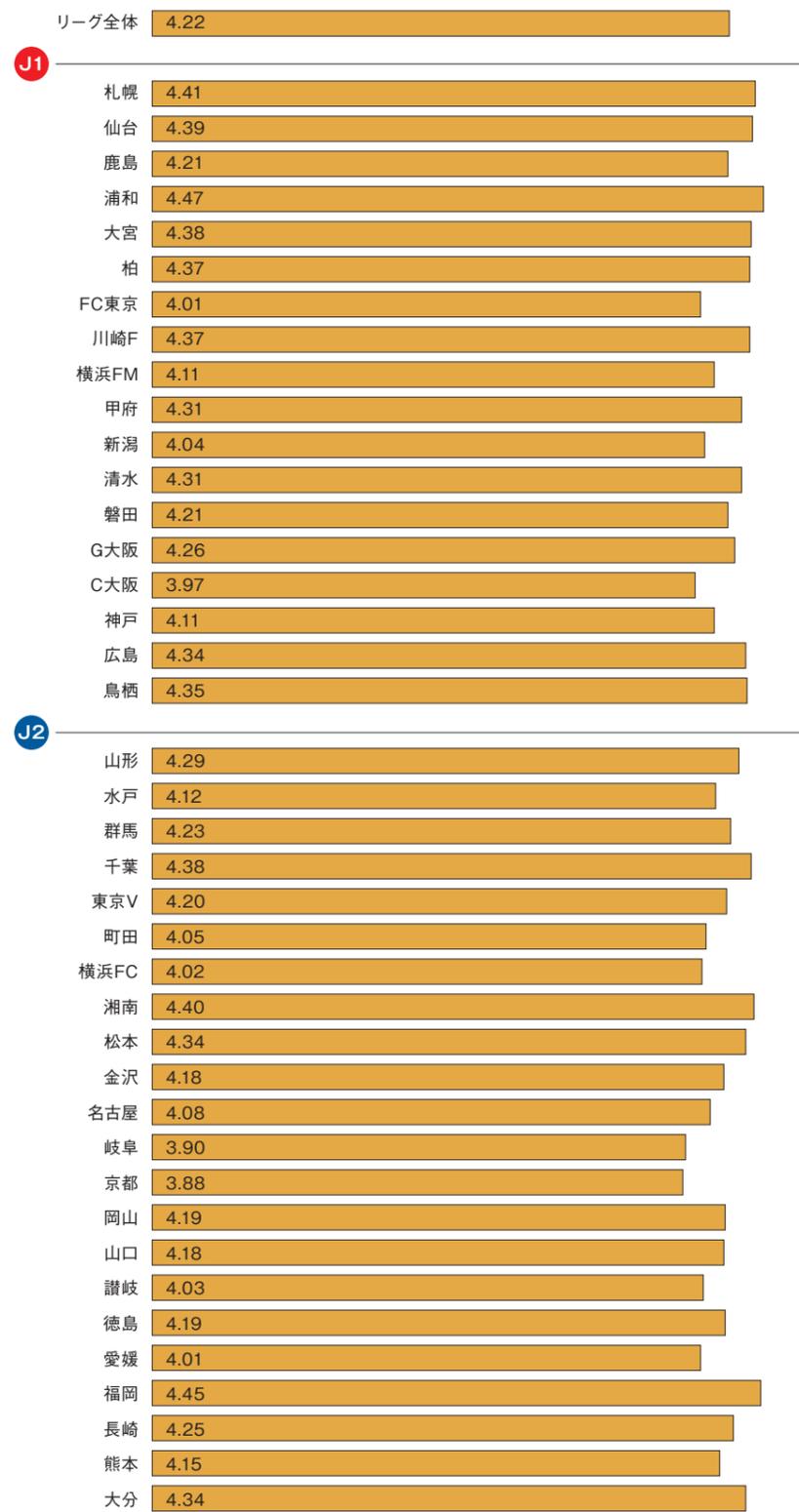
※数値は、五段階評定尺度(あてはまる:5 ~ あてはまらない:1)で求めたスコアの平均値

## 浦和(4.47)、札幌(4.41)、福岡(4.45)、湘南(4.40)に高い傾向

観戦者のチームアイデンティフィケーションは、とても強く、平均で4.22(5点満点)となっている。J1では、浦和(4.47)、札幌(4.41)に高い傾向、C大阪(3.97)に低い傾向がみられる。J2では、福岡(4.45)、湘南(4.40)に高い傾向、京都(3.88)、岐阜(3.90)に低い傾向がみられる。

### チームアイデンティフィケーション

集計対象：ホームクラブ応援者 (n=14,241)



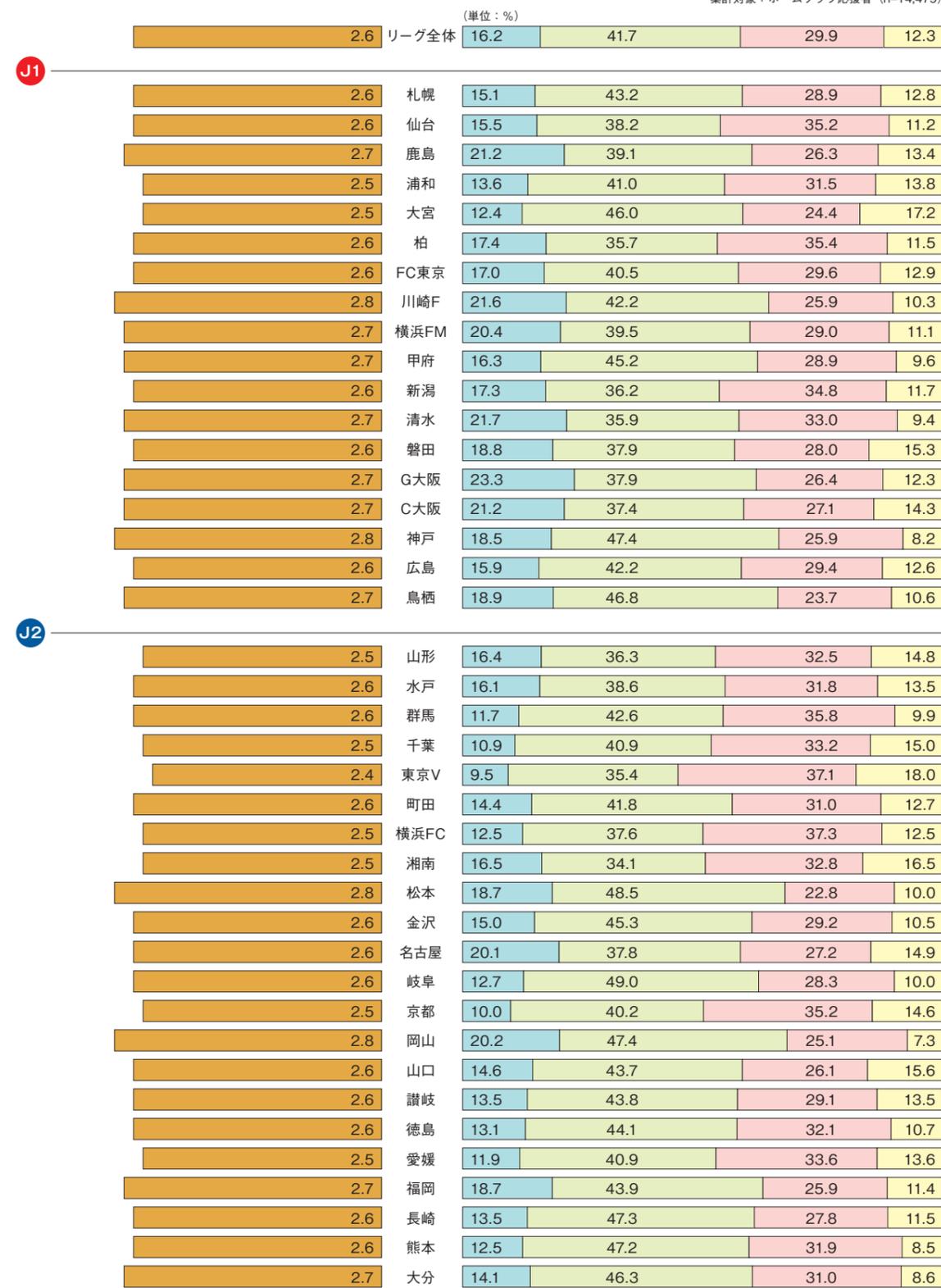
## 57.9%(よく誘う+時々誘う)の人がJリーグ観戦に誘っている

周囲の人をJリーグ観戦に誘うか、という「勧誘行動」については、「よく誘う」(16.2%)と「時々誘う」(41.7%)を合わせ、57.9%の観戦者が勧誘行動をしている。特に川崎F、神戸、松本、岡山(いずれも2.8)の観戦者に、勧誘行動が活発である傾向がみられる。

### スタジアム観戦についての勧誘行動

■ よく誘う ■ 時々誘う ■ あまり誘わない ■ まったく誘わない

集計対象：ホームクラブ応援者 (n=14,479)



\*ポイントは、四段階順序尺度(よく誘う:4~まったく誘わない:1)で求めた回答の平均値である。

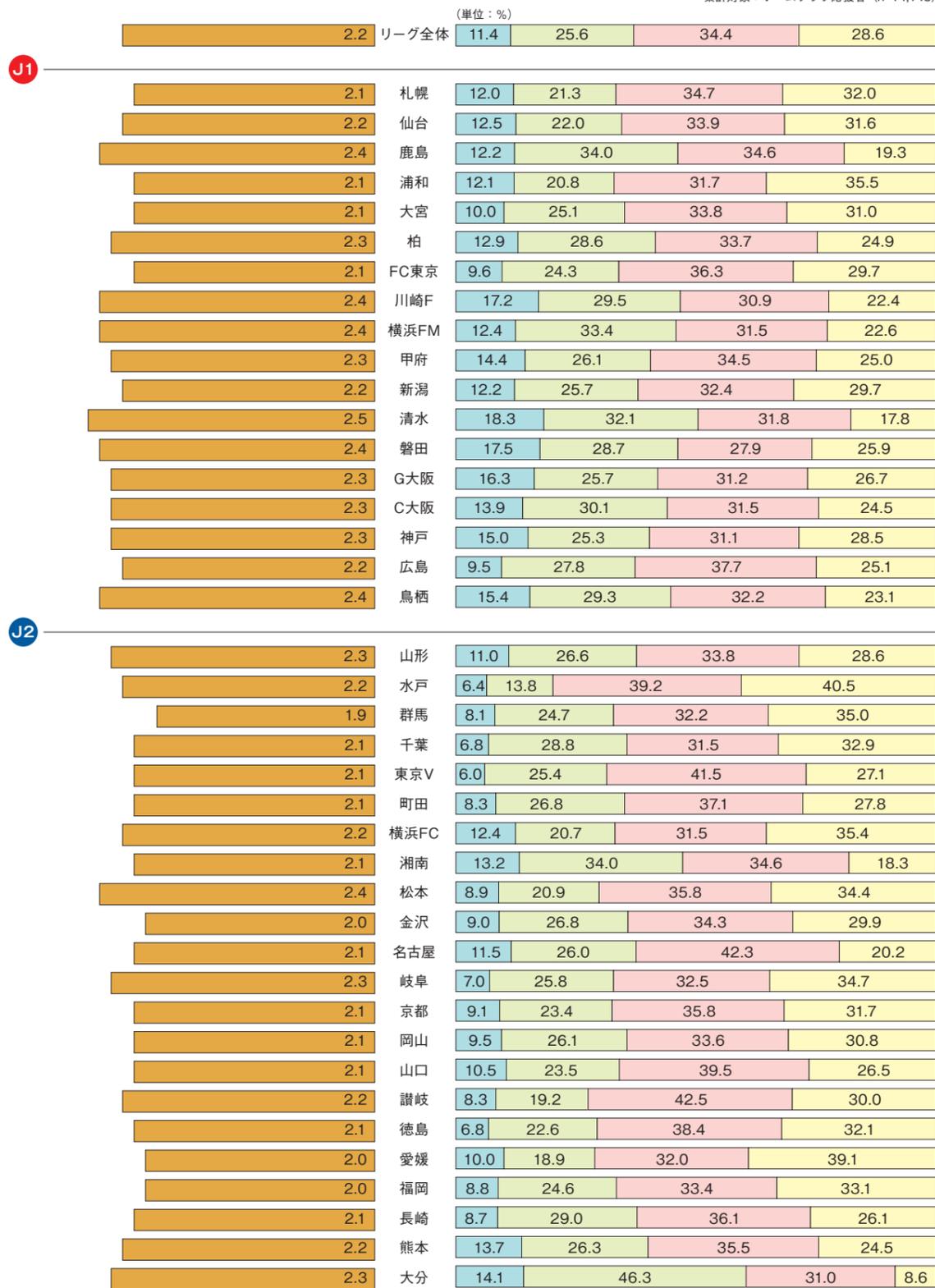
## 37.0% (よく誘われる+時々誘われる)の人がJリーグ観戦に誘われている

周囲の人からJリーグ観戦に誘われますか、という「被勧誘行動」については、「よく誘われる」(11.4%)と「時々誘われる」(25.6%)を合わせ、37.0%の観戦者が周囲の人から勧誘されている。

### スタジアム観戦についての被勧誘行動

よく誘われる 時々誘われる あまり誘われない まったく誘われない

集計対象：ホームクラブ応援者 (n=14,143)

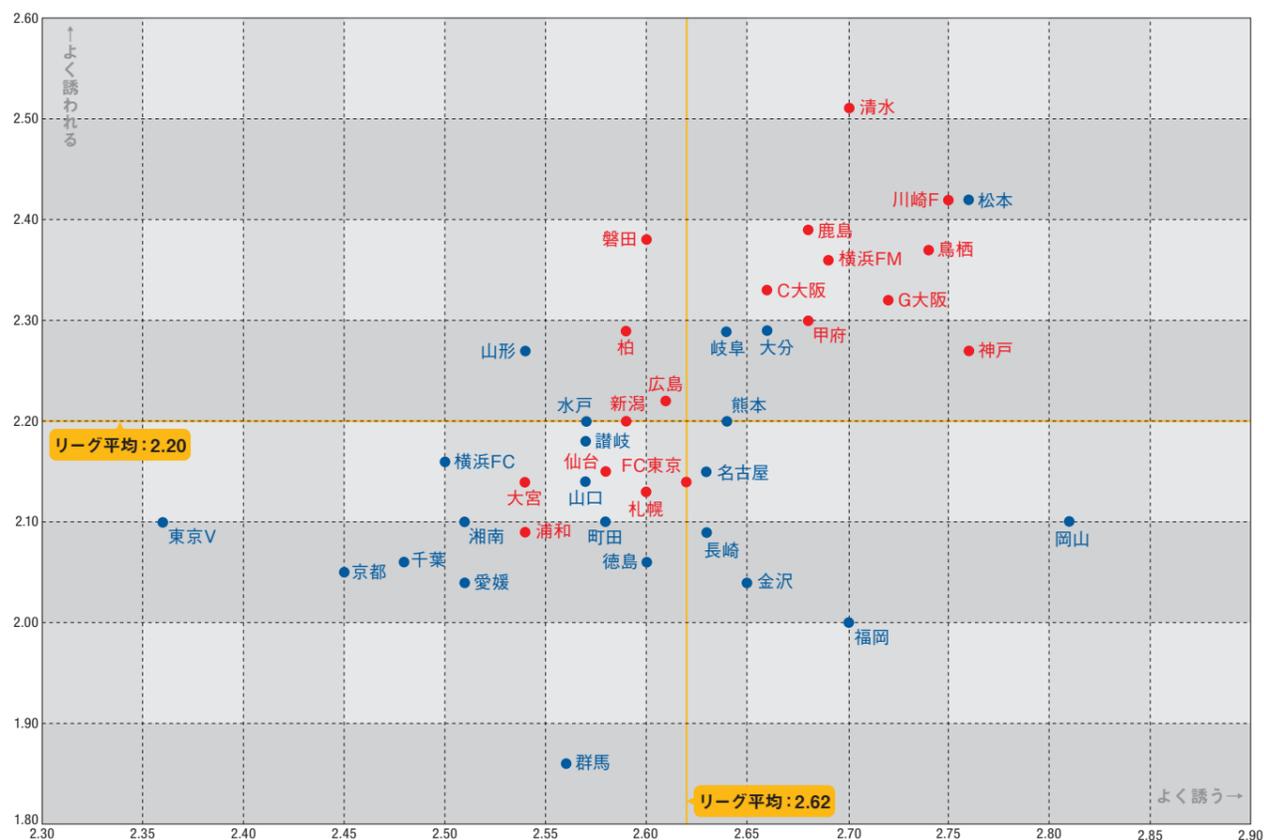


※ポイントは、四段階順序尺度（よく誘われる：4～まったく誘われない：1）で求めた回答の平均値である。

## よく誘い合うのは清水、川崎、松本、鳥栖

勧誘行動(P33)と被勧誘行動(P34)の関係から各クラブをプロットした結果、清水、川崎、松本、鳥栖は観戦者の間で、よく誘い合っていることがみとれる。

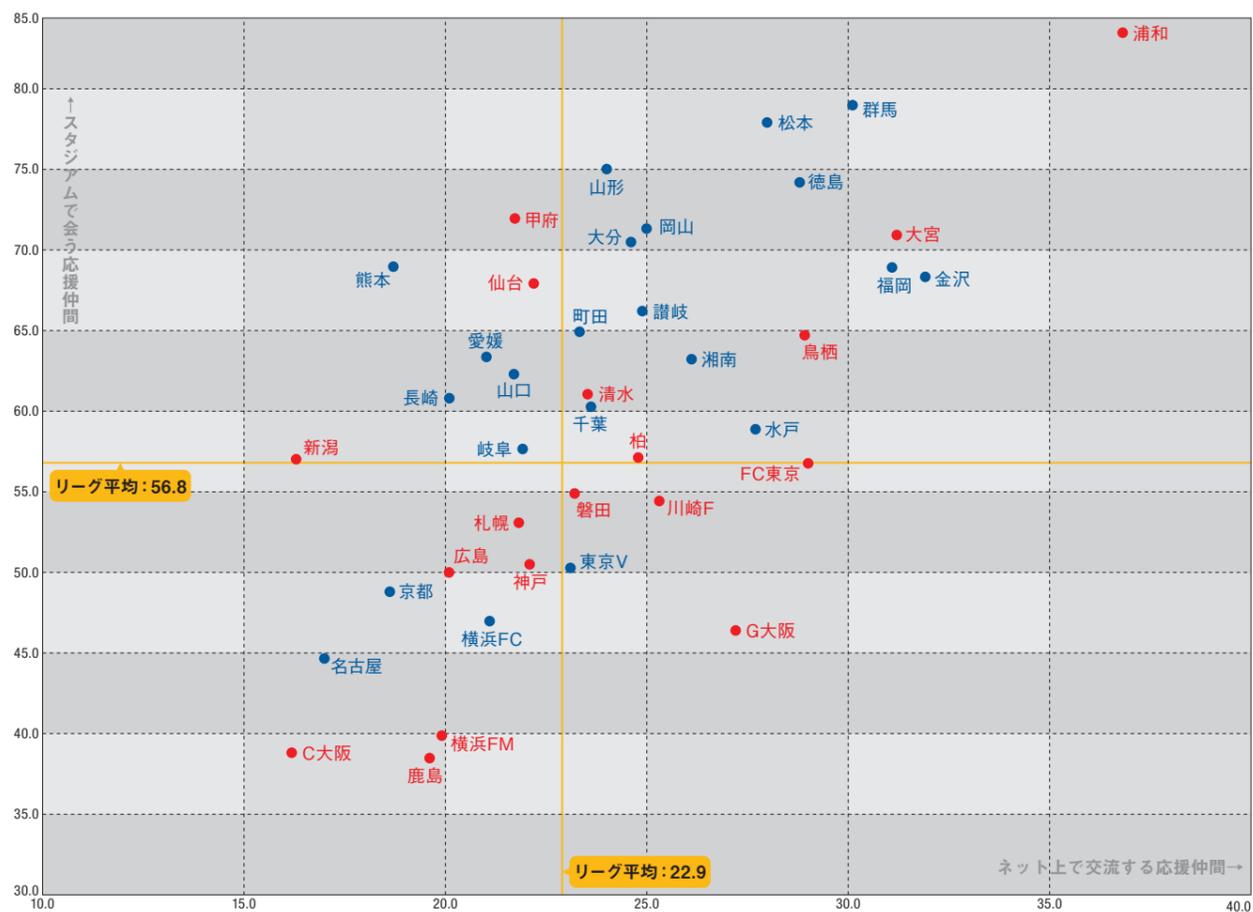
### スタジアム観戦についての勧誘行動・被勧誘行動プロット



## 56.8%に「スタジアムでの観戦の仲間がいる」 22.9%に「ネット上での観戦の仲間がいる」

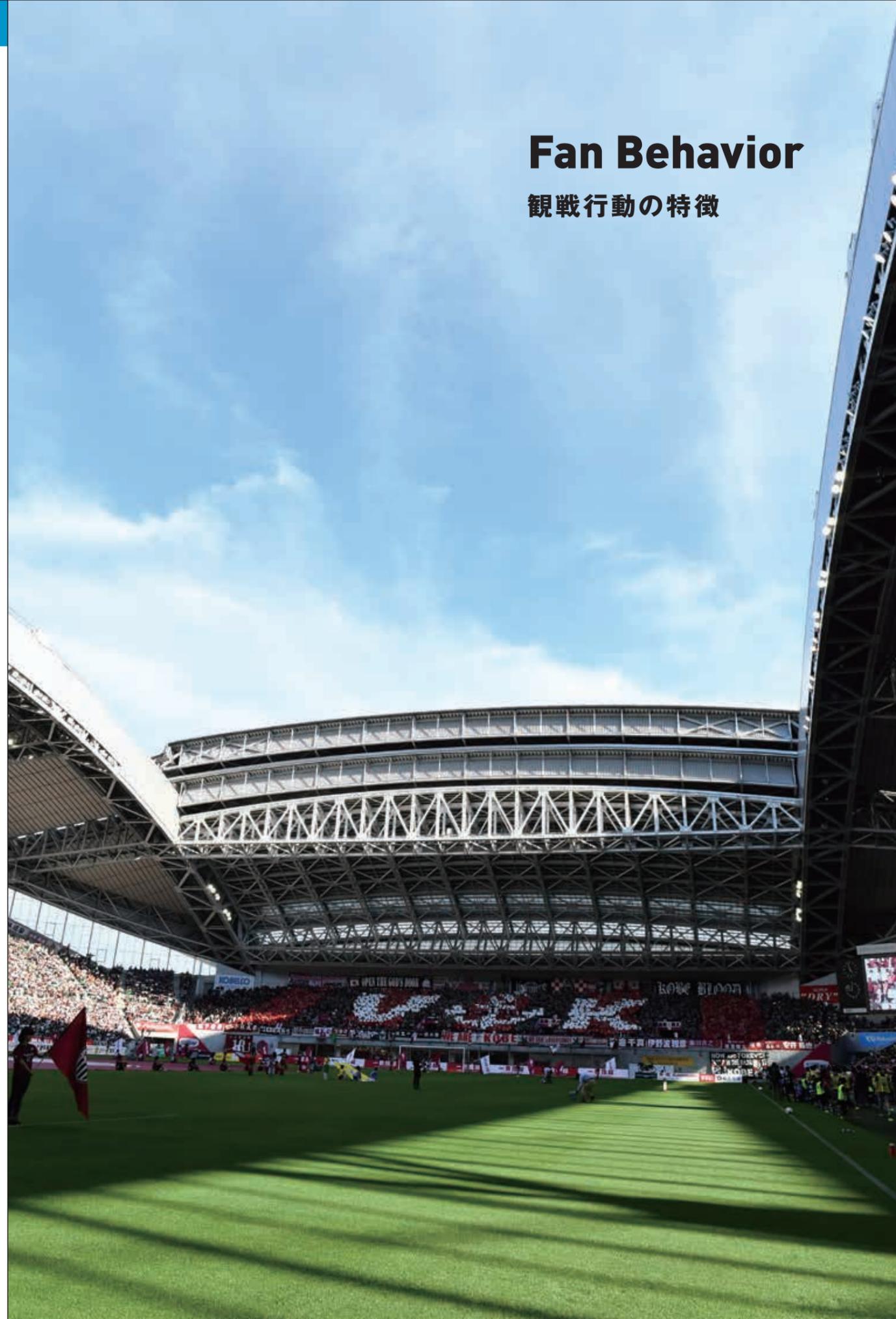
「スタジアムでの観戦の仲間がいる」とする割合は6割(56.8%)である。浦和(84.0%)、群馬(79.0%)、松本(77.9%)でその割合が高い傾向、鹿島(38.5%)、C大阪(38.8%)、横浜FM(39.9%)で低い傾向がみられる。ソーシャルメディアなどの「ネット上での観戦の仲間がいる」とする割合は2割(22.9%)である。浦和(36.8%)、金沢(31.9%)でその割合が高い傾向がみられる。

### ファンコミュニティ



# Fan Behavior

## 観戦行動の特徴



# J1・J2観戦頻度

※各調査年における前シーズンの観戦実績についての設問

## J1、J2ともに減少。

J1、J2の観戦頻度は2015年と比較すると減少している。J2の試合数の変化は以下のとおり。

J2 試合数	2016:42 試合	2015:42 試合	2014:42 試合	2013:42 試合
	2012:42 試合	2011:38 試合	2010:36 試合	2009:51 試合



集計対象：J1 全回答者 [2016 n=7,560 2015 n=7,464 2014 n=7,509 2013 n=7,207 2012 n=7,329 2011 n=6,965 2010 n=7,768 2009 n=7,785]  
集計対象：J2 全回答者 [2016 n=8,877 2015 n=8,834 2014 n=8,240 2013 n=8,480 2012 n=8,407 2011 n=7,417 2010 n=7,417 2009 n=6,981]

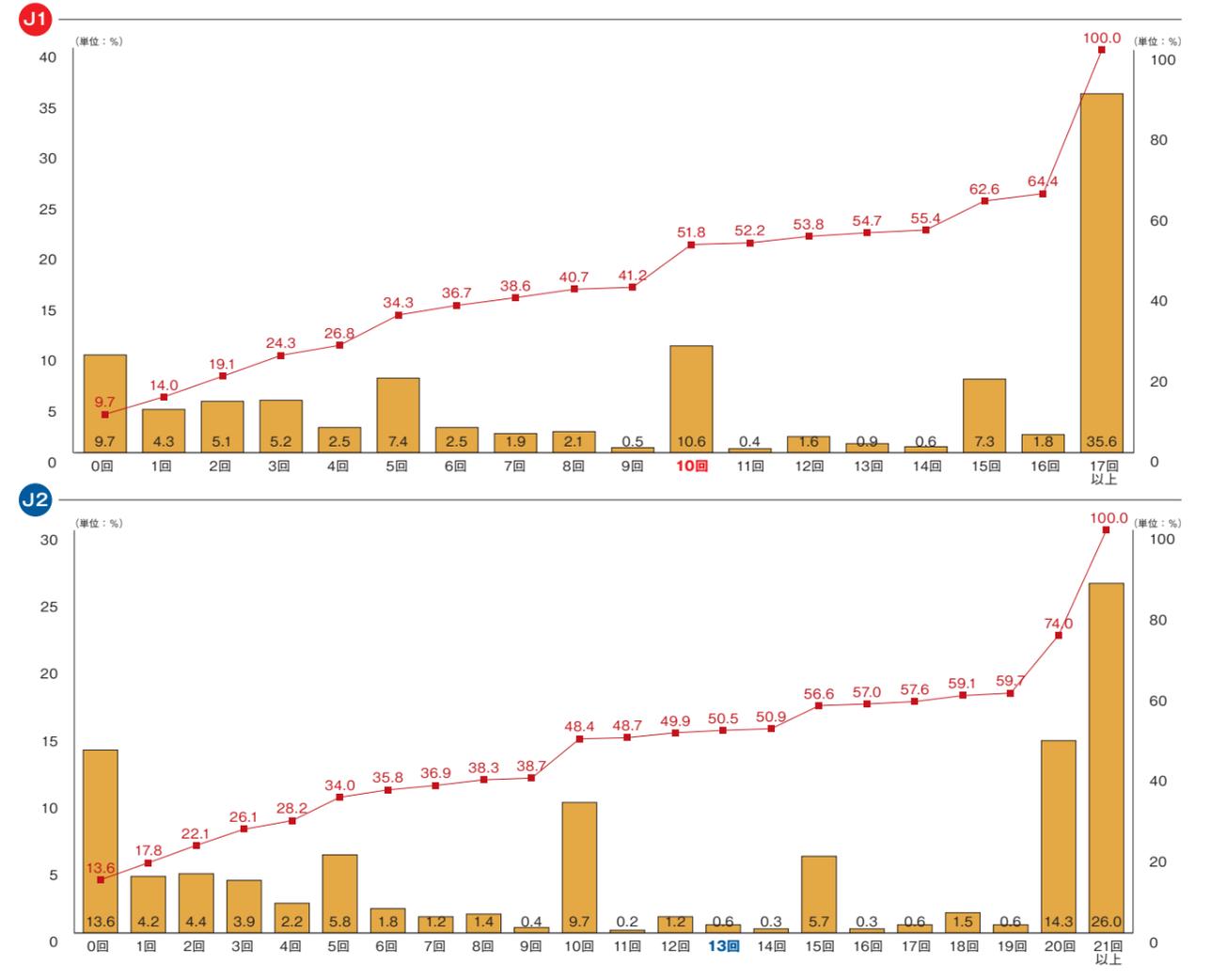
## J1は「10回」、J2は「13回」がスタジアム観戦頻度の中央値

J1の観戦者の35.6%が「シーズンあたり17回以上」、J2の観戦者の26.0%が「シーズンあたり21回以上」スタジアムに会場し観戦すると回答している。J1は「10回」、J2は「13回」が年間観戦頻度の中央値となっているが、昨シーズンより2~3回低くなっている。

観戦頻度 (2016 シーズン実績)

※2016 シーズン観戦実績についての質問

集計対象：J1 全回答者 (n=7,560) 集計対象：J2 全回答者 (n=8,877)

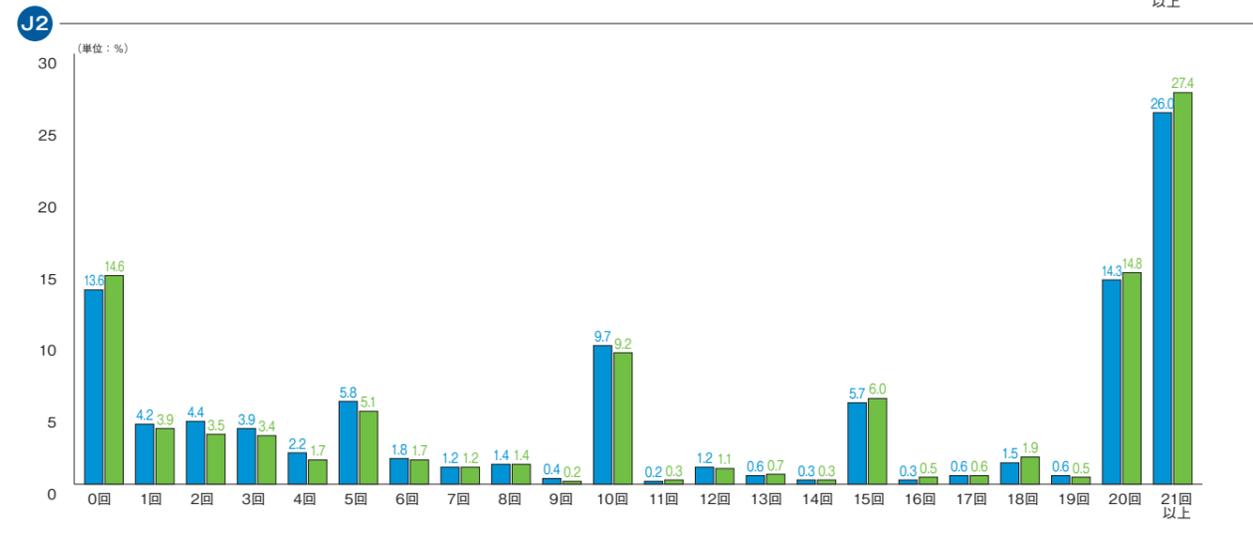
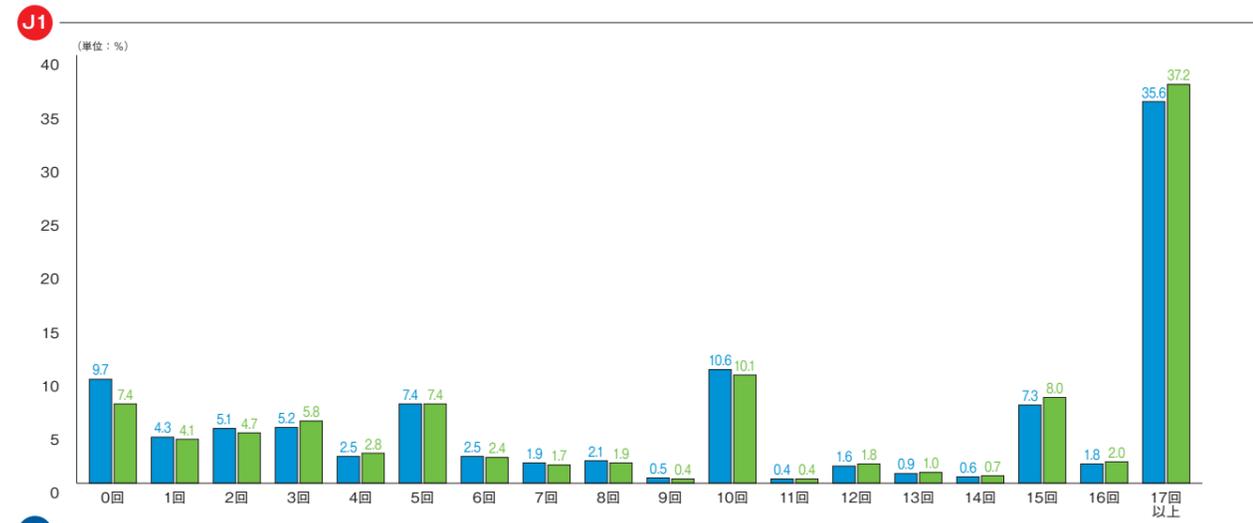


観戦頻度 (2016/2015 比較)

※2017シーズン調査対象による2016シーズンの観戦実績と、2016シーズン調査対象による2015シーズンの観戦実績を比較

■ 2016実績 ■ 2015実績

集計対象：J1 全回答者 (2016 n=7,560/2015 n=7,464) 集計対象：J2 全回答者 (2016 n=8,877/2015 n=8,834)



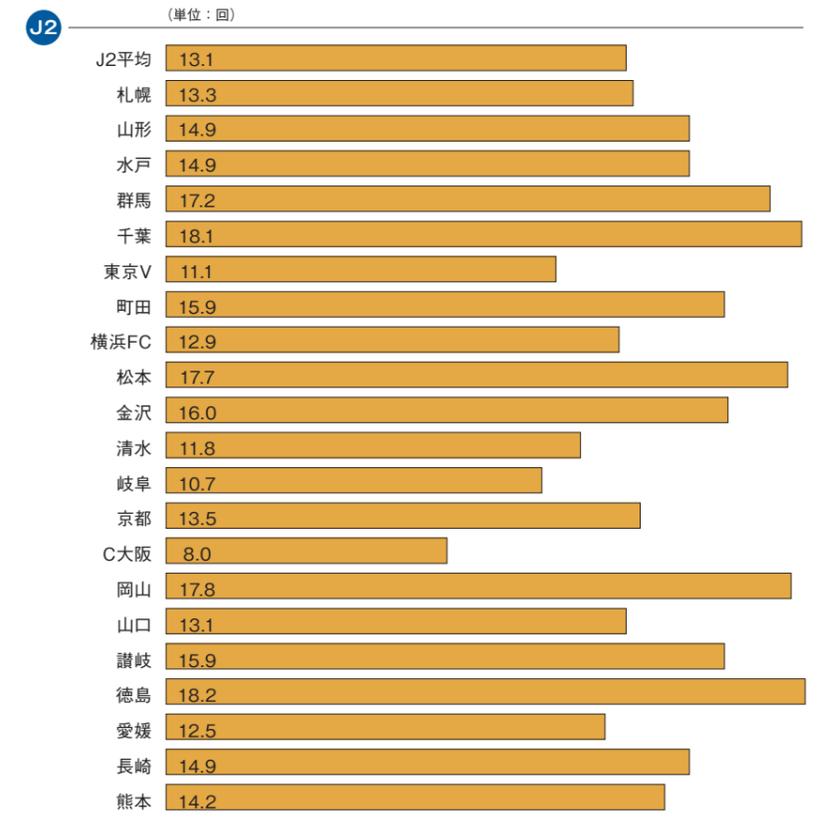
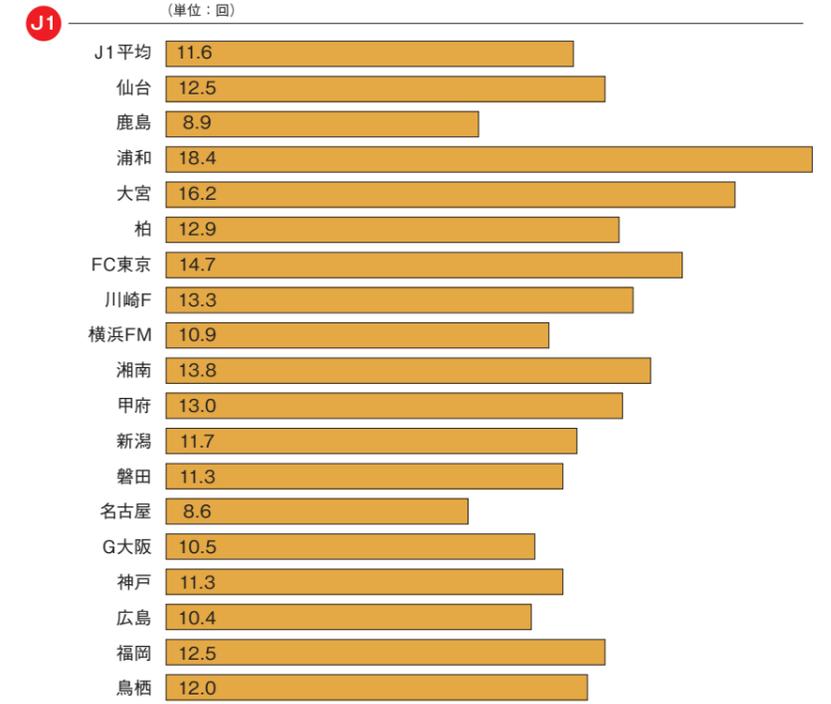
J1平均は「11.6回/年」、J2平均は「13.1回/年」

年間の平均観戦頻度については、J1の観戦者が11.6回、J2の観戦者が13.1回となっている。J1では浦和(18.4回)、大宮(16.2回)などの、J2では徳島(18.2回)、千葉(18.1回)などの平均観戦頻度が高い傾向がみられる。

平均観戦頻度 (2016 シーズン実績・クラブ別)

※2016シーズン観戦実績についての質問

集計対象：J1 ホームクラブ応援者 (n=6,784) 集計対象：J1 全回答者 (n=7,560)  
集計対象：J2 ホームクラブ応援者 (n=7,787) 集計対象：J2 全回答者 (n=8,877)





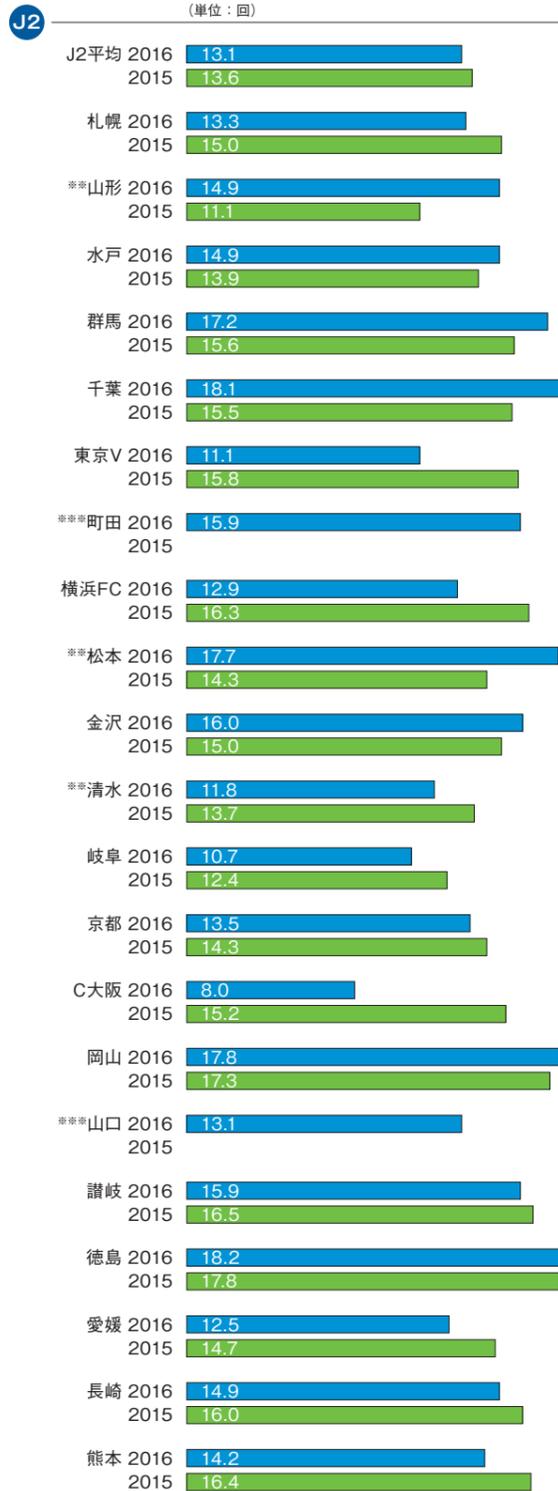
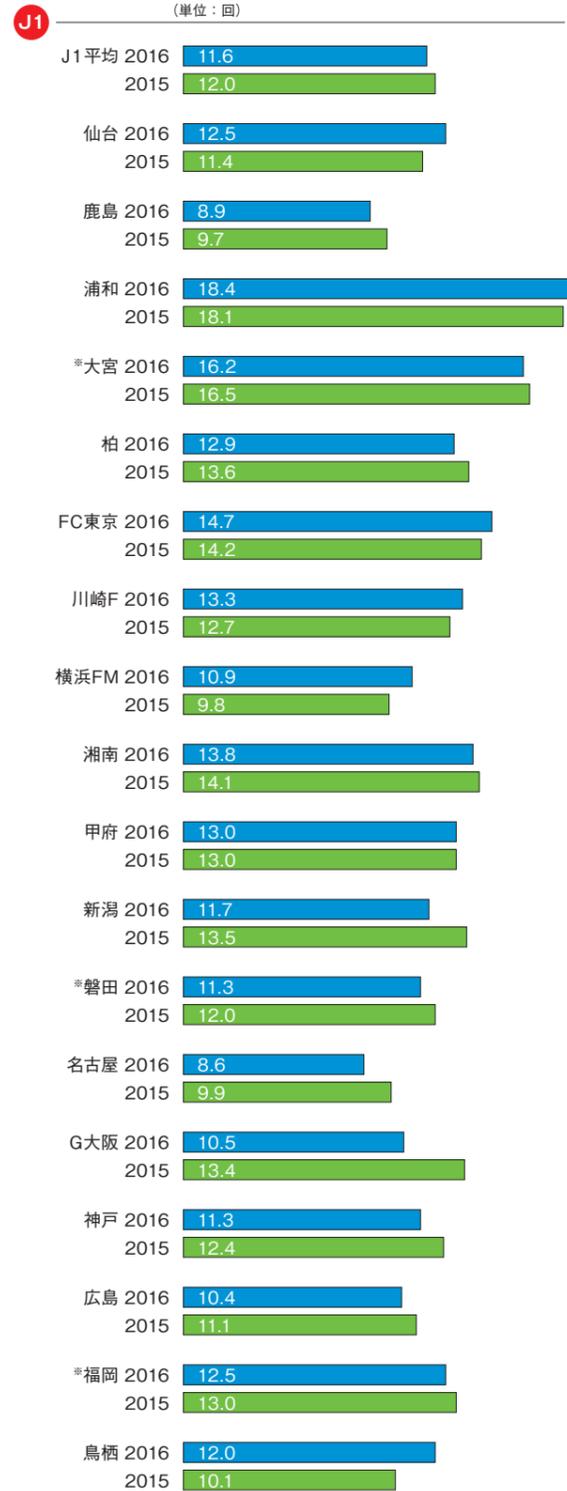
平均観戦頻度 (2016/2015 比較)

※2017シーズン調査対象による2016シーズンの観戦実績と、2016シーズン調査対象による2015シーズンの観戦実績を比較

■ 2016実績 ■ 2015実績

集計対象：J1 全回答者 (2016 n=7,560/2015 n=7,464)  
集計対象：J1 ホームクラブ応援者 (2016 n=6,784/2015 n=6,850)

集計対象：J2 全回答者 (2016 n=8,877/2015 n=8,834)  
集計対象：J2 ホームクラブ応援者 (2016 n=7,787/2015 n=7,255)



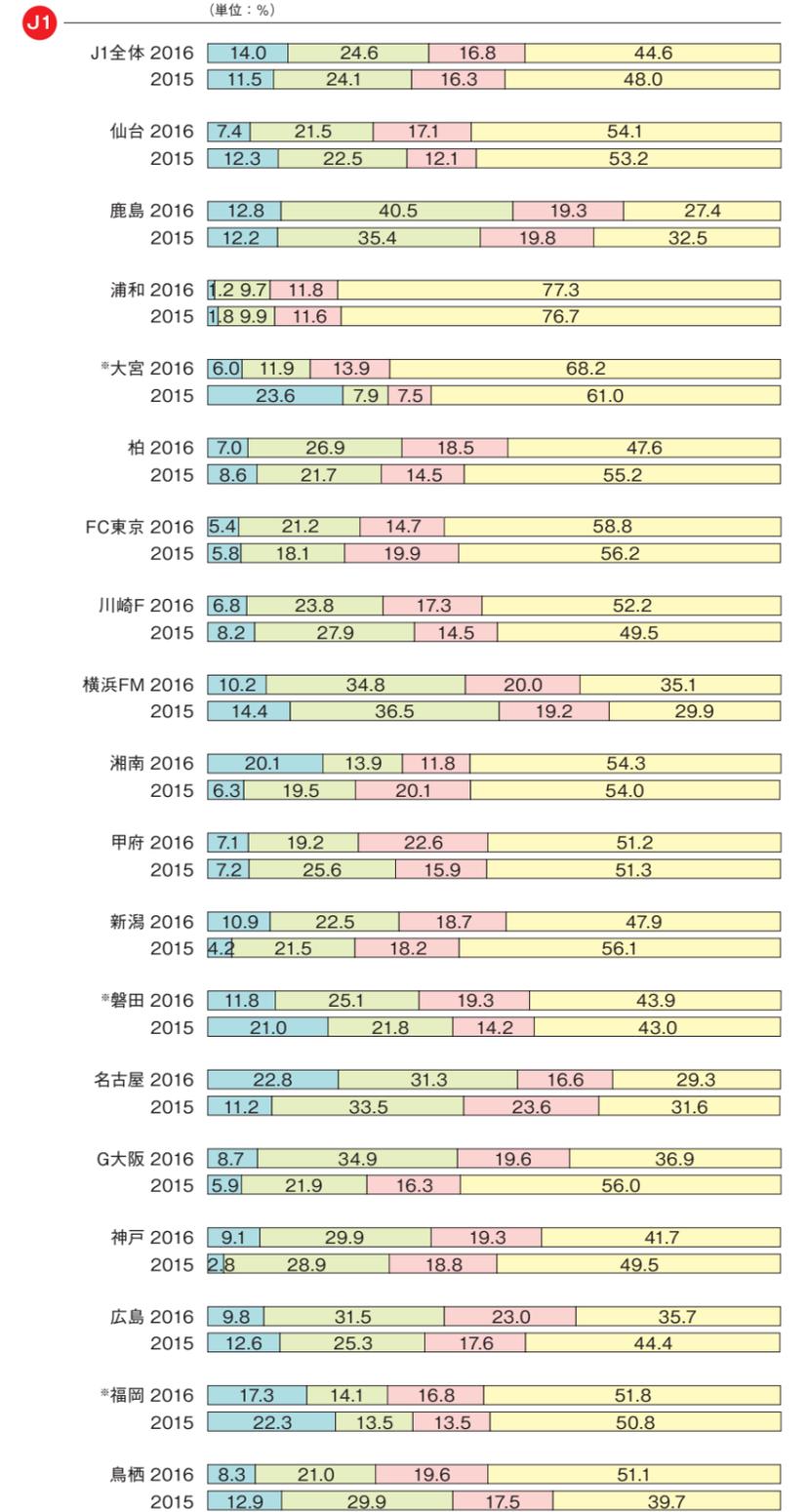
\*大宮、磐田、福岡は2015シーズンJ2に所属 \*\*山形、松本、清水は2015シーズンJ1に所属 \*\*\*町田、山口は2015シーズンJ3に所属

J1観戦頻度分析 (2016/2015 比較)

※2017シーズン調査対象による2016シーズンの観戦実績と、2016シーズン調査対象による2015シーズンの観戦実績を比較

■ 0-1回 ■ 2-7回 ■ 8-14回 ■ 15回以上

集計対象：J1 全回答者 (2016 n=7,560/2015 n=7,464)  
集計対象：J1 ホームクラブ応援者 (2016 n=6,784/2015 n=6,850)



\*大宮、磐田、福岡は2015シーズンJ2に所属



### J2観戦頻度分析 (2016/2015 比較)

※2017シーズン調査対象による2016シーズンの観戦実績と、2016シーズン調査対象による2015シーズンの観戦実績を比較  
 集計対象：J2 全回答者 (2016 n=8,877/2015 n=8,834)  
 集計対象：J2 ホームクラブ応援者 (2016 n=7,787/2015 n=6,874)

J2	チーム	観戦回数 (単位: %)			
		0-1回	2-7回	8-14回	15回以上
J2全体	2016	17.8	19.2	13.9	49.1
	2015	16.7	20.2	14.0	49.1
札幌	2016	11.0	20.5	17.9	50.5
	2015	6.3	16.9	14.8	61.9
**山形	2016	6.2	20.3	16.9	56.7
	2015	14.4	23.4	18.2	44.0
水戸	2016	9.3	15.5	22.0	53.3
	2015	9.2	20.7	19.0	51.2
群馬	2016	4.6	10.1	14.7	70.7
	2015	12.1	13.1	13.1	61.8
千葉	2016	5.8	11.0	13.2	70.0
	2015	7.5	15.9	16.9	59.7
東京V	2016	27.7	14.8	13.3	44.3
	2015	11.6	14.2	12.8	61.4
***町田	2016	8.4	21.7	10.8	59.0
	2015	11.6	17.0	13.9	57.5
横浜FC	2016	18.3	21.2	13.7	46.7
	2015	10.0	13.7	14.3	62.0
**松本	2016	4.2	12.0	15.2	68.6
	2015	11.6	17.0	13.9	57.5
金沢	2016	9.9	14.3	17.8	58.0
	2015	6.0	17.1	18.7	58.2
**清水	2016	24.3	18.5	16.1	41.0
	2015	7.7	19.6	15.4	57.3
岐阜	2016	13.9	32.7	10.0	43.3
	2015	11.1	25.1	14.4	49.4
京都	2016	11.8	18.9	18.3	51.0
	2015	14.7	19.2	13.6	52.5
C大阪	2016	38.9	21.4	13.7	26.0
	2015	7.8	17.3	17.1	57.7
岡山	2016	4.8	13.0	12.2	70.0
	2015	4.9	14.8	12.2	68.0
***山口	2016	10.1	26.6	16.2	47.1
	2015	10.1	15.1	13.4	65.4
讃岐	2016	7.4	19.8	15.5	57.3
	2015	6.0	15.1	13.4	65.4
徳島	2016	6.6	11.2	11.2	71.1
	2015	10.1	15.7	10.1	74.1
愛媛	2016	11.4	28.4	16.1	44.2
	2015	7.6	15.5	22.5	54.4
長崎	2016	7.8	17.2	15.0	60.1
	2015	4.5	20.7	11.1	63.7
熊本	2016	5.9	22.1	15.0	56.9
	2015	6.4	13.6	15.4	64.6

\*\*\*山形、松本、清水は 2015シーズンJ1に所属 \*\*\*町田、山口は 2015シーズンJ3に所属



### シーズンチケット所有者は観戦頻度が高い

シーズンチケット所有者とそれ以外の観戦者として比較してみると、J1においてはシーズンチケット保持者の方が「17回以上」とする割合(62.9%vs9.8%)が、またJ2においても同様に「21回以上」とする割合(49.7%vs7.1%)が顕著に高くなっている。

### 観戦頻度 (チケット種別)

※2016シーズン観戦実績についての質問



## シーズンチケット所有者の平均観戦回数は、J1が「17.1回」、J2が「20.2回」

シーズンチケット所有者とそれ以外の観戦者とで比較すると、シーズンチケット所有者の平均観戦回数が高くなっている (J1:17.1回 vs 6.5回, J2:20.2回 vs 7.6回)。

### 平均観戦頻度 (チケット種別)

※2016シーズン観戦実績についての質問

■ シーズンチケット ■ シーズンチケット以外

集計対象：J1 全回答者 (n=7,341)

集計対象：J2 全回答者 (n=8,441)

集計対象：J1 ホームクラブ応援者 (n=6,606)

集計対象：J2 ホームクラブ応援者 (n=7,416)



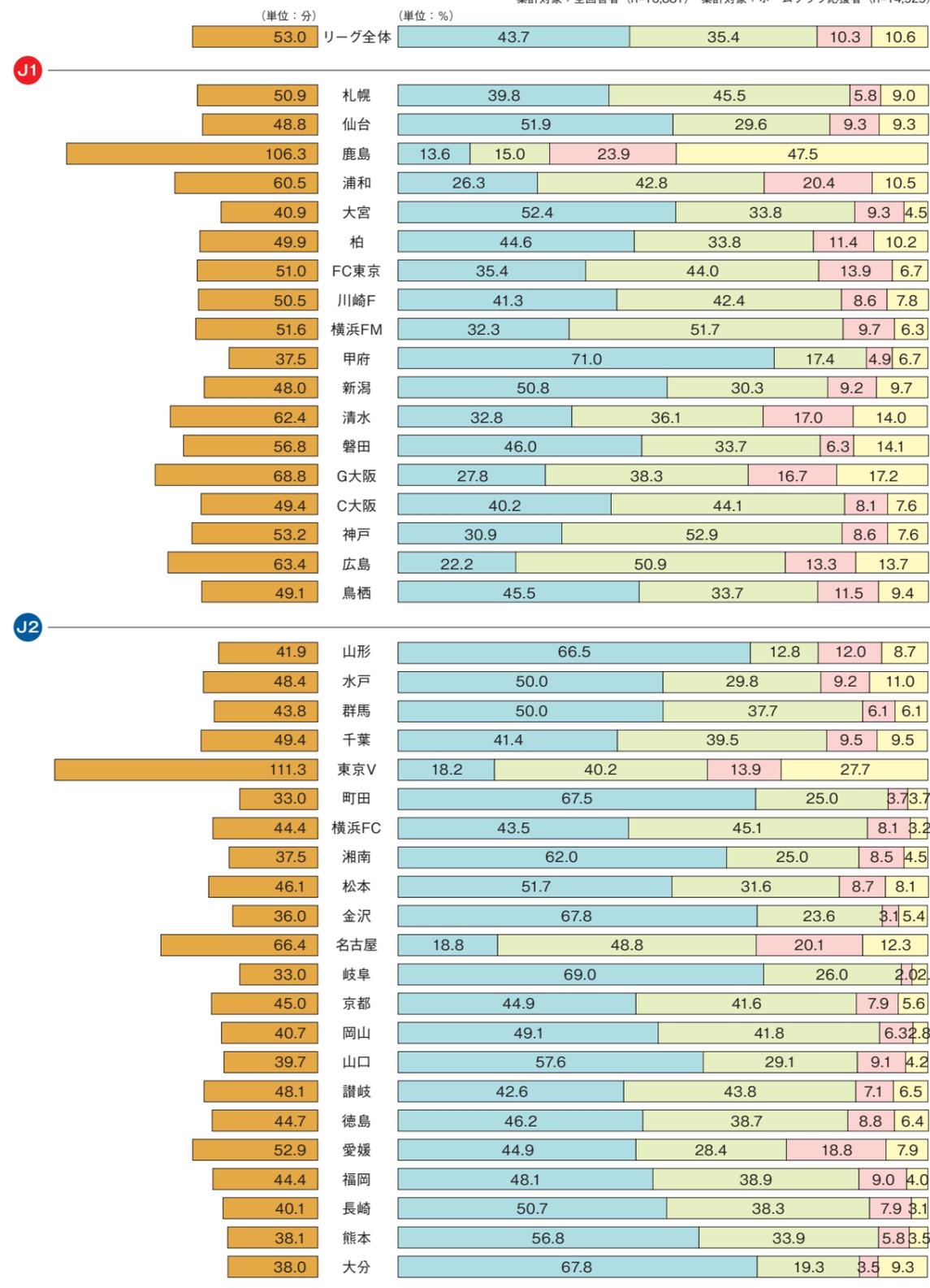
## スタジアムまでにかかる時間は、平均53分

観戦者全体のスタジアムへの平均のアクセス時間は、53.0分である。その内訳となるアクセス時間分布では、60分以内は79.1%で、うち30分以内の割合が43.7%である。クラブ別にみると、東京V(111.3分)、鹿島(106.3分)のアクセス時間が大きい傾向にあり、町田・岐阜(33.0分)、金沢(36.0分)などはアクセス時間が短い傾向がみられる。

### 平均アクセス時間・アクセス時間分布 (クラブ別)

■ 30分以内 ■ 31-60分 ■ 61-90分 ■ 91分以上

集計対象：全回答者 (n=16,881) 集計対象：ホームクラブ応援者 (n=14,929)





平均アクセス時間 (2017/2016 比較)

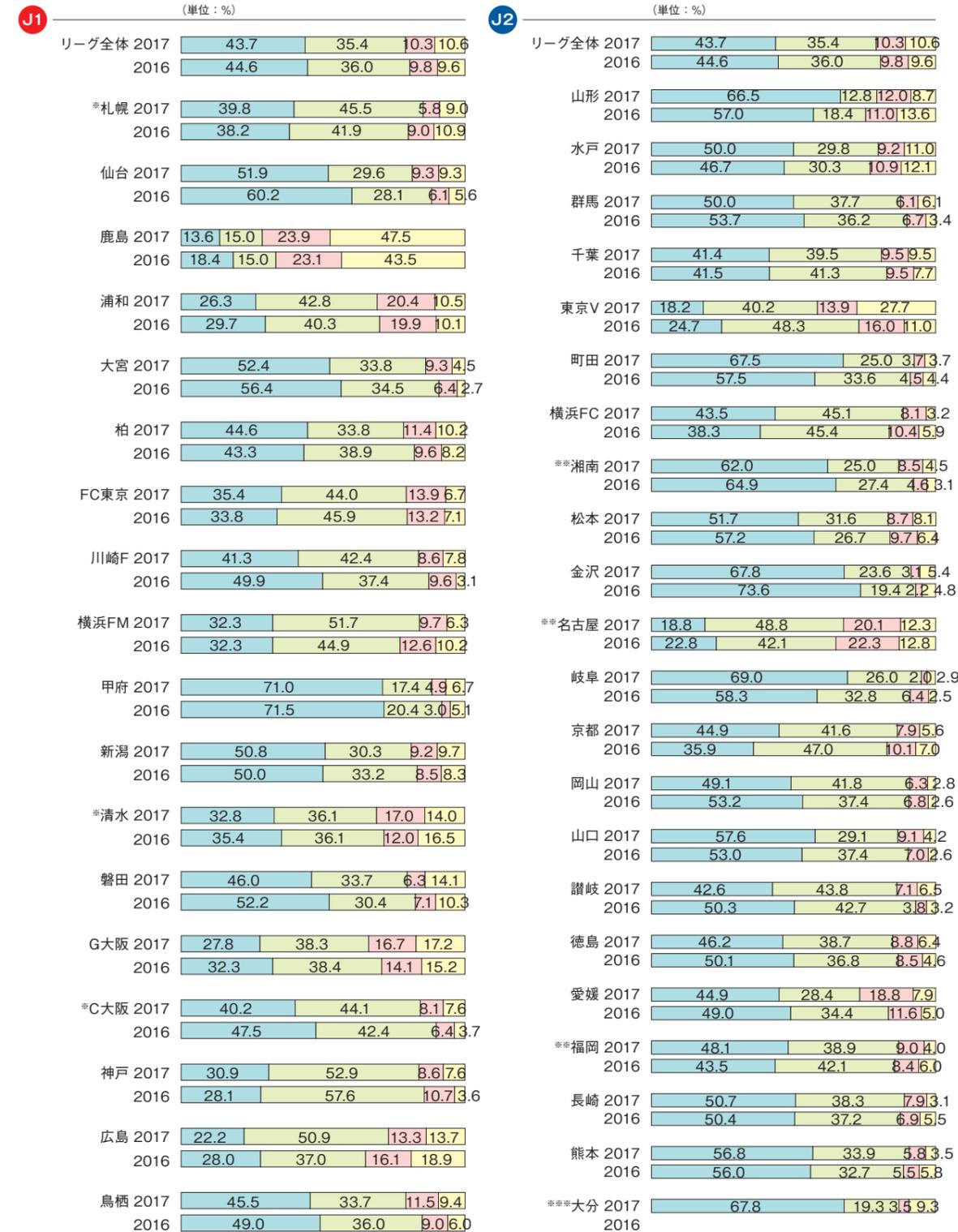
集計対象：全回答者 (2017 n=16,881/2016 n=17,330) 集計対象：ホームクラブ応援者 (2017 n=14,929/2016 n=15,479)



\*札幌、清水、C大阪は2016シーズンJ2に所属 \*\*湘南、名古屋、福岡は2016シーズンJ1に所属 \*\*\*大分は2016シーズンJ3に所属

アクセス時間分布 (2017/2016 比較)

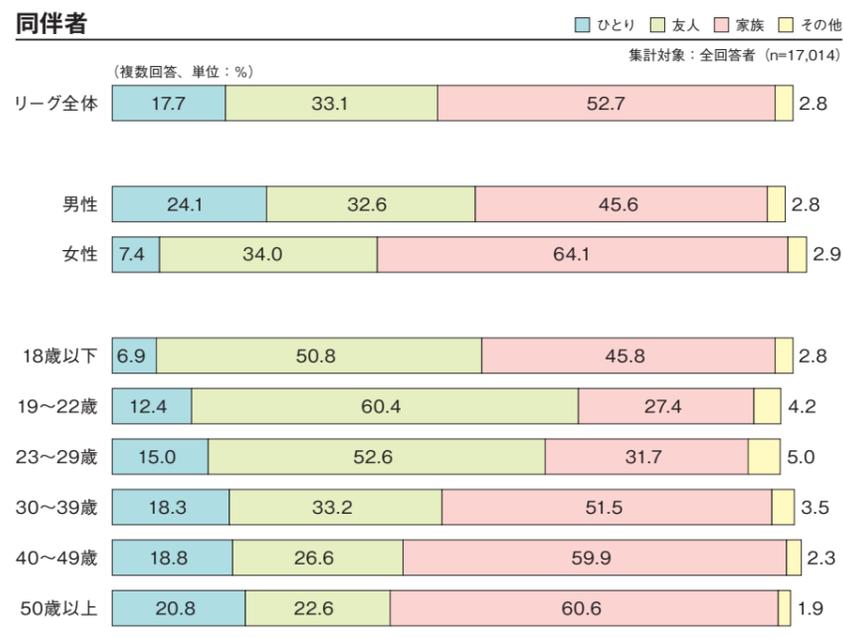
集計対象：全回答者 (2017 n=16,881/2016 n=17,330) 集計対象：ホームクラブ応援者 (2017 n=14,929/2016 n=15,479)



\*札幌、清水、C大阪は2016シーズンJ2に所属 \*\*湘南、名古屋、福岡は2016シーズンJ1に所属 \*\*\*大分は2016シーズンJ3に所属

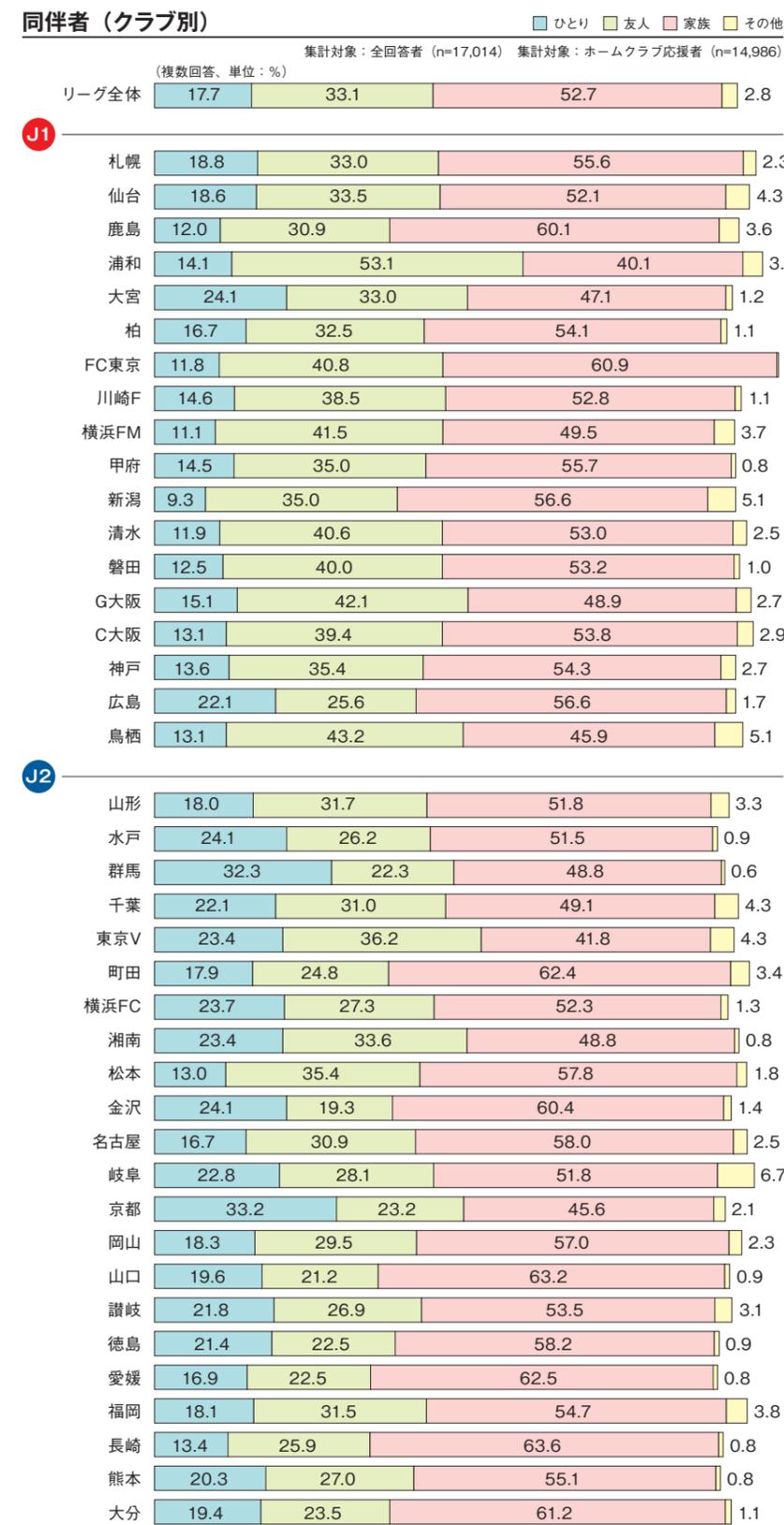
## 52.7%が、「家族」とスタジアム観戦

「家族」と一緒に観戦する観戦者が52.7%で最も多く、次いで、「友人」とが33.1%である。「ひとり」で来場する割合は全体の17.7%である。男性に「ひとり」で来場する割合が高い傾向(男性:24.1%、女性:7.4%)、女性に「家族」と来場する割合が高い傾向(男性:45.6%、女性:64.1%)がみられる。また、30代以上に「家族」と来場する割合が高い傾向、19～29歳に「友人」と来場する割合が高い傾向がみられる。

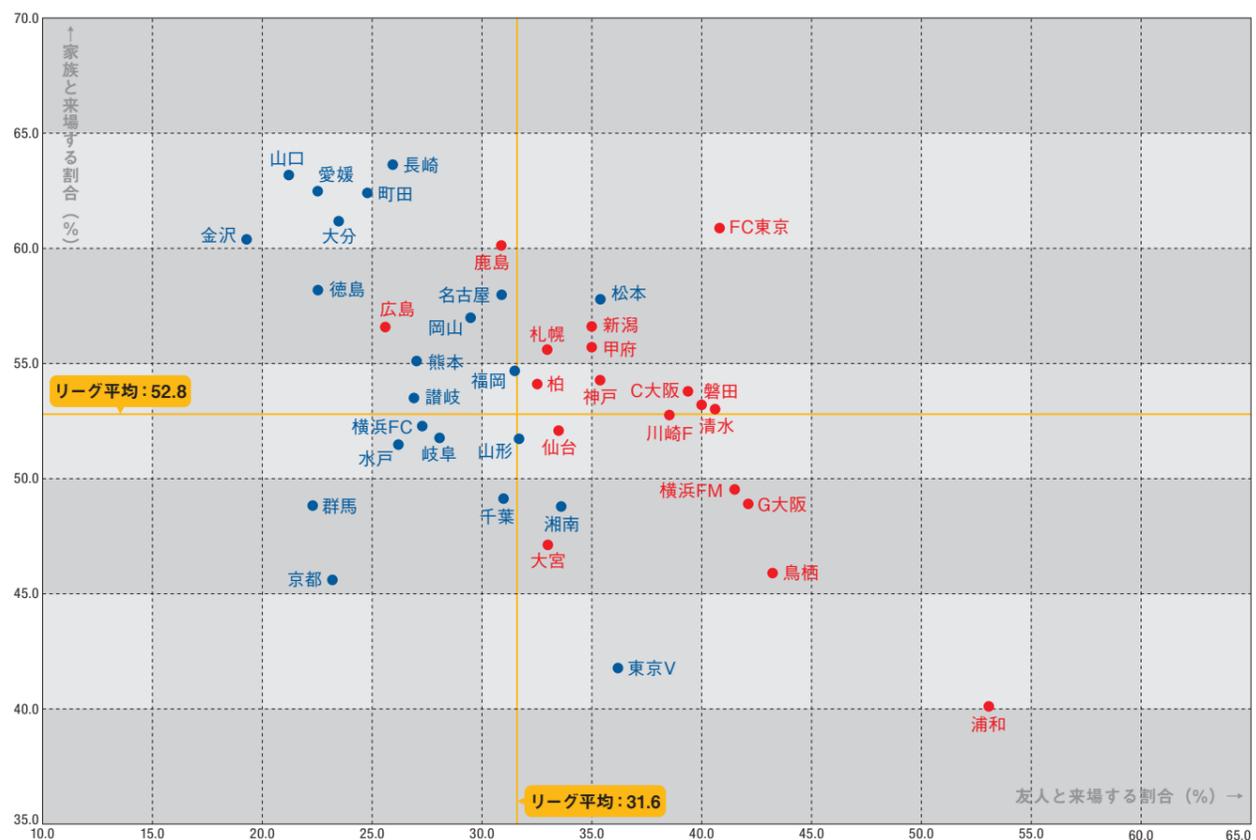


## 「家族」との観戦が多かったのは長崎 「友人」との観戦が多かったのは浦和

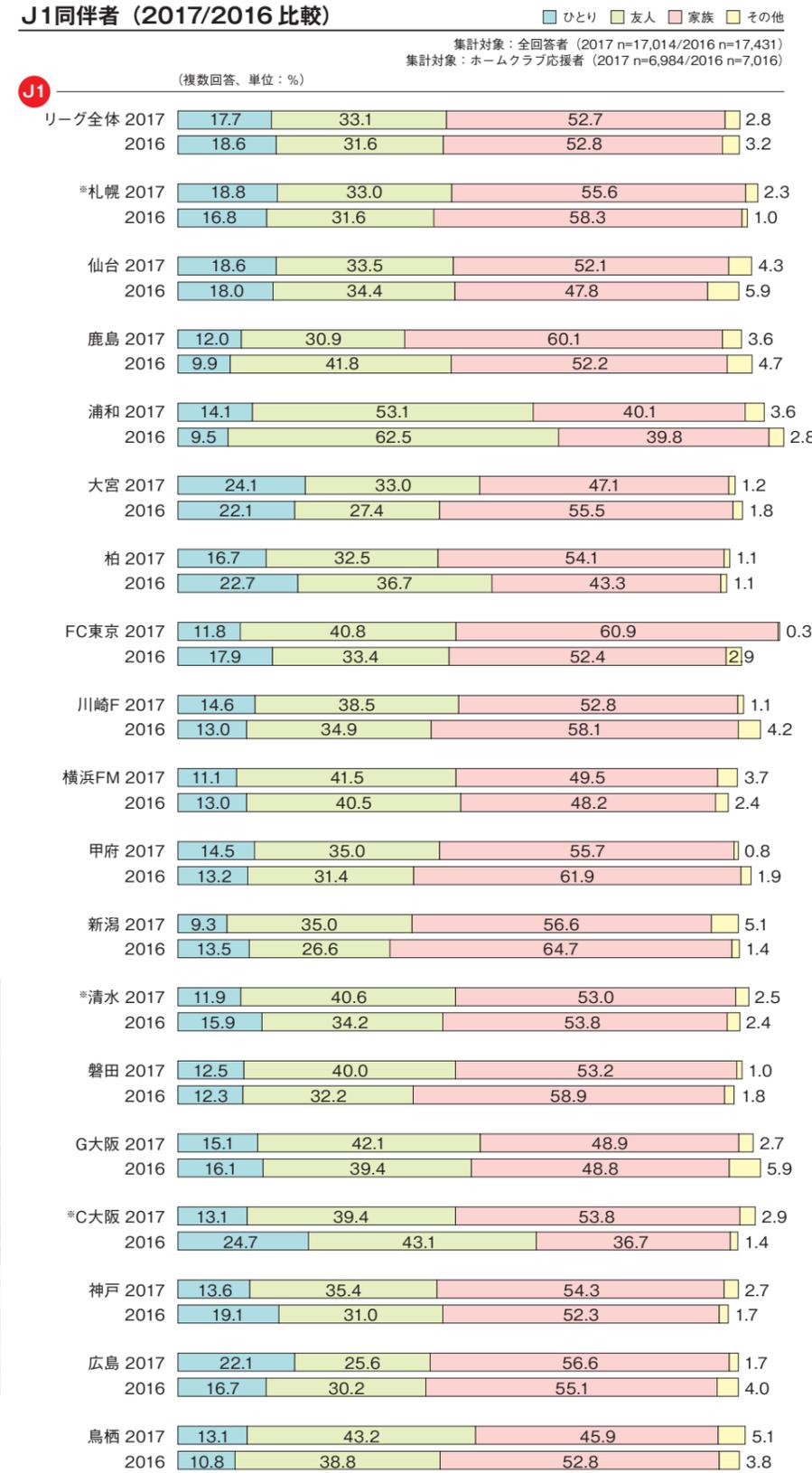
京都(33.2%)、群馬(32.3%)などに「ひとり」で来場する割合が高い傾向、長崎(63.6%)、山口(63.2%)、愛媛(62.5%)、町田(62.4%)などに「家族」と来場する割合が高い傾向、浦和(53.1%)に「友人」と来場する割合が高い傾向がみられる。



同伴者クラブ別

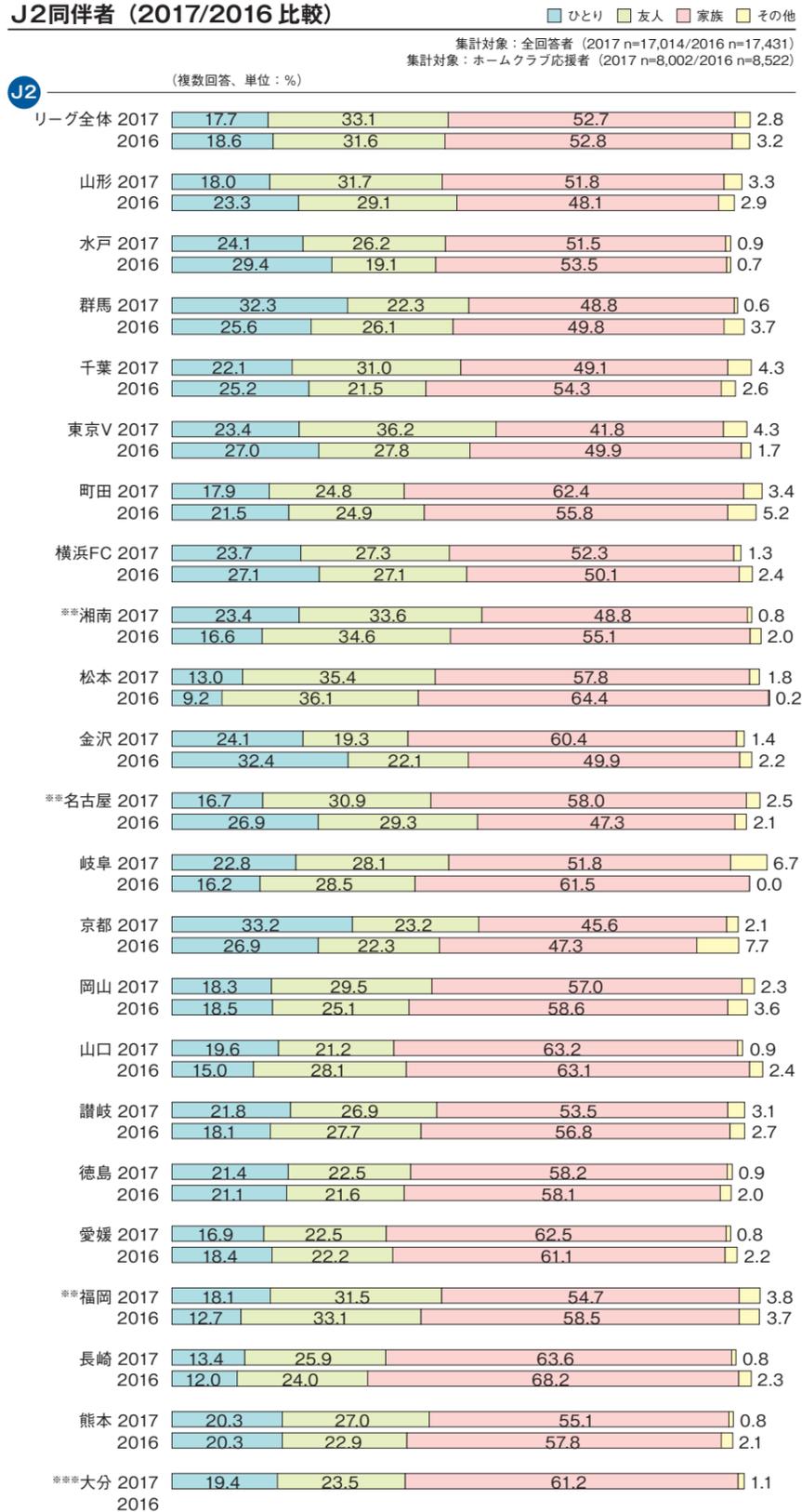


J1同伴者 (2017/2016比較)



\*札幌、清水、C大阪は2016シーズンJ2に所属

J2 同伴者 (2017/2016 比較)

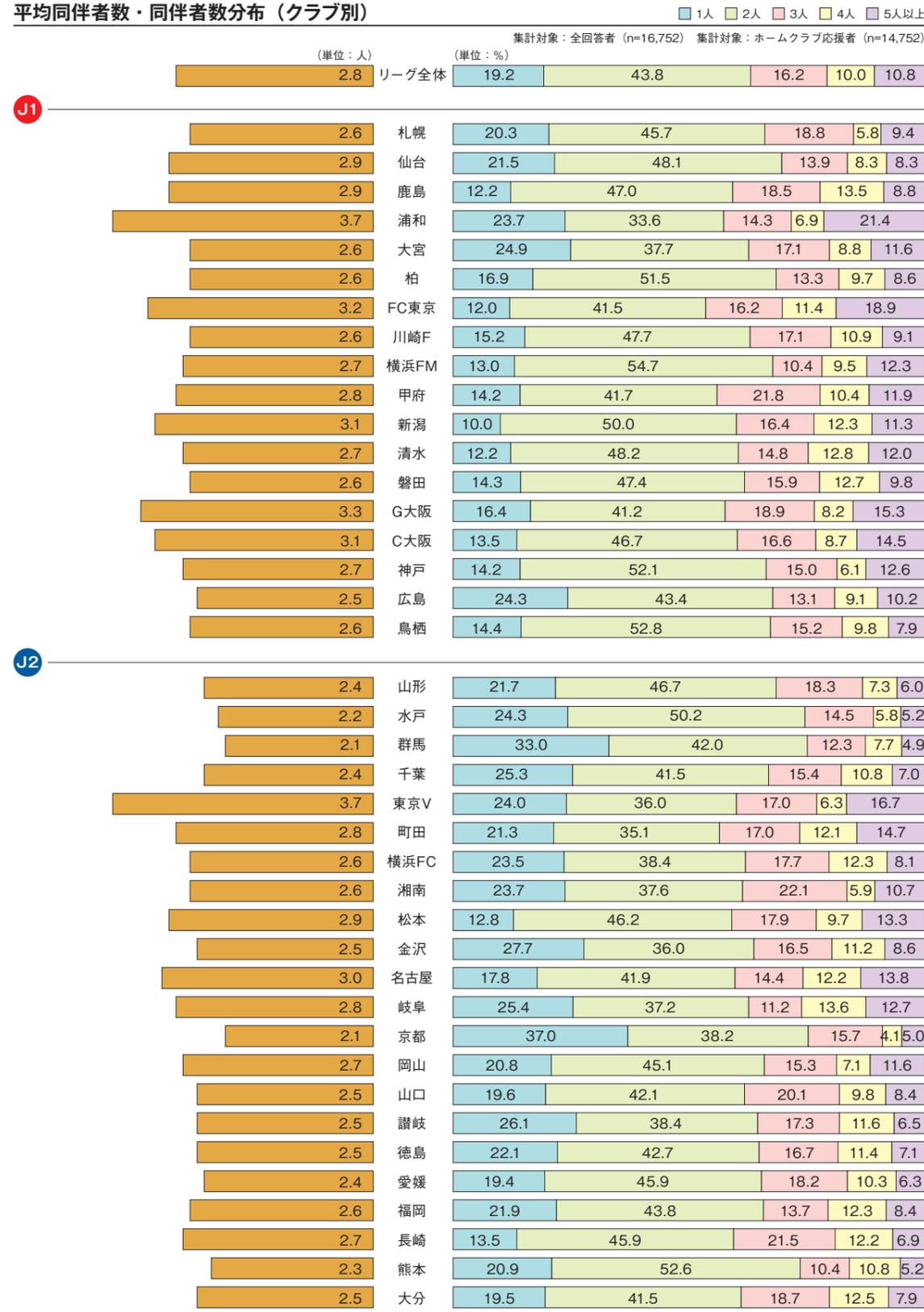


\*\*湘南、名古屋、福岡は2016シーズンJ1に所属 \*\*\*大分は2016シーズンJ3に所属

平均同伴者が最も多いのは浦和と東京V(3.7人)

Jリーグ平均の同行者数は2.8人で昨シーズンと変わらず、「2人」で来場する割合(43.8%)が最も高くなっている。平均同行者数が最も多いクラブは浦和・東京V(3.7人)となっている。

平均同伴者数・同伴者数分布 (クラブ別)





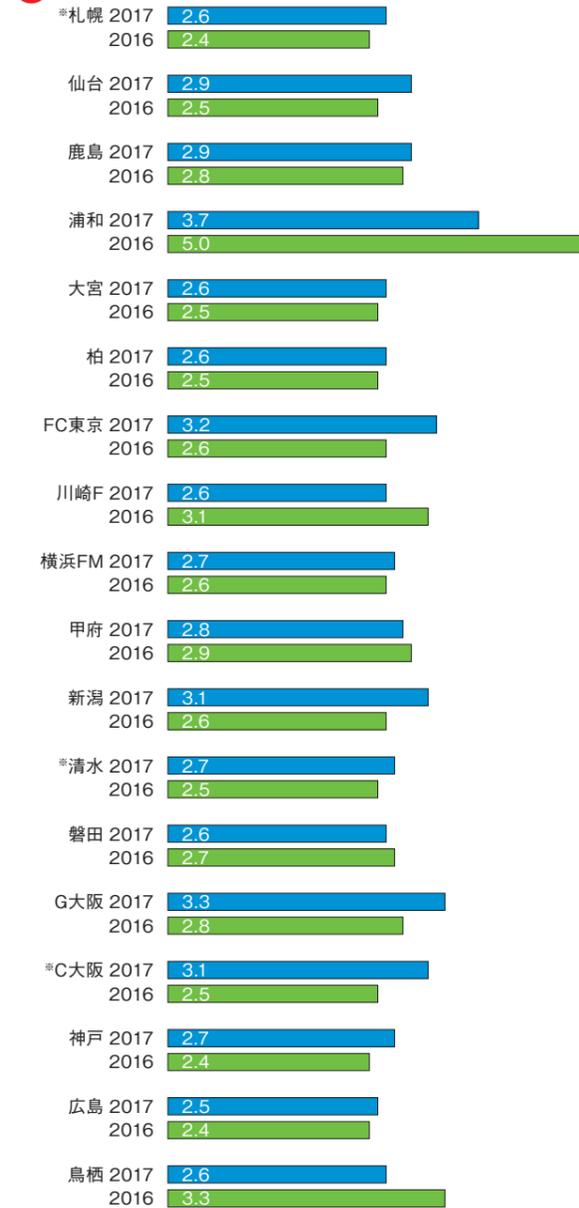
平均同伴者 (2017/2016 比較)

■ 2017実績 ■ 2016実績

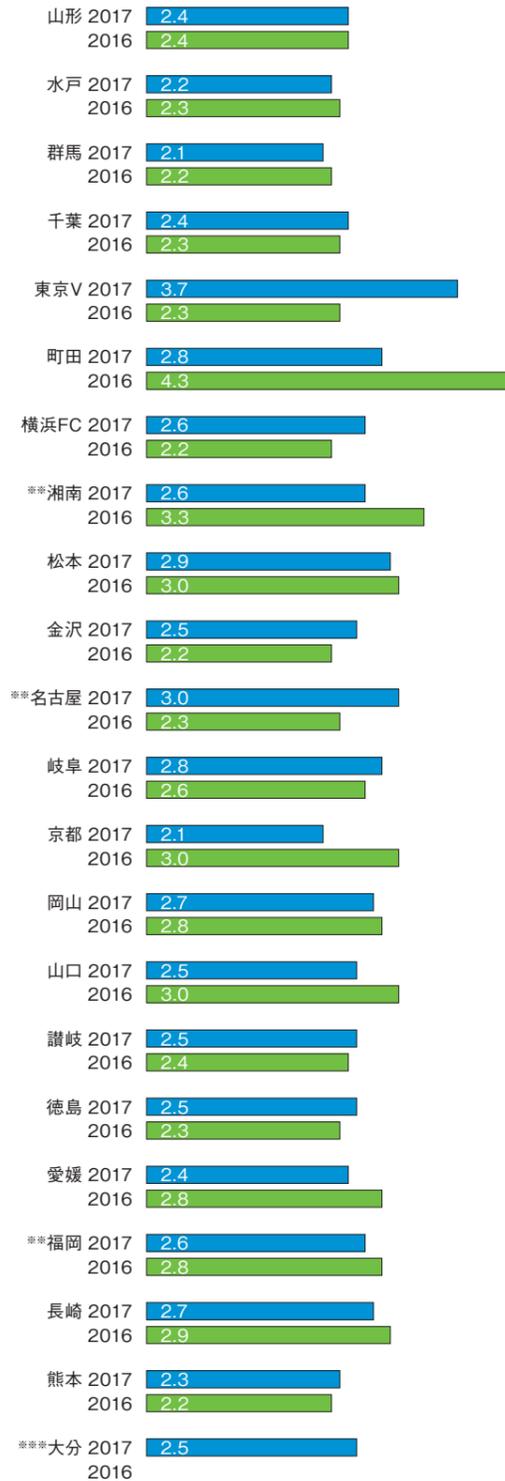
集計対象：全回答者 (2017 n=16,752/2016 n=17,141) 集計対象：ホームクラブ応援者 (2017 n=14,752/2016 n=15,275)



J1 (単位：人)



J2 (単位：人)



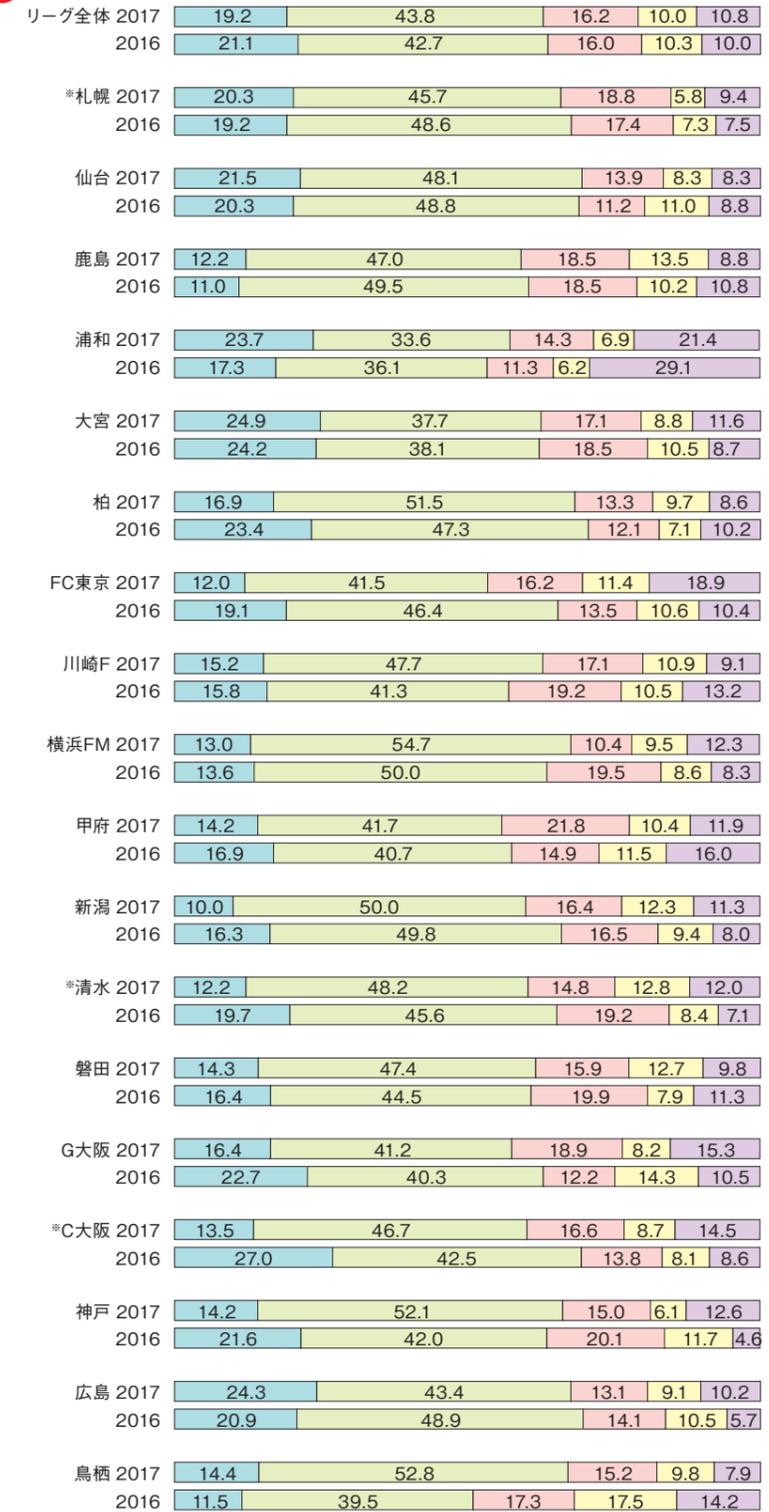
\*札幌、清水、C大阪は2016シーズンJ2に所属 \*\*湘南、名古屋、福岡は2016シーズンJ1に所属 \*\*\*大分は2016シーズンJ3に所属

J1同伴者分布 (2017/2016 比較)

■ 1人 ■ 2人 ■ 3人 ■ 4人 ■ 5人以上

集計対象：全回答者 (2017 n=16,752/2016 n=17,141) 集計対象：ホームクラブ応援者 (2017 n=6,859/2016 n=6,899)

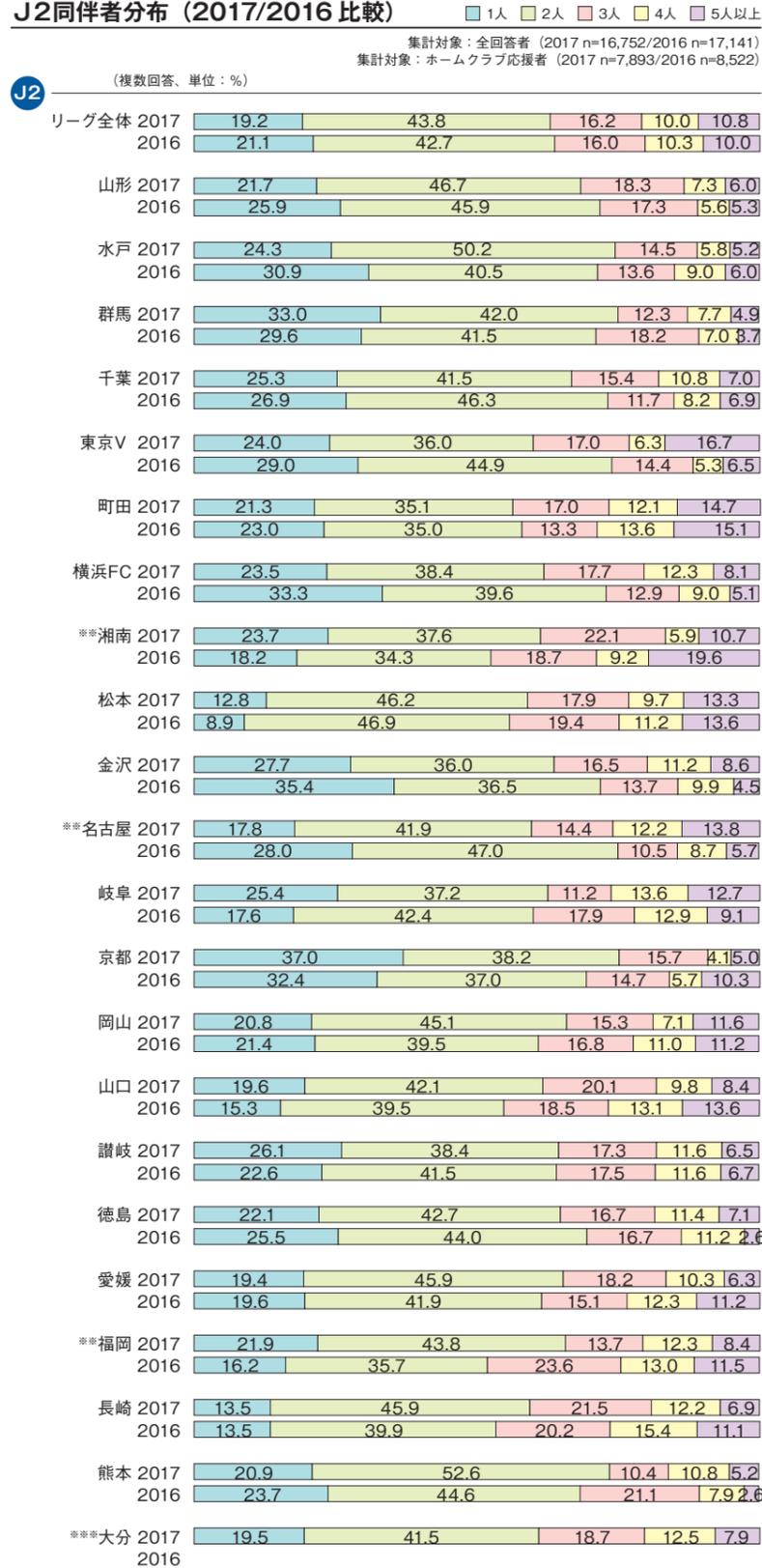
J1 (単位：%)



\*札幌、清水、C大阪は2016シーズンJ2に所属



### J2 同伴者分布 (2017/2016 比較)

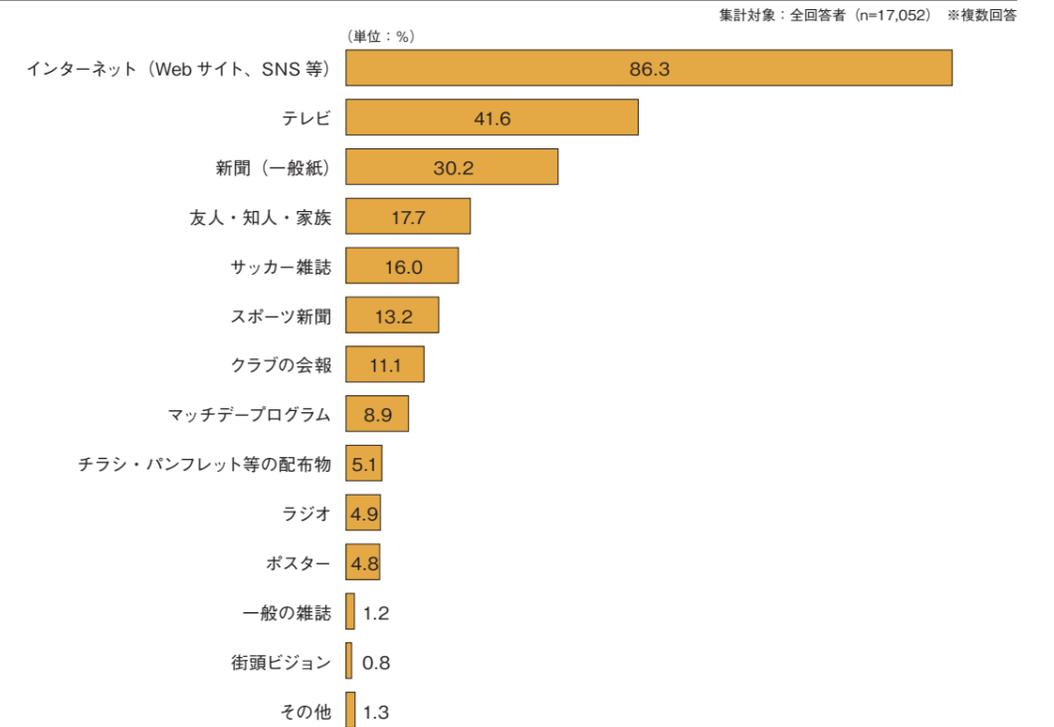


\*\*湘南、名古屋、福岡は2016シーズンJ1に所属 \*\*\*大分は2016シーズンJ3に所属

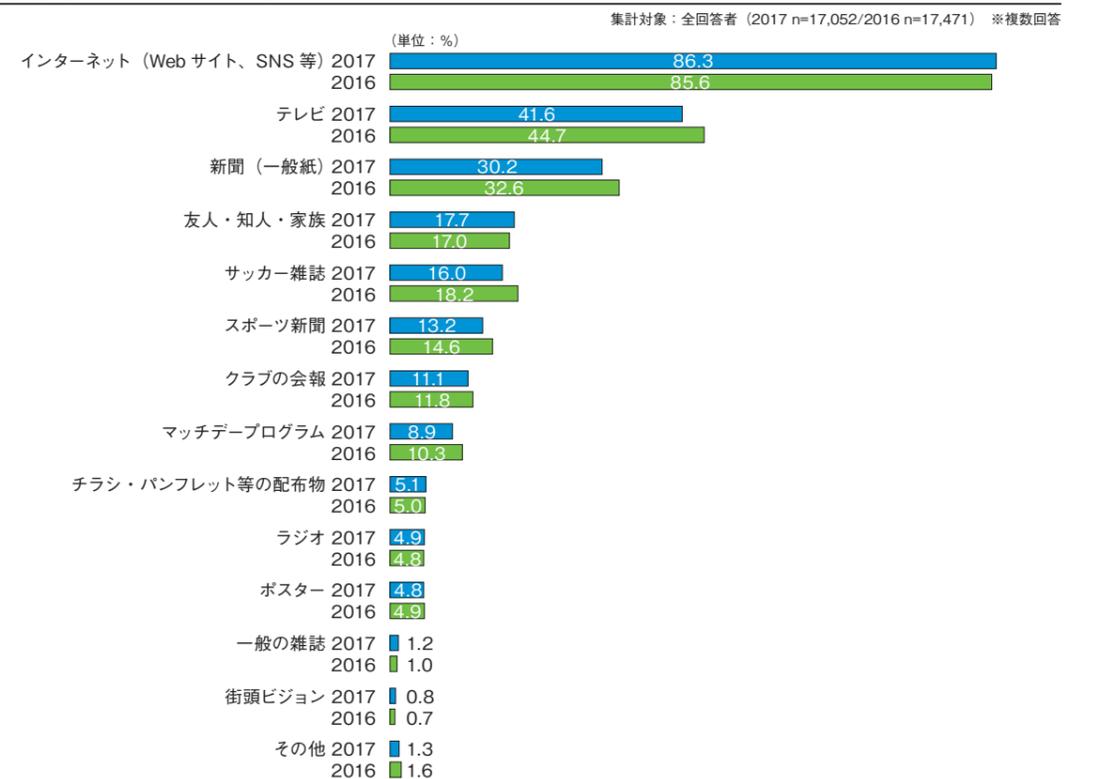
### 主な情報ソースは「インターネット(Webサイト、SNS等)」

Jリーグの情報の入手経路は、「インターネット(Webサイト、SNS等)」(86.3%)が主たるものであり、「テレビ」(41.6%)、「新聞(一般紙)」(30.2%)が続いている。

### 情報入手経路 (リーグ全体)



### 情報入手経路 (2017/2016 比較)



情報入手経路(クラブ別)

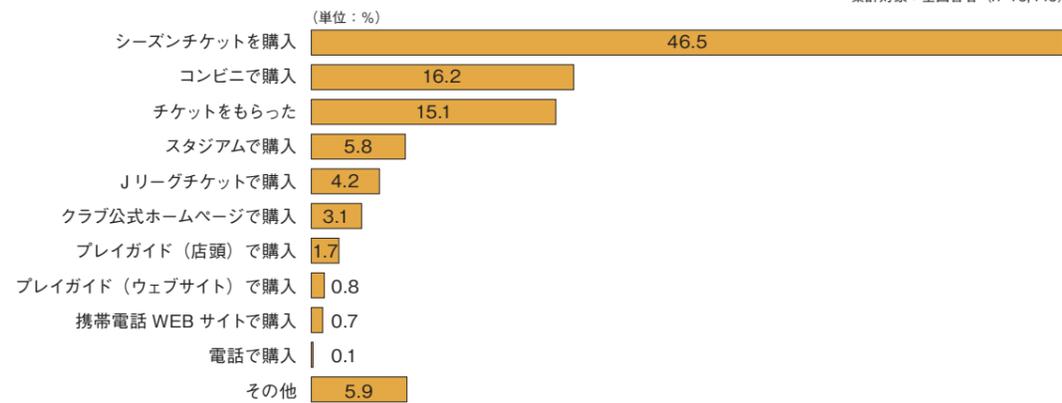
上位5つのみ記載 集計対象：ホームクラブ応援者 (n=15,041) ※複数回答(単位：%)

<b>札幌</b> インターネット(Webサイト、SNS等) 89.8 テレビ 54.5 新聞(一般紙) 47.3 スポーツ新聞 29.3 クラブの会報 18.5	<b>仙台</b> インターネット(Webサイト、SNS等) 86.8 テレビ 58.2 新聞(一般紙) 49.3 スポーツ新聞 20.9 サッカー雑誌 20.1	<b>鹿島</b> インターネット(Webサイト、SNS等) 85.0 テレビ 47.3 クラブの会報 24.9 友人・知人・家族 21.9 新聞(一般紙) 21.6	<b>浦和</b> インターネット(Webサイト、SNS等) 93.7 テレビ 41.1 新聞(一般紙) 25.7 友人・知人・家族 22.3 スポーツ新聞 21.7	<b>大宮</b> インターネット(Webサイト、SNS等) 92.3 テレビ 46.7 新聞(一般紙) 27.0 サッカー雑誌 20.3 クラブの会報 20.3
<b>柏</b> インターネット(Webサイト、SNS等) 94.5 テレビ 44.0 サッカー雑誌 29.1 スポーツ新聞 21.7 新聞(一般紙) 19.2	<b>FC東京</b> インターネット(Webサイト、SNS等) 90.1 テレビ 42.3 クラブの会報 22.4 友人・知人・家族 20.7 新聞(一般紙) 18.8	<b>川崎F</b> インターネット(Webサイト、SNS等) 95.2 テレビ 45.8 友人・知人・家族 27.5 クラブの会報 26.7 サッカー雑誌 18.5	<b>横浜FM</b> インターネット(Webサイト、SNS等) 91.1 テレビ 43.4 友人・知人・家族 21.8 サッカー雑誌 15.7 新聞(一般紙) 12.0	<b>甲府</b> インターネット(Webサイト、SNS等) 88.1 新聞(一般紙) 58.1 テレビ 54.8 友人・知人・家族 18.1 サッカー雑誌 17.6
<b>新潟</b> インターネット(Webサイト、SNS等) 82.5 テレビ 58.6 新聞(一般紙) 51.7 スポーツ新聞 17.2 友人・知人・家族 16.3	<b>清水</b> インターネット(Webサイト、SNS等) 87.8 テレビ 49.2 新聞(一般紙) 33.0 スポーツ新聞 20.1 友人・知人・家族 20.1	<b>磐田</b> インターネット(Webサイト、SNS等) 92.0 テレビ 60.9 新聞(一般紙) 30.6 クラブの会報 20.5 サッカー雑誌 19.4	<b>G大阪</b> インターネット(Webサイト、SNS等) 93.7 テレビ 36.3 サッカー雑誌 26.0 友人・知人・家族 17.5 新聞(一般紙) 17.0	<b>C大阪</b> インターネット(Webサイト、SNS等) 88.5 テレビ 36.1 サッカー雑誌 14.7 友人・知人・家族 14.7 新聞(一般紙) 14.4
<b>神戸</b> インターネット(Webサイト、SNS等) 84.8 テレビ 42.8 新聞(一般紙) 25.5 友人・知人・家族 20.7 サッカー雑誌 16.8	<b>広島</b> インターネット(Webサイト、SNS等) 85.8 新聞(一般紙) 46.1 テレビ 45.3 クラブの会報 19.4 サッカー雑誌 18.8	<b>鳥栖</b> インターネット(Webサイト、SNS等) 89.6 テレビ 44.8 新聞(一般紙) 28.8 友人・知人・家族 21.6 サッカー雑誌 13.9	<b>山形</b> インターネット(Webサイト、SNS等) 83.6 テレビ 54.0 新聞(一般紙) 49.5 サッカー雑誌 25.5 友人・知人・家族 15.9	<b>水戸</b> インターネット(Webサイト、SNS等) 85.6 テレビ 36.7 新聞(一般紙) 35.8 クラブの会報 21.4 マッチデープログラム 17.1
<b>群馬</b> インターネット(Webサイト、SNS等) 88.4 新聞(一般紙) 34.0 テレビ 31.9 スポーツ新聞 19.8 サッカー雑誌 16.7	<b>千葉</b> インターネット(Webサイト、SNS等) 93.8 テレビ 27.9 新聞(一般紙) 17.4 友人・知人・家族 16.1 スポーツ新聞 15.0	<b>東京V</b> インターネット(Webサイト、SNS等) 78.1 テレビ 22.3 友人・知人・家族 20.9 サッカー雑誌 18.3 新聞(一般紙) 13.6	<b>町田</b> インターネット(Webサイト、SNS等) 89.4 テレビ 28.9 友人・知人・家族 14.9 新聞(一般紙) 14.6 サッカー雑誌 11.1	<b>横浜FC</b> インターネット(Webサイト、SNS等) 92.9 テレビ 25.3 友人・知人・家族 17.5 新聞(一般紙) 16.2 クラブの会報 13.3
<b>湘南</b> インターネット(Webサイト、SNS等) 91.4 テレビ 34.0 新聞(一般紙) 23.0 クラブの会報 19.9 友人・知人・家族 17.0	<b>松本</b> インターネット(Webサイト、SNS等) 91.9 新聞(一般紙) 45.5 テレビ 43.7 友人・知人・家族 25.8 サッカー雑誌 23.2	<b>金沢</b> インターネット(Webサイト、SNS等) 92.9 テレビ 30.2 新聞(一般紙) 26.4 友人・知人・家族 11.3 ラジオ 10.1	<b>名古屋</b> インターネット(Webサイト、SNS等) 90.2 テレビ 31.7 スポーツ新聞 28.7 新聞(一般紙) 27.1 クラブの会報 24.1	<b>岐阜</b> インターネット(Webサイト、SNS等) 76.0 新聞(一般紙) 40.9 テレビ 33.0 サッカー雑誌 13.2 スポーツ新聞 12.6
<b>京都</b> インターネット(Webサイト、SNS等) 87.8 新聞(一般紙) 36.0 テレビ 35.6 スポーツ新聞 14.5 サッカー雑誌 14.5	<b>岡山</b> インターネット(Webサイト、SNS等) 92.0 新聞(一般紙) 48.5 テレビ 43.7 サッカー雑誌 15.6 友人・知人・家族 13.3	<b>山口</b> インターネット(Webサイト、SNS等) 88.4 テレビ 51.9 新聞(一般紙) 29.5 友人・知人・家族 14.4 サッカー雑誌 12.8	<b>讃岐</b> インターネット(Webサイト、SNS等) 86.7 テレビ 32.2 新聞(一般紙) 31.4 友人・知人・家族 13.9 サッカー雑誌 11.9	<b>徳島</b> インターネット(Webサイト、SNS等) 93.0 新聞(一般紙) 46.8 テレビ 38.7 クラブの会報 23.6 サッカー雑誌 17.3
<b>愛媛</b> インターネット(Webサイト、SNS等) 83.7 テレビ 34.6 新聞(一般紙) 34.1 友人・知人・家族 14.1 マッチデープログラム 11.6	<b>福岡</b> インターネット(Webサイト、SNS等) 87.6 テレビ 45.5 新聞(一般紙) 27.0 スポーツ新聞 24.2 サッカー雑誌 18.1	<b>長崎</b> インターネット(Webサイト、SNS等) 87.4 テレビ 46.1 新聞(一般紙) 33.0 友人・知人・家族 19.6 サッカー雑誌 12.8	<b>熊本</b> インターネット(Webサイト、SNS等) 88.3 テレビ 44.7 新聞(一般紙) 43.2 友人・知人・家族 17.1 サッカー雑誌 16.7	<b>大分</b> インターネット(Webサイト、SNS等) 85.4 新聞(一般紙) 43.1 テレビ 40.7 友人・知人・家族 15.7 サッカー雑誌 14.6

シーズンチケット購入が最多。  
その割合が高いクラブは大宮、徳島、浦和

観戦者のうち、シーズンチケットを購入した割合(46.5%)が最も高く、次いでコンビニで購入(16.2%)となっている。シーズンチケットの購入率が高いクラブとしては、大宮(82.0%)、徳島(78.6%)、浦和(76.0%)などがあげられる。コンビニでの購入率が高いクラブは、柏(32.0%)、長崎(28.4%)、山口(26.2%)などである。もらったチケットで観戦する割合が高いクラブとして、東京V(29.8%)、新潟(27.6%)、岐阜(22.7%)などが、低いクラブとして、岡山(1.3%)、浦和・徳島(2.7%)、G大阪(4.9%)などがあげられる。水戸(29.6%)、金沢(21.4%)などはスタジアムで購入する割合が高くなっている。

チケット入手方法

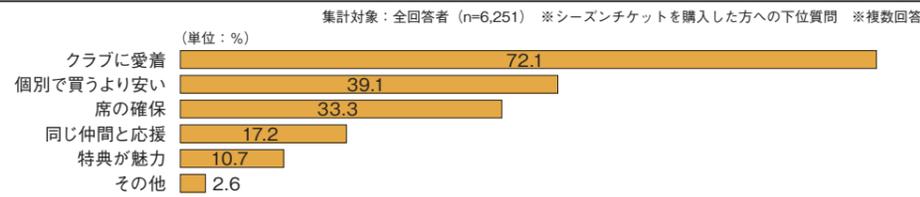


チケット入手方法(クラブ別)

集計対象：全回答者 (n=14,516)

	シーズンチケット	コンビニ	招待券	スタジアム	Jリーグチケット	クラブ公式HP	プレイガイド(店頭)	プレイガイド(Website)	携帯電話ウェブサイト	電話	その他
<b>J1</b>											
札幌	40.8	20.2	5.0	14.9	4.5	1.6	4.5	1.3	0.5	0.0	6.8
仙台	55.2	21.5	10.1	1.5	5.7	0.6	0.3	0.9	0.3	0.0	3.9
鹿島	25.1	20.9	18.7	2.8	10.2	6.9	4.1	1.4	1.1	0.0	8.8
浦和	76.0	11.3	2.7	0.9	0.5	6.3	0.2	0.5	0.5	0.0	1.1
大宮	82.0	1.5	8.3	0.0	1.0	3.3	0.5	0.3	0.5	0.0	2.8
柏	36.5	32.0	9.8	1.1	0.8	14.6	0.8	0.6	0.8	0.0	2.8
FC東京	69.6	9.7	10.3	0.6	1.5	1.8	0.6	1.5	0.3	0.0	4.1
川崎F	60.8	17.0	7.6	0.0	10.0	1.6	0.3	0.5	1.4	0.0	0.8
横浜FM	33.0	21.0	17.5	0.3	7.9	11.1	0.6	1.3	1.3	0.0	6.0
甲府	63.1	11.3	18.6	4.2	0.3	0.8	0.0	0.0	0.3	0.0	1.4
新潟	42.0	16.5	27.6	1.4	0.7	1.6	0.7	0.0	1.4	0.2	7.9
清水	37.9	14.9	19.8	2.6	5.7	1.6	8.4	0.8	0.0	0.0	8.4
磐田	59.1	7.0	11.2	1.3	2.1	12.8	1.1	0.8	0.0	0.3	4.3
G大阪	45.2	14.3	4.9	0.0	23.1	6.1	0.5	1.0	1.0	0.0	3.9
C大阪	31.7	22.4	9.3	2.1	13.3	6.9	0.0	0.3	3.2	0.0	10.7
神戸	48.7	11.4	13.0	2.1	1.3	11.6	1.1	0.8	1.3	0.0	8.7
広島	48.6	14.4	17.4	2.6	3.1	2.4	2.4	1.1	1.1	0.2	6.8
鳥栖	52.8	23.6	6.4	1.9	5.0	2.5	2.5	0.8	0.0	0.0	4.4
<b>J2</b>											
山形	55.2	22.4	9.6	3.6	1.6	0.8	0.8	0.0	0.5	0.5	4.9
水戸	25.6	15.9	21.9	29.6	1.3	0.3	1.7	0.7	0.0	0.0	3.0
群馬	60.7	10.4	7.3	14.9	0.3	0.3	3.0	0.3	0.0	0.0	2.7
千葉	71.5	7.5	8.3	2.8	2.8	1.4	0.3	0.8	0.8	0.3	3.6
東京V	34.8	14.2	29.8	6.3	5.0	2.6	1.0	0.3	1.0	0.0	5.0
町田	51.1	20.3	17.8	3.8	1.0	0.0	0.6	0.3	0.0	0.3	4.8
横浜FC	45.2	8.7	16.4	7.7	4.3	2.7	1.0	1.0	0.7	0.0	12.4
湘南	60.3	18.8	8.4	2.4	3.0	0.5	0.8	1.6	0.3	0.0	3.8
松本	72.8	12.8	8.4	1.1	1.4	0.8	1.1	0.3	0.0	0.0	1.4
金沢	47.4	7.9	13.0	21.4	1.9	0.3	2.9	0.3	0.3	0.5	4.2
名古屋	34.7	13.3	11.1	2.5	16.4	13.6	1.9	1.5	1.9	0.3	2.8
岐阜	40.6	7.2	22.7	7.5	0.9	2.1	2.4	0.3	0.0	0.0	16.4
京都	36.4	16.7	19.8	16.0	1.5	1.2	0.9	0.3	0.0	0.0	7.1
岡山	66.5	11.4	1.3	7.0	4.4	0.5	2.3	0.8	1.0	0.0	4.7
山口	45.8	26.2	5.8	5.1	2.2	0.0	5.6	1.0	0.0	0.5	8.0
讃岐	54.1	12.0	14.6	5.6	2.3	0.9	2.6	0.3	0.6	0.3	6.7
徳島	78.6	9.0	2.7	5.4	1.4	0.5	0.2	0.5	0.2	0.0	1.6
愛媛	42.9	8.6	12.4	9.2	3.5	0.0	7.5	0.9	0.0	0.3	14.7
福岡	55.5	12.9	18.1	4.8	1.4	0.7	0.2	0.2	0.7	0.2	5.2
長崎	46.8	28.4	8.1	12.5	1.1	0.6	0.8	0.0	0.0	0.0	1.7
熊本	57.8	6.4	17.1	14.3	0.0	0.8	0.4	0.0	0.4	0.0	2.8
大分	71.0	8.7	9.3	4.1	1.9	0.5	0.3	0.5	0.5	0.0	3.0

シーズンチケット購入理由



シーズンチケットの購入理由(クラブ別)

集計対象：ホームクラブ応援者 (n=6,197) ※シーズンチケットを購入した方への下位質問 ※複数回答 (単位：%)

クラブ	クラブに愛着	個別で買うより安い	席の確保	同じ仲間と応援	特典が魅力	その他
札幌	86.2	20.0	38.5	13.8	9.2	6.2
仙台	77.5	26.9	45.0	25.6	7.5	2.5
鹿島	81.6	42.1	30.3	22.4	18.4	0.0
浦和	67.5	28.5	37.8	23.3	11.6	4.0
大宮	71.0	49.2	42.0	15.7	16.8	1.5
柏	72.0	35.6	64.4	19.5	4.2	3.4
FC東京	74.1	36.8	27.2	17.8	8.1	0.5
川崎F	64.3	46.8	52.6	18.7	12.9	1.2
横浜FM	75.6	44.4	38.9	21.1	11.1	5.6
甲府	76.3	33.3	25.4	25.4	11.9	1.7
新潟	68.5	23.6	46.1	29.2	3.9	2.8
清水	70.2	42.1	23.7	16.7	10.5	6.1
磐田	65.9	49.7	52.5	21.2	16.2	2.8
G大阪	73.6	27.0	68.1	18.4	11.0	3.1
C大阪	73.6	38.7	56.6	22.6	3.8	3.8
神戸	79.2	35.1	33.1	17.5	12.3	5.2
広島	75.6	40.5	35.1	14.1	13.2	3.4
鳥栖	72.3	29.6	39.6	19.5	17.0	2.5
山形	69.6	45.2	22.0	17.9	1.8	1.2
水戸	80.0	36.7	16.7	15.0	10.0	0.0
群馬	77.4	29.6	17.0	12.6	4.4	2.5
千葉	72.7	42.1	40.2	16.3	11.5	4.3
東京V	88.8	36.3	13.8	5.0	8.8	1.3
町田	68.0	56.3	20.4	15.5	13.6	0.0
横浜FC	85.5	47.3	19.1	12.7	5.5	0.0
湘南	81.2	36.0	36.6	18.3	11.3	4.3
松本	65.9	28.7	46.2	20.6	8.1	0.0
金沢	74.3	58.1	16.9	5.9	3.7	2.9
名古屋	72.0	46.3	54.9	18.3	17.1	1.2
岐阜	78.5	46.2	24.7	20.4	17.2	1.1
京都	63.3	56.1	21.4	16.3	5.1	3.1
岡山	68.1	43.5	26.1	16.4	11.6	2.4
山口	48.6	48.0	39.9	9.8	5.2	4.6
讃岐	73.6	45.9	12.2	10.1	8.8	3.4
徳島	63.5	39.9	22.8	17.4	8.3	1.4
愛媛	70.1	48.7	20.5	6.8	6.8	3.4
福岡	66.5	42.1	31.8	15.9	11.2	3.0
長崎	80.9	40.5	21.4	13.0	7.6	2.3
熊本	83.8	55.4	21.5	9.2	12.3	1.5
大分	77.5	24.1	17.1	20.3	9.6	1.1

J1・J2全40クラブにおいて、シーズンチケットを購入する理由のトップは「クラブへの愛着」

シーズンチケットを購入する理由としては、「クラブに愛着」(72.1%)が主たるものであり、J1・J2全40クラブでシーズンチケット購入理由のトップになっており、次いで「個別に買うより安い」(39.1%)、「席の確保」(33.3%)となっている。

シーズンチケットの購入理由 [上] クラブへの愛着×経済性 [下] クラブへの愛着×席の確保

